

令和 3 年度

地域コミュニティに関する現状分析の実施事業
(茨木市受託研究)
報告書

令和 4 年 3 月

長谷川 路子

追手門学院大学経済学部 講師

目次

はじめに	1
第1章 仮説の設定	2
第1節 先行研究	2
第2節 本研究における仮説	5
第2章 アンケート調査方法	7
第1節 質問項目の設定	7
第2節 アンケート調査の実施方法	7
第3章 アンケート調査集計結果	11
第1節 回答者の属性	11
第2節 住んでいる地域（おおむね小学校区）への思い	19
第3節 自治会への加入・参加	37
第4節 自治会の活動に対する考え	48
第5節 地域コミュニティ活動や自治会に対する意見・要望	57
第4章 仮説の検証	65
第1節 規定因と質問項目の関係	65
第2節 「地域を良くとの目標意図」の規定因	69
第3節 自治会加入の「行動意図」の規定因	83
第4節 自治会加入の「行動」の規定因	95
第5節 自治会活動参加の「行動意図」の規定因	99
第6節 自治会活動参加の「行動」の規定因	112
第5章 考察	118
おわりに	123
参考文献	124
巻末資料	

はじめに

住民ニーズが多様化・複雑化する一方で、人口減少や地域経済の衰退により、地方自治体の財政状況は厳しさを増している。こうした中、行政だけでは自治体運営や住民サービスの向上が難しくなり、地域づくりにおける住民参加や協働の重要性・必要性が高まってきている。しかし、思うように進んでいないのが現状であり、平成 30 年度に実施された『茨木市のまちづくりに関するアンケート』においても、回答者の 49.2%が「地域活動は何もしていない」と回答している [1]。

一方、内閣府が平成 22 年度に実施した『国民生活選好度調査』の結果を見ると、地域活動の種類によるが、回答者の 40～50%程度が「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答している [2]。また、平成 23 年度の同調査では、回答者の約 90%が「自分の住んでいる地域の人々との交流があることは大切だ」という意見に賛成している [3]。しかし、内閣府が同年に実施した『社会意識に関する世論調査』では、「地域での付き合いをしている」と回答した人は回答者の約 70%である [4]。すなわち、地域活動への態度と行動の間には隔たりがある。

そこで、本研究では、態度と行動の不一致に関する社会心理学の理論にもとづいて住民アンケートを行い、地域活動への態度と行動の関係を明らかにする。そして、地域活動への参加を促すためには、市民にどのような働きかけをしたら良いのか、考察する。

なお、今回の研究は、いばらき×大学連携共同研究事業において提案を行い、茨木市市民文化部市民協働推進課からの受託研究としてまとめたものである。

第1章 仮説の設定

第1節 先行研究

地域活動と同様に態度と行動の間に隔たりがあるものとして、環境配慮行動がある。例えば、環境省が平成28年度に実施した『環境にやさしいライフスタイル実態調査』の結果を見ると、環境配慮行動によって異なるが、回答者の10～40%程度が「これまでに行ったことはないが、今後は行いたいと思っている」と回答している（図1-1-1）[5]。このような結果は平成28年度に限ったものではなく、毎年見られる。

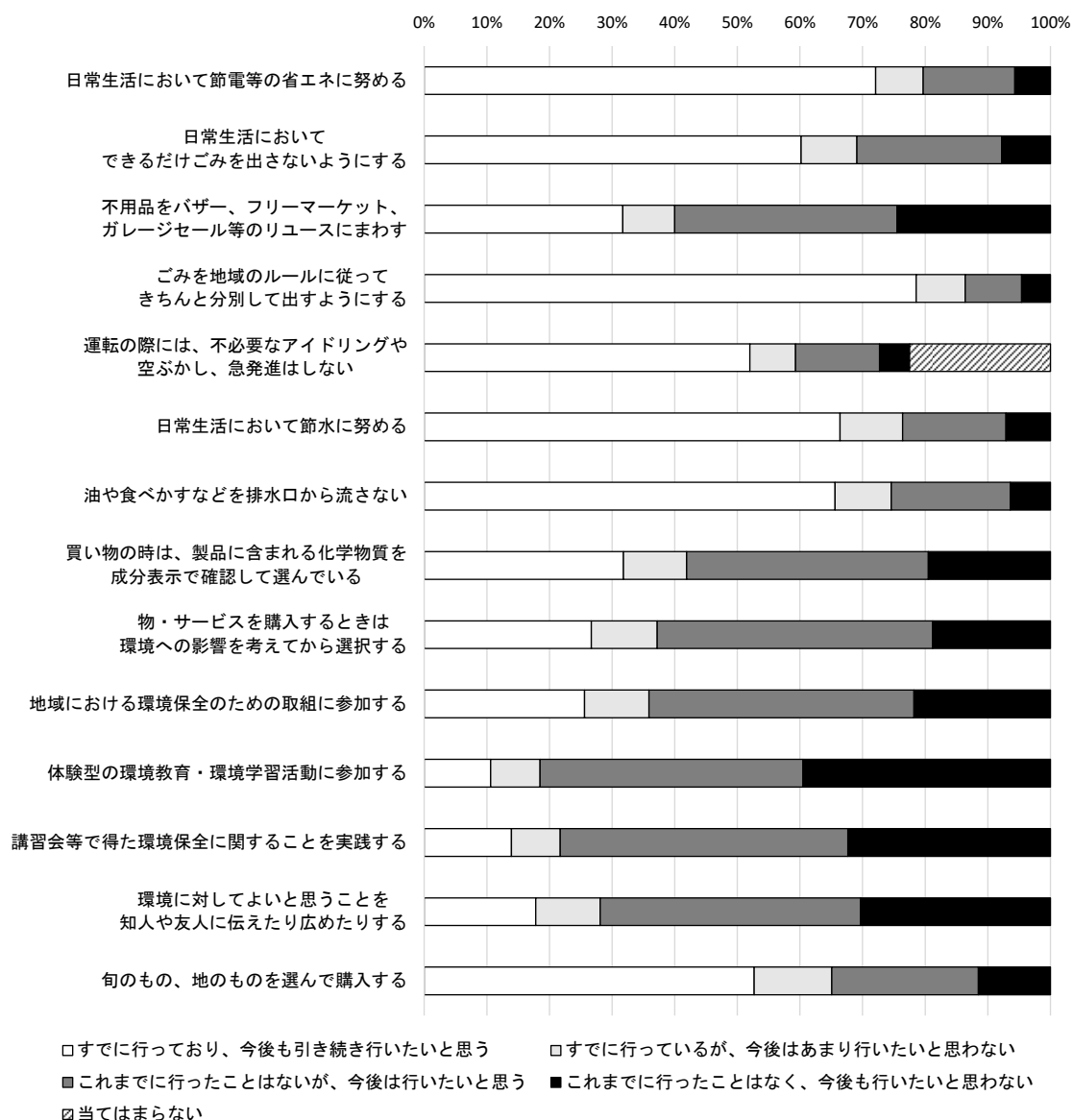
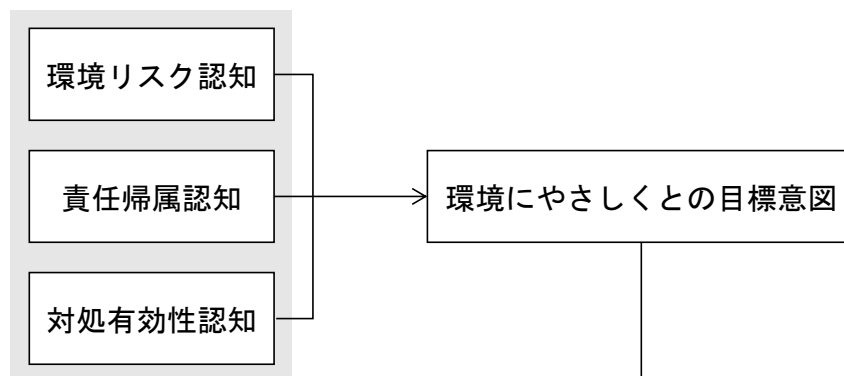


図 1-1-1 環境配慮行動の実施意向

こうした環境配慮への態度と行動の隔たりを説明すべく、広瀬（1994）は、社会心理学の意思決定理論に従って環境配慮行動を説明する4つのモデルを参考に、「環境配慮的行動と規定因との要因連関モデル」を提起している（図1-1-2）[6]。このモデルでは、環境配慮的行動までの意思決定プロセスは、「環境にやさしくとの目標意図」の形成までと、「環境配慮的な行動意図」の形成までの2段階とされている。「環境にやさしくとの目標意図」とは、何らかの環境問題に対して何らかの貢献をしたいという態度であり、①環境問題がどのくらい深刻であり、その発生がどれくらい確からしいかという「環境リスク認知」、②環境問題の原因が誰あるいは何にあるのかという「責任帰属認知」、③何らかの対処によって環境問題は解決可能かどうかという「対処有効性認知」、の3つの要因に規定される。つまり、「環境問題は深刻であり、その発生確率が高い」と認知しているほど、「環境問題の原因は自分にもある」と認知しているほど、また、「環境問題は解決できる」と認知しているほど、環境問題の改善に貢献したいと思うということ

環境問題についての認知



環境配慮的行動の評価

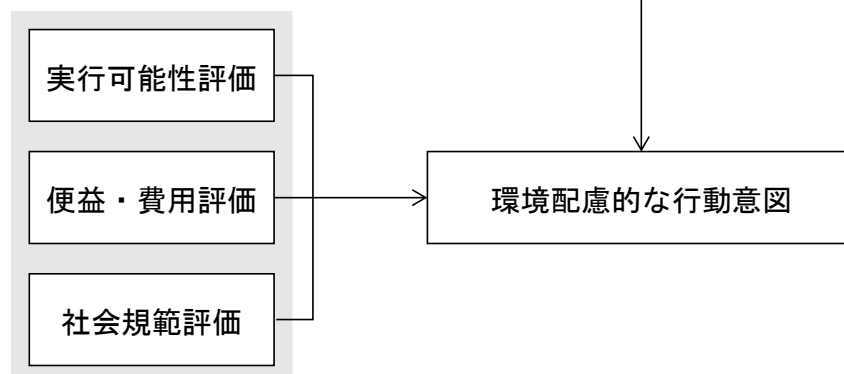


図 1-1-2 環境配慮的行動と規定因との要因連関モデル

である。一方、「環境配慮的な行動意図」とは、環境配慮的な行動を実行する意図であり、先述の「環境にやさしくとの目標意図」に加えて、①環境配慮的な行動の実行に必要な知識や技能を有していたり、社会的機会が与えられていたりしているかという「実行可能性評価」、②環境配慮的な行動の実行に伴って、個人的な便益・費用がどのくらい生じるかという「便益・費用評価」、③環境配慮行動の実行が準拠集団の規範や期待に沿っているかという「社会規範評価」、の3つの要因に規定される。つまり、「環境問題の改善に貢献したい」と思っているほど、「環境配慮的な行動の実行に必要な知識や技能を持っている、機会を与えられている」と評価するほど、「環境配慮的な行動の実行に伴って個人的な便益が得られる」または「環境配慮的な行動の実行に伴う個人的な費用は小さい」と評価するほど、そして、「環境配慮行動の実行を周囲から求められている」と評価するほど、環境配慮的な行動を実行しようとするということである。この広瀬のモデルは、野波ら（1997）[7]、山川ら（2002）[8]、大友ら（2004）[9]などによって妥当性が確認され、多くの研究で援用されている。

なお、社会心理学において態度と行動の関連性を扱った最も主要な理論の一つに、計画的行動理論がある（図 1-1-3）[10]。同理論では、①個人にとって当該行動が好ましいか疎ましいかという肯定・否定の評価である「行動に対する態度」、②当該行動をとることを期待されているか否かという社会的圧力の評価である「主観的規範」、③個人の意志により行動を実行することが容易か困難かといったコントロール評価である「実行可能性評価」、の3つの要因が行動意図を規定し、行動意図と実行可能性評価が行動を規定するとされている。広瀬のモデルは、この計画的行動理論を発展させたものでも

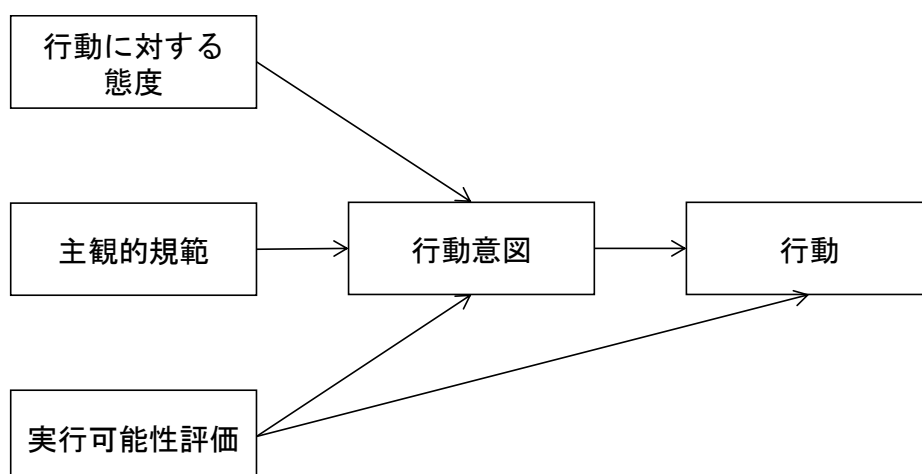


図 1-1-3 計画的行動理論のモデル

ある。

第2節 本研究における仮説

本研究では、地域活動への態度と行動の間に隔たりが生じる理由を説明すべく、広瀬の「環境配慮的行動と規定因との要因関連モデル」を援用し、「地域活動と規定因との要因関連モデル」(図 1-2-1)を提起する。おおむね広瀬のモデルに準拠しているが、計画的行動理論に立ち返り、実行可能性評価は行動意図だけでなく、行動そのものも規定すると仮定する。これは、地域活動に参加したいと思っけていても、いつどこでどのような地域活動が行われているのか分からなかったり、忙しくて時間がなかったりする場合が容易に想定されるからである。また、こうした行動意図と行動の不一致は、社会規範

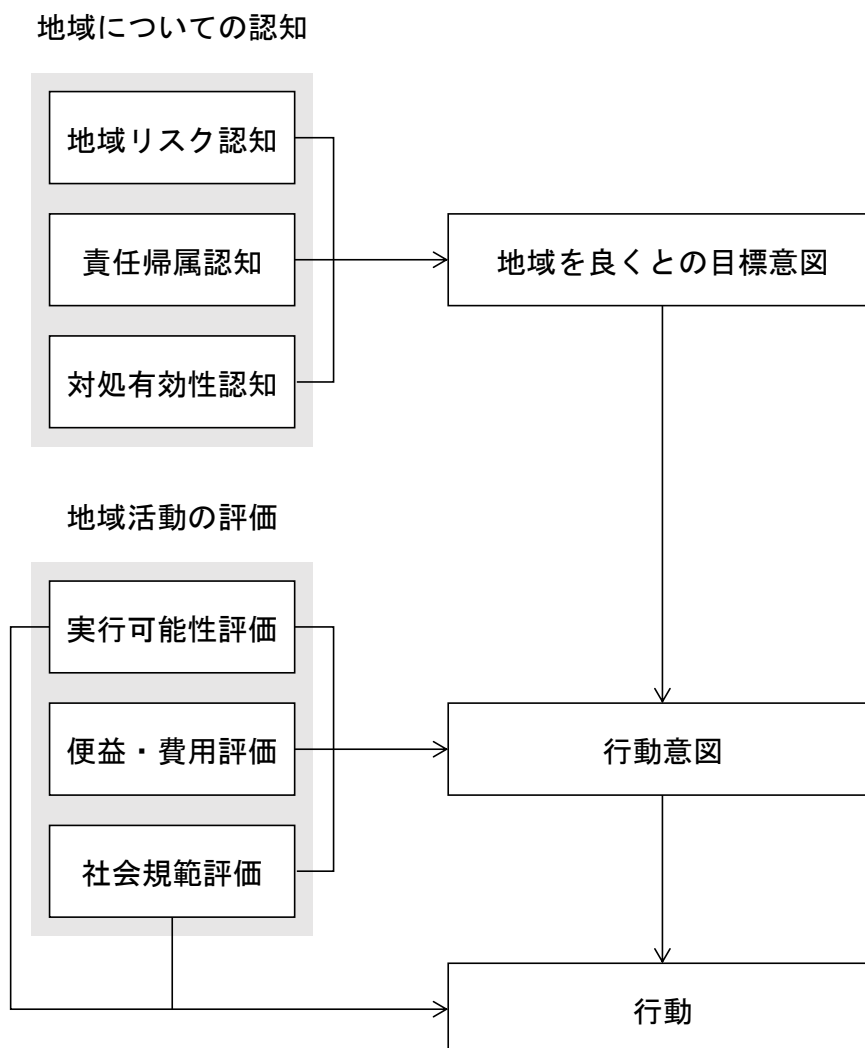


図 1-2-1 地域活動と規定因との要因関連モデル

評価によっても起こるのではないか。すなわち、内心では地域活動に参加したくないと思っ
ていても、周囲からの期待や圧力に押され、やむを得ず参加するということがある
のではないか。それゆえ、実行可能性評価と社会規範評価は行動に直接影響を及ぼすこ
とがあると仮定する。

第2章 アンケート調査方法

第1節 質問項目の設定

地域活動と言っても、さまざまな種類がある。平成30年度に実施された『茨木市のまちづくりに関するアンケート』では、地域で所属している団体として、「自治会（町内会）」の指摘率が最も高く、67.2%に及んだが、2番目の「趣味のサークル」の指摘率は12.6%にとどまっていた[1]。そこで、本研究では、地域活動として、自治会への加入、および、自治会活動への参加を取り上げることにした。

先述の「地域活動と規定因との要因連関モデル」にもとづき、自治会加入の意思決定プロセスを確かめるべく、33個の質問を設定した（表2-1-1）。また、自治会活動参加の意思決定プロセスを確かめるべく、34個の質問を設定した（表2-1-2）。なお、自治会に加入すれば、原則として自治会の活動に参加することを求められるので、加入後の事を見込んで意思決定をする可能性がある。それゆえ、自治会加入の便益・費用評価には、自治会活動参加の便益・費用評価も含めた。

このほか、平成23年度に実施された『地域コミュニティに関するアンケート調査』からの経年変化を確認するための質問、また、回答者の属性を把握するための質問を加え、合計78個の質問を設定した。調査票は、巻末に資料として添付している。

第2節 アンケート調査の実施方法

アンケート調査は、令和3年9月14日（火）から同年9月30日（木）にかけて実施した。対象は、令和3年7月28日（水）時点で茨木市内に在住していた18歳以上の市民の中から、年齢や居住地の構成比に配慮して無作為抽出した2000人である（表2-1-3、表2-1-4）。調査票の配布は郵送で行い、回答形式は、①調査票に記入し、郵便で返送する、あるいは、②Web アンケートフォームから回答する、のいずれか一方とした。

その結果、郵送553人、インターネット118人、合計671人から回答を得られ、回収率は33.55%だった。

表 2-1-1 自治会加入の意思決定に関する質問

規定因	質問
行動	あなたの世帯は自治会に加入していますか（問 35）
行動意図	〔自治会に加入している人に対して〕自治会に加入する際、あなた自身は自治会に加入した方が良いと思っていましたか（問 36） 〔自治会に加入しない人に対して〕自治会に加入したいと思いますか（問 44）
実行可能性評価	自治会の活動内容を知っていますか（問 27） 自治会に加入する方法を知っていますか（問 28）
便益・費用評価	自治会の加入手続きは面倒だと思いますか（問 29） 自治会の活動は楽しいと思いますか（問 47） 自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られると思いますか（問 48） 自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせると思いますか（問 49） 自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしいですか（問 50） 自治会の活動に参加することで知り合いができれば、うれしいですか（問 51） 自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができれば、うれしいですか（問 52） 自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思いますか（問 53） 自治会の活動に参加するのは気をつかうと思いますか（問 54） 自治会の活動に参加するのは時間をもったいないと思いますか（問 55） 自治会費を払うのはもったいないと思いますか（問 56） 自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのは勇気がいると思いますか（問 60）
社会規範評価	自治会に加入することを期待されていると思いますか（問 30） 自治会へ加入するよう周囲から促されたことがありますか（問 34）
地域を良くとの 目標意図	お住まいの地域に関心がありますか（問 1） 住みよい地域にしたいと思いますか（問 2）
地域リスク認知	住民同士のつながりについて、どのような印象をお持ちですか（問 3） 自治会や地域団体などのコミュニティ活動が活発だと思いますか（問 6） 地域コミュニティ活動の担い手が不足していると思いますか（問 9） 自治会の加入率について、どのような印象をお持ちですか（問 31）
責任帰属認知	住民同士のつながりが強くなるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 5） 地域コミュニティ活動が活発になるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 8） 地域コミュニティ活動の担い手が増えるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 11） 自治会の加入率が高くなるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 33）
対処有効性認知	住民同士のつながりを強くする何かしらの方法があると思いますか（問 4） 地域コミュニティ活動を活発にする何かしらの方法があると思いますか（問 7） 地域コミュニティ活動の担い手を増やす何かしらの方法があると思いますか（問 10） 自治会の加入率を高める何かしらの方法があると思いますか（問 32）

表 2-1-2 自治会活動参加の意思決定に関する質問

規定因	質問
行動	あなた自身は自治会の活動に参加していますか（問 38）
行動意図	現在、あなた自身は自治会の活動に参加したいと思っていますか（問 37）
実行可能性評価	自治会の活動内容を知っていますか（問 27） 自治会の活動は参加しやすい日時に設定されていると思いますか（問 43） 自治会の活動に参加するために仕事を休んだり早退したりできると思いますか（問 57） 自治会の活動に参加するために家庭の仕事を家族に任せられると思いますか（問 58） 小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できると思いますか（問 59）
便益・費用評価	自治会の活動は楽しいと思いますか（問 47） 自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られると思いますか（問 48） 自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせると思いますか（問 49） 自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしいですか（問 50） 自治会の活動に参加することで知り合いができたら、うれしいですか（問 51） 自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができたら、うれしいですか（問 52） 自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思いますか（問 53） 自治会の活動に参加するのは気をつかうと思いますか（問 54） 自治会の活動に参加するのは時間をもったいないと思いますか（問 55） 自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのは勇気がいると思いますか（問 60）
社会規範評価	自治会の活動に参加することを期待されていると思いますか（問 39） 自治会の活動に参加している世帯の方が多いと思いますか（問 40） 自治会の活動に参加するよう周囲から促されたことがありますか（問 41）
地域を良くとの 目標意図	お住まいの地域に関心がありますか（問 1） 住みよい地域にしたいと思いますか（問 2）
地域リスク認知	住民同士のつながりについて、どのような印象をお持ちですか（問 3） 自治会や地域団体などのコミュニティ活動が活発だと思いますか（問 6） 地域コミュニティ活動の担い手が不足していると思いますか（問 9） 自治会の加入率について、どのような印象をお持ちですか（問 31）
責任帰属認知	住民同士のつながりが強くなるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 5） 地域コミュニティ活動が活発になるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 8） 地域コミュニティ活動の担い手が増えるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 11） 自治会の加入率が高くなるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 33）
対処有効性認知	住民同士のつながりを強くする何かしらの方法があると思いますか（問 4） 地域コミュニティ活動を活発にする何かしらの方法があると思いますか（問 7） 地域コミュニティ活動の担い手を増やす何かしらの方法があると思いますか（問 10） 自治会の加入率を高める何かしらの方法があると思いますか（問 32）

表 2-1-3 調査対象者数の割当（年齢）

年齢層	アンケート送付数	送付数合計に占める割合
18～40 歳	640 人	32%
41～64 歳	780 人	39%
65 歳以上	580 人	29%
合計	2000 人	100%

表 2-1-4 調査対象者数の割当（地域）

地域名	アンケート送付数	送付数合計に占める割合
北部	20 人	1%
丘陵	280 人	14%
中心	1180 人	59%
南部	520 人	26%
合計	2000 人	100%

（注）北部：清溪、忍頂寺小学校区

丘陵：安威、福井、豊川、山手台、耳原、彩都西小学校区

中心：茨木、春日、春日丘、三島、中条、大池、中津、東、郡山、太田、郡、庄栄、沢池、畑田、穂積、西、西河原小学校区

南部：玉櫛、玉島、水尾、天王、葦原、白川、東奈良小学校区

第3章 アンケート調査集計結果

第1節 回答者の属性

性別は、ほぼ半々だった（図 3-1-1）。年齢は、「70 歳以上」が 245 人（36.5%）で最も多く、次いで、「60～69 歳」が 115 人（17.1%）だった（図 3-1-2）。アンケート送付数の割当（表 2-1-3）と比較すると、年齢の区分の仕方が異なるので厳密な事は言えないが、「18～40 歳」の回答者が少なく、「65 歳以上」の回答者が多かった。居住地は、「天王小学校区」が 38 人（5.7%）で最も多く、次いで、「茨木小学校区」が 37 人（5.5%）だった（図 3-1-3）。アンケート送付数の割当（表 2-1-4）と比較すると、それほど相違はなかった。

居住形態は、「持ち家（一戸建て）」が 466 人（69.4%）で最も多く（図 3-1-4）、現住居における居住年数は、「30 年以上」が 408 人（60.8%）で最も多かった（図 3-1-5）。なお、「現時点で、現在住んでいる地域から離れる予定がある」という人は、ほとんどいなかった（図 3-1-6）。

居住人数は、回答者自身を含めて「2 人」が 234 人（34.9%）で最も多く、次いで、「3 人」が 193 人（28.8%）だった（図 3-1-7）。同居者は、「配偶者（妻または夫）」が 304 人（51.4%）で最も多く、次いで、「親・義親」が 256 人（43.4%）、「子ども」が 179 人（30.3%）だった（図 3-1-8）。なお、子どもと同居している人に、一番年下の子どもの年齢を尋ねると、「すでに就職している」が 107 人（59.4%）で最も多かった（図 3-1-9）。また、孫と同居している人に、一番年下の孫の年齢を尋ねると、「小学生・中学生」が 11 人（44.0%）で最も多く、次いで、「高校生」が 7 人（28.0%）だった（図 3-1-10）。

職業は、「無職」が 286 人（42.6%）で最も多く、次いで、「会社員」が 155 人（23.1%）だった（図 3-1-11）。なお、「会社員」、「公務員」、「団体職員」、「パート・アルバイト」、「会社経営者」、「個人事業主（自営業・自由業）」、「学生」の人に、通勤・通学先を尋ねると、「茨木市内」が 142 人（41.4%）で最も多かった（図 3-1-12）。また、「学生」以外の人に、勤務形態を尋ねると、「1 週間の勤務日は 5 日であることが多い」という人が 176 人（54.7%）、「休みは土日であることが多い」という人が 106 人（32.9%）だった（図 3-1-13）。

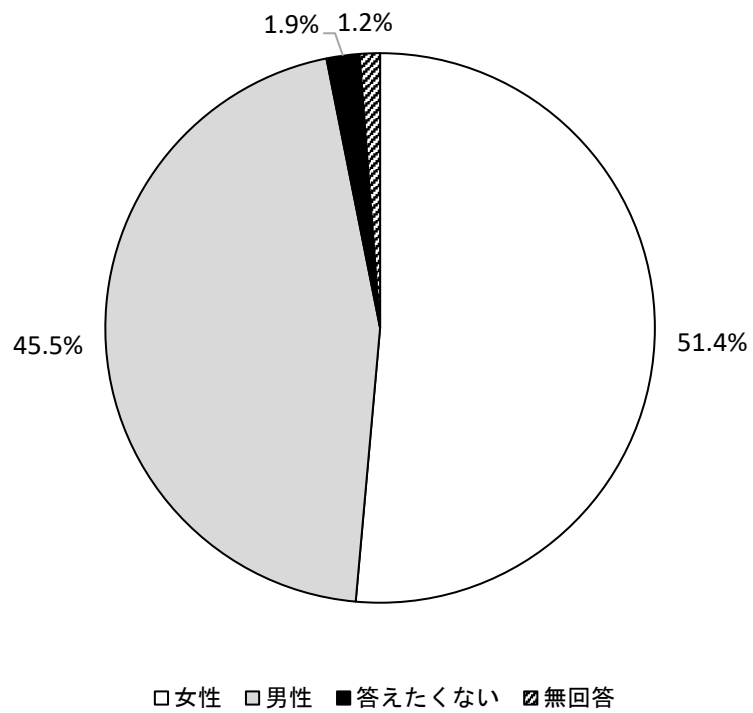


図 3-1-1 回答者の内訳（性別）

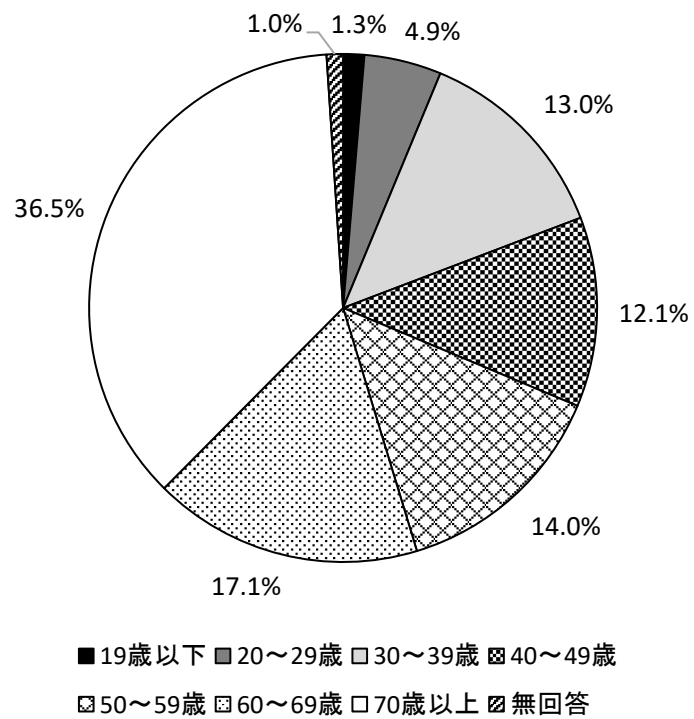


図 3-1-2 回答者の内訳（年齢）

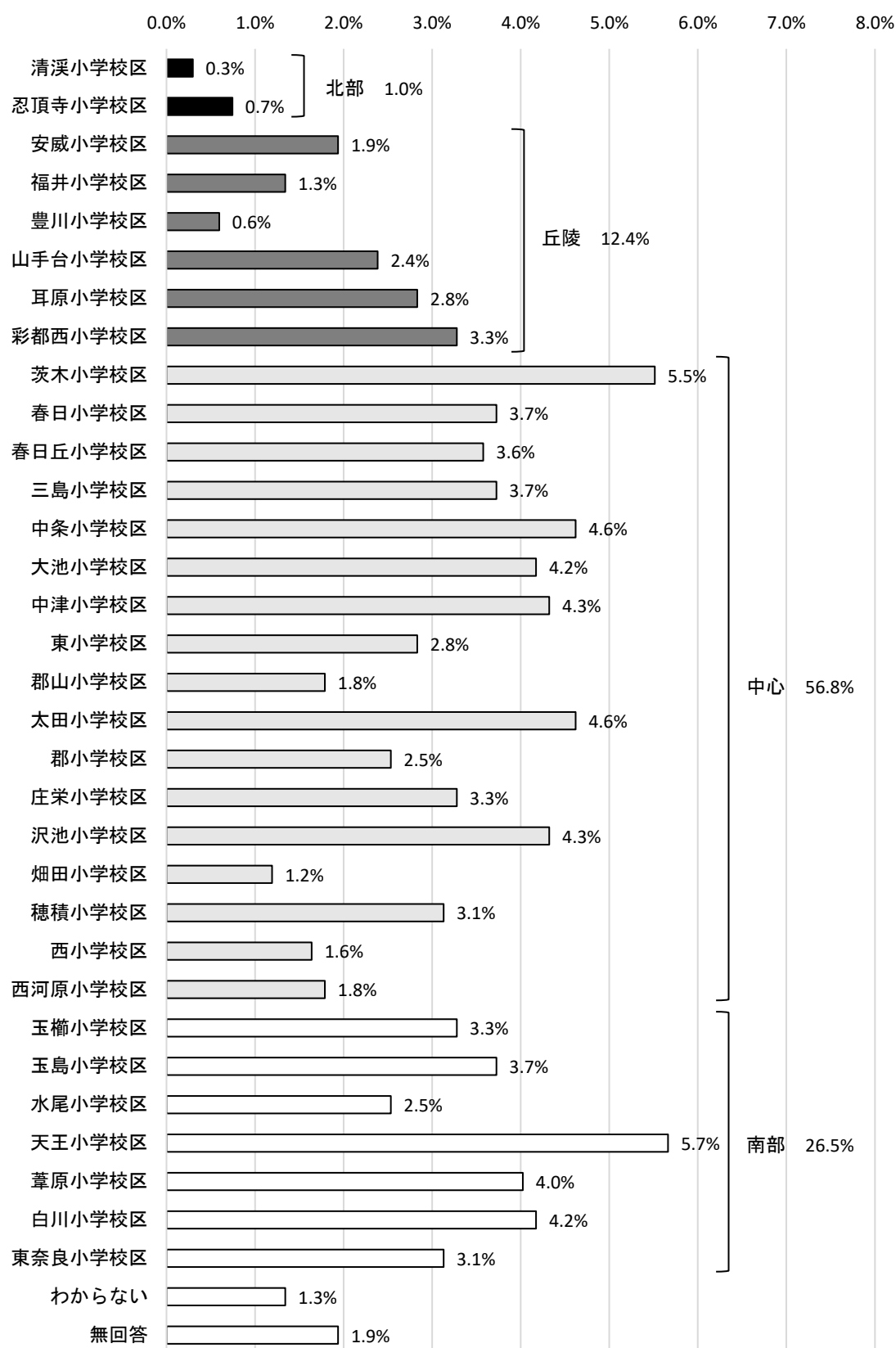
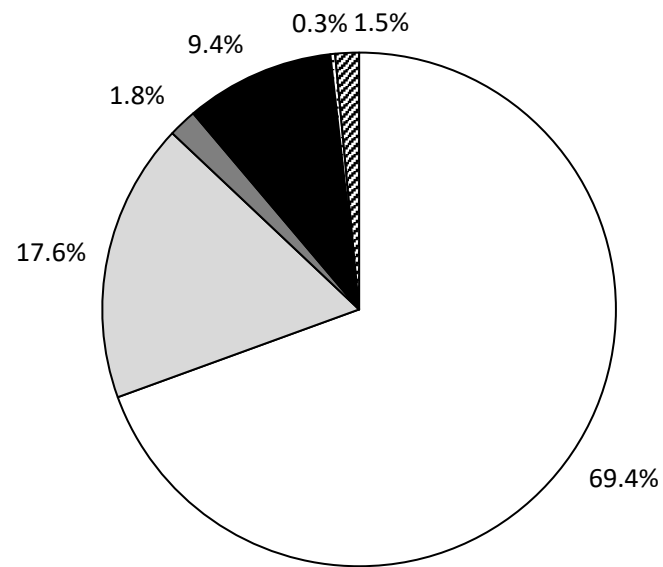
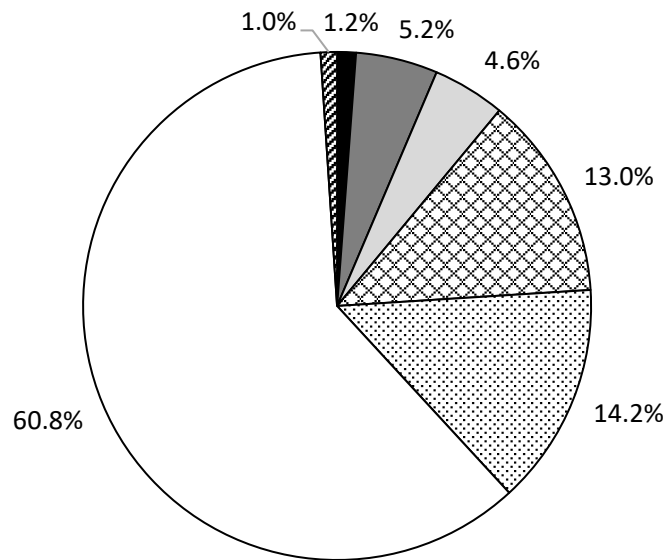


図 3-1-3 回答者の内訳（居住校区）



□持ち家（一戸建て） □持ち家（集合住宅） ■賃貸（一戸建て）
 ■賃貸（集合住宅） □その他 □無回答

図 3-1-4 回答者の内訳（居住形態）



■1年未満 ■1～5年未満 □5～10年未満 □10～20年未満
 □20～30年未満 □30年以上 □無回答

図 3-1-5 回答者の内訳（現住居における居住年数）

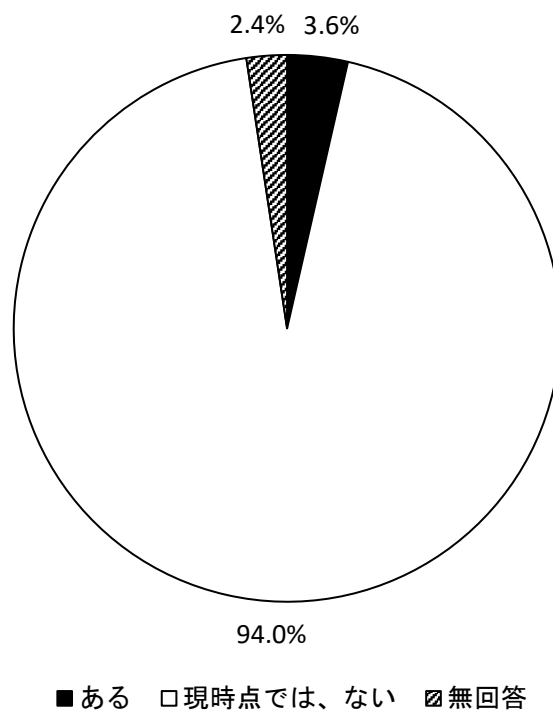


図 3-1-6 回答者の内訳（現在住んでいる地域を離れる予定）

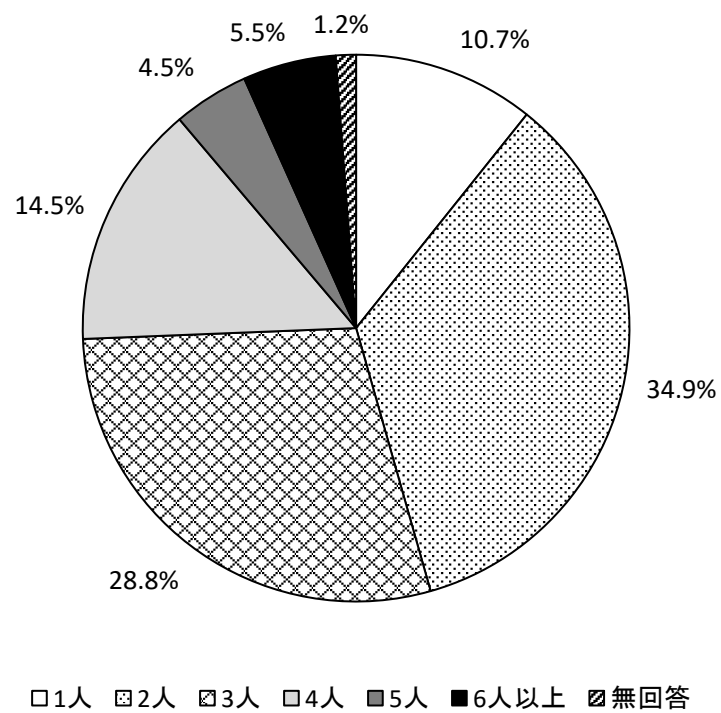


図 3-1-7 回答者の内訳（自身を含めた居住人数）

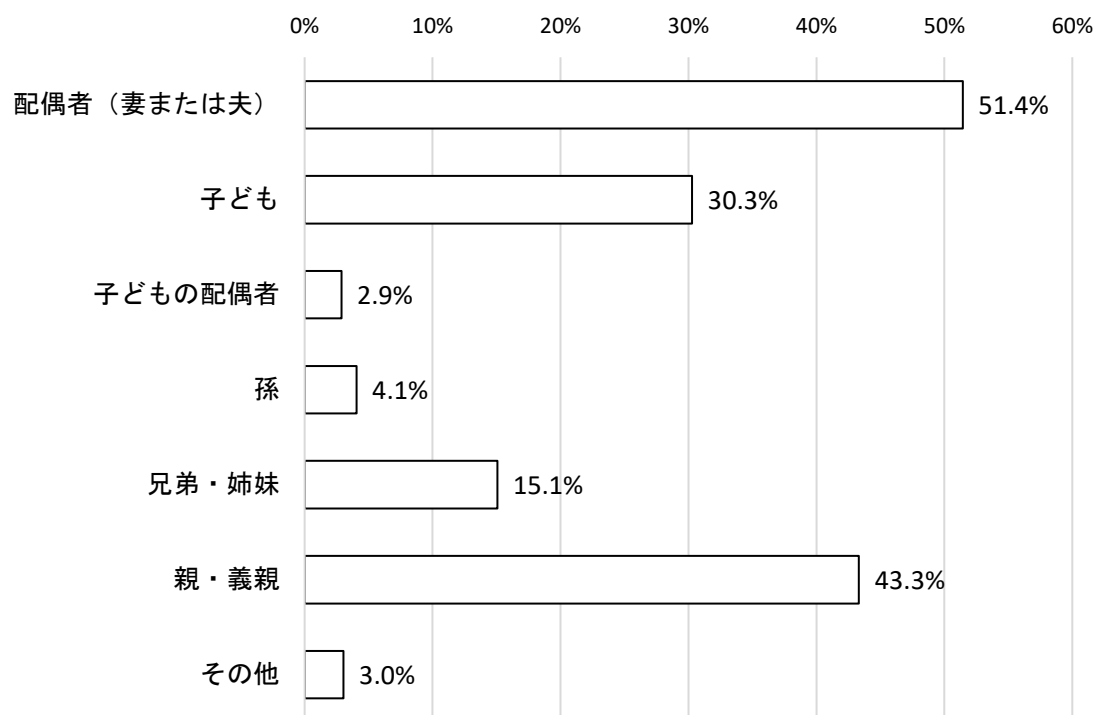


図 3-1-8 同居者の指摘率

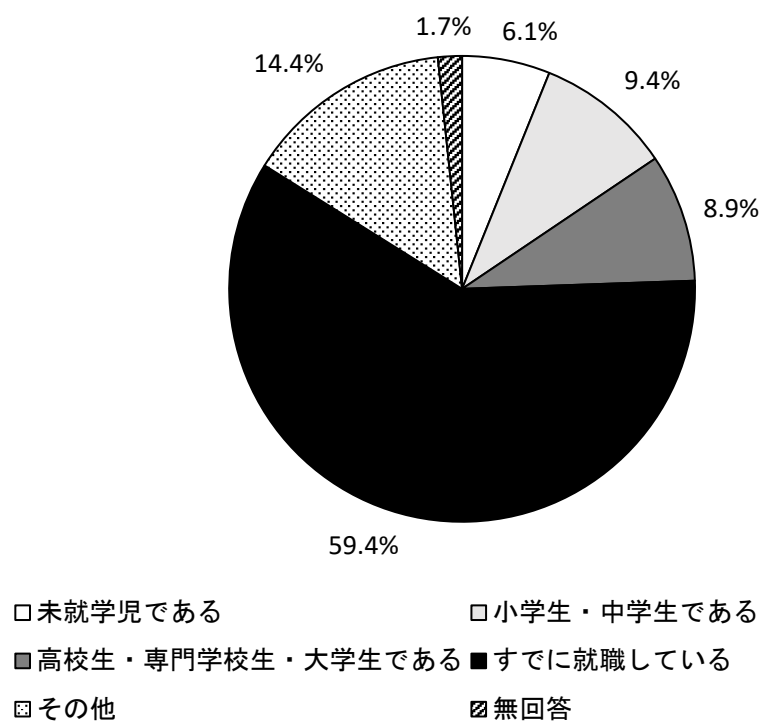
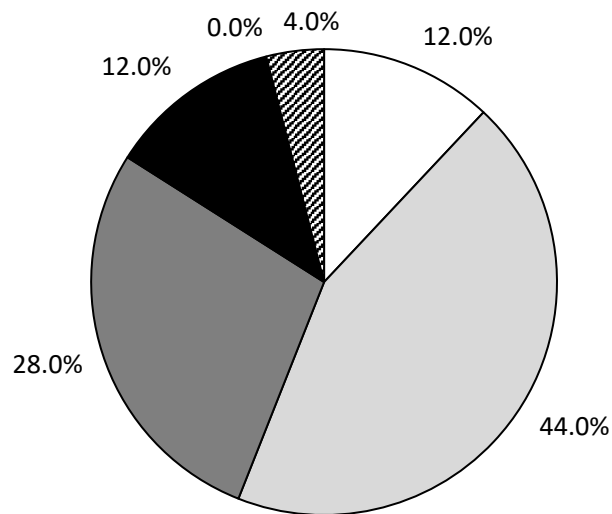
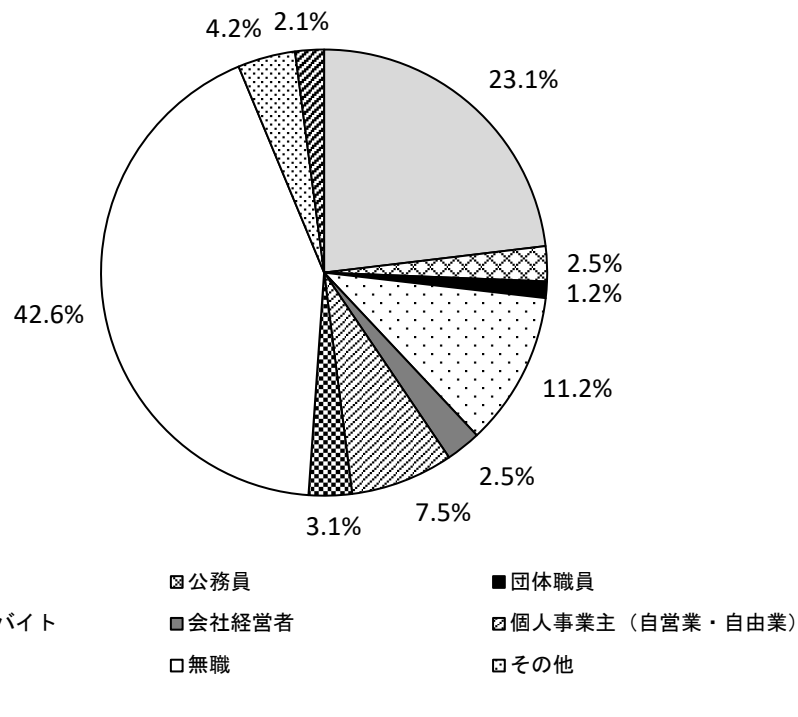


図 3-1-9 一番年下の子どもの年齢



- ☐ 未就学児である ☐ 小学生・中学生である
☐ 高校生・専門学校生・大学生である ☐ すでに就職している
☐ その他 ☐ 無回答

図 3-1-10 一番年下の孫の年齢



- ☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 団体職員
☐ パート・アルバイト ☐ 会社経営者 ☐ 個人事業主（自営業・自由業）
☐ 学生 ☐ 無職 ☐ その他
☐ 無回答

図 3-1-11 回答者の内訳（職業）

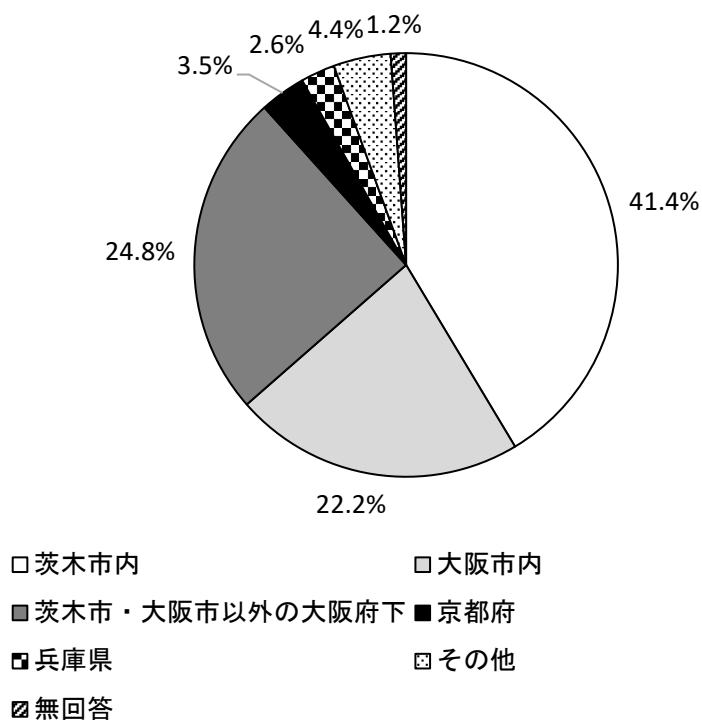


図 3-1-12 通勤・通学先

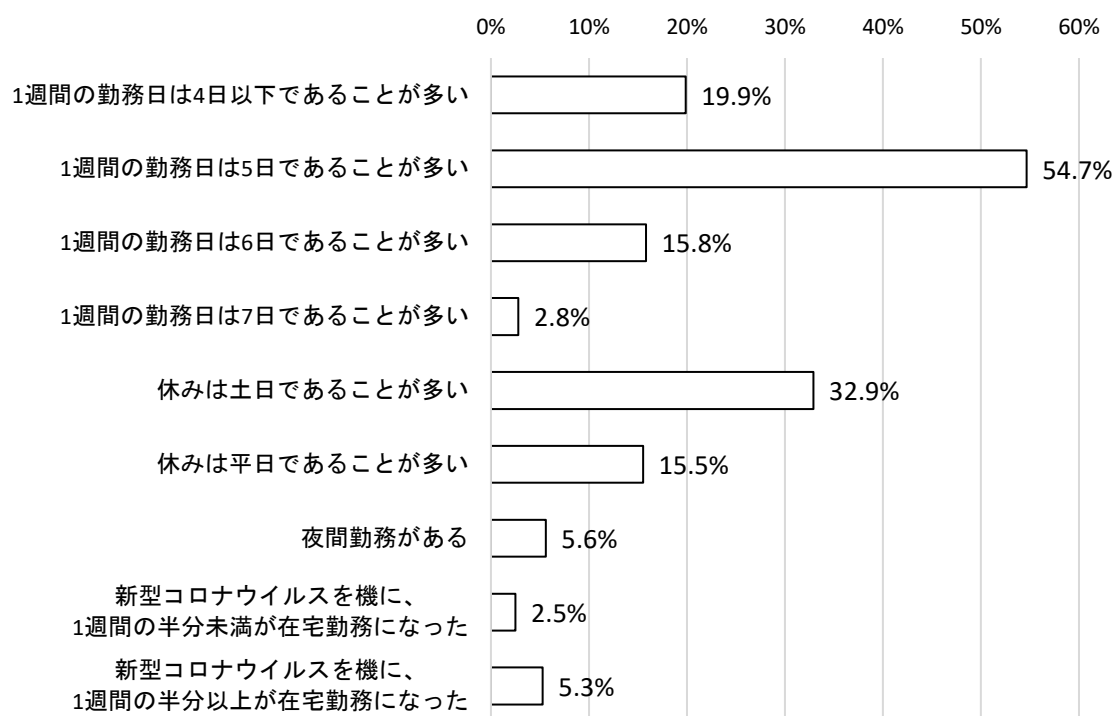


図 3-1-13 勤務形態の指摘率

第2節 住んでいる地域（おおむね小学校区）への思い

住んでいる地域に関心がある人、住みよい地域にしたいと思っている人の方が多かった（図 3-2-1、図 3-2-2）。

自治会や地域団体などの地域コミュニティ活動が活発ではない、住民同士のつながりが弱い、地域コミュニティ活動の担い手が不足していると認識している人の方が多かった（図 3-2-3～図 3-2-5）。しかし、いずれも、改善するための何かしらの方法があると思っている人の方が多く（図 3-2-6～図 3-2-8）、また、改善されるよう住民は努めなければならないと思っている人の方が多かった（図 3-2-9～図 3-2-11）。

今後地域コミュニティ活動が果たす役割は、「特に変わらない」が 188 人（28.0%）で最も多く、次いで、「小さくなる」が 177 人（26.4%）、「わからない」が 172 人（25.6%）だった（図 3-2-12）。平成 23 年度に実施された『地域コミュニティに関するアンケート調査』の結果と比べると、「大きくなる」という回答者の割合が半減し、「小さくなる」という回答者の割合が約 4 倍に増えていた。

公民館もしくはコミュニティセンターの利用頻度は、「利用していない」が 467 人（69.6%）で最も多く（図 3-2-13）、平成 23 年度の調査結果から、10%ポイントほど増えていた。

地域コミュニティ活動がさらに活性化するために必要な事は、「気軽に住民があつまれる場所の充実」が 237 人（35.3%）で最も多く、次いで、「活動内容の積極的な広報」が 222 人（33.1%）だった（図 3-2-14）。平成 23 年度の調査結果と比べると、「気軽に住民があつまれる場所の充実」、「地域で関心の高い、新しい活動の実施」、「地域活動リーダーの養成」の指摘率が約 2 倍に増えており、「市民への地域コミュニティの情報提供」も 10%ポイントほど増えていた。

地域が抱える様々な課題を解決するために望ましい地域住民と行政の関係は、「地域住民と行政が対等の立場でお互いに協力」が 228 人（34.0%）で最も多く、次いで、「地域住民が主体となり、行政が支援」が 181 人（27.0%）だった（図 3-2-15）。平成 23 年度の調査結果と比べると、「行政が主体となり、地域住民が協力」という回答者の割合が約 2 倍に増えていた。

将来なつてほしいまちの姿は、「安心して暮らせるまち」が 472 人（70.3%）で最も多く、次いで、「保健医療・福祉が充実したまち」が 330 人（49.2%）、「地震や風水害などの災害に強いまち」が 261 人（38.9%）だった（図 3-2-16）。平成 23 年度の調査

結果と比べると、「地震や風水害などの災害に強いまち」の指摘率が 15%ポイントほど増えていた。

まちの将来像を描き、それを実現していくための手順や方法などをまとめた「地域のまちづくり計画」については、地域づくりに効果的だと思う人の方が多かった（図 3-2-17）。

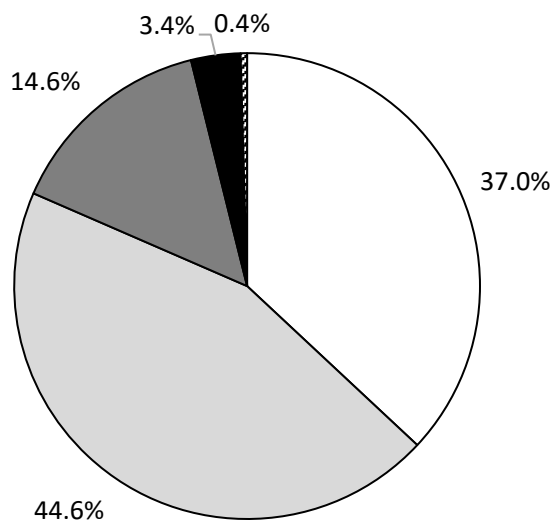
ふるさとまつり、文化展、体育祭などの地域行事については、開催目的を知っている人の方が多く（図 3-2-18）、地域活性化につながっていると思っている人が約半数だった（図 3-2-19）。参加するきっかけとなる事は、「楽しい時間が過ごせる」が 334 人（49.8%）で最も多く、次いで、「時間の都合がつく」が 261 人（39.8%）だった（図 3-2-20）。

地域の防災訓練は、効果があると思っている人の方が多く（図 3-2-21）、参加するきっかけとなる事は、「防災に関する情報が得られる」と「災害時の共助につながる」が半数を超えていた（図 3-2-22）。

登下校時の見守りやパトロールなど、地域の防犯活動は、効果があると思っている人が 80%以上で（図 3-2-23）、参加するきっかけとなる事は、「地域の安全・安心が維持される」が 350 人（52.2%）で最も多く、次いで、「防犯に関する情報が得られる」が 317 人（47.2%）だった（図 3-2-24）。

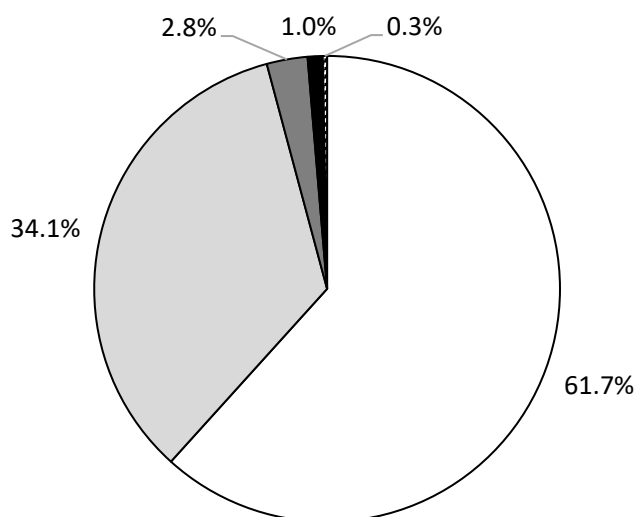
地域の清掃活動は、地域の美化につながっていると思っているが 70%以上で（図 3-2-25）、参加するきっかけとなる事は、「地域がきれいになり、住みやすくなる」が 408 人（60.8%）で最も多く、次いで、「時間の都合がつく」が 308 人（45.9%）、「近隣の住民がみんな参加している」が 228 人（34.0%）だった（図 3-2-26）。

住んでいる地域独自の情報誌については、「気になった所だけ読む」が 305 人（45.5%）で最も多く（図 3-2-27）、ホームページについては、「あるかどうか、知らない」が 216 人（32.2%）で最も多く、次いで、「知りたい事があれば見る」が 176 人（26.2%）だった（図 3-2-28）。



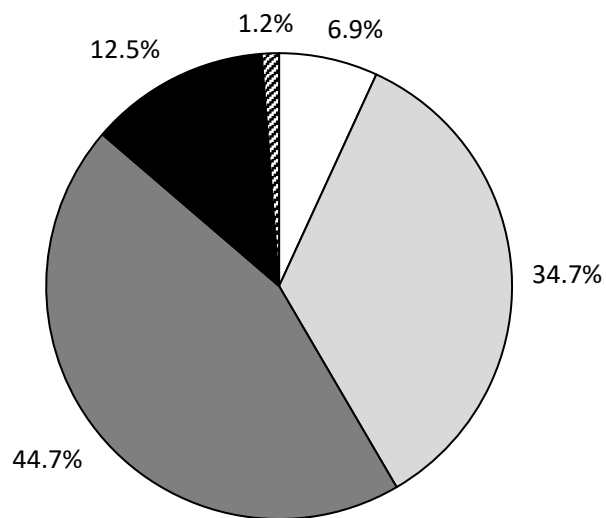
□ 関心がある □ どちらかと言えば、関心がある
 ■ どちらかと言えば、関心がない ■ 関心がない
 ▨ 無回答

図 3-2-1 住んでいる地域に関心があるか



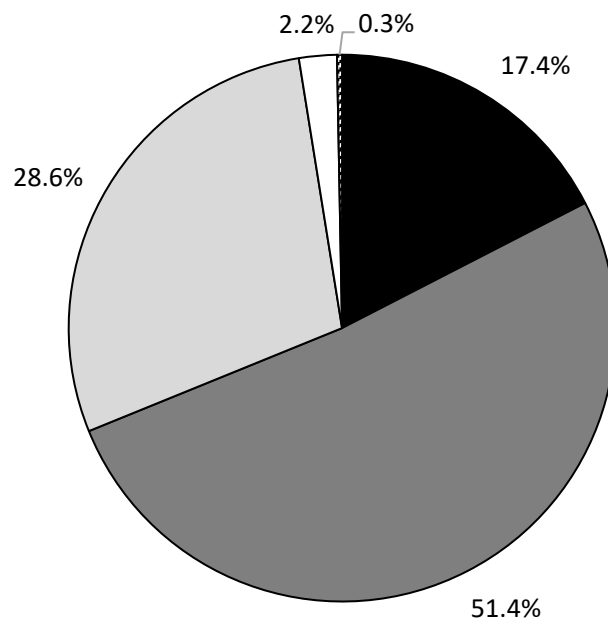
□ 思う □ どちらかと言えば、思う
 ■ どちらかと言えば、思わない ■ 思わない
 ▨ 無回答

図 3-2-2 住みよい地域にしたいと思うか



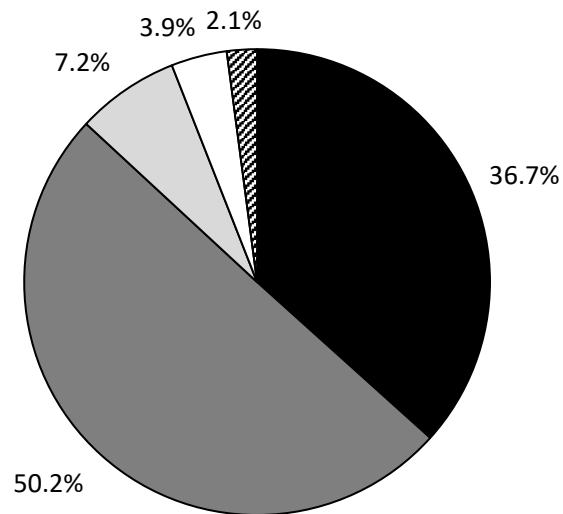
□活発である □どちらかと言えば、活発である
 ■どちらかと言えば、活発でない ■活発でない
 ▨無回答

図 3-2-3 自治会や地域団体などのコミュニティ活動が活発だと思うか



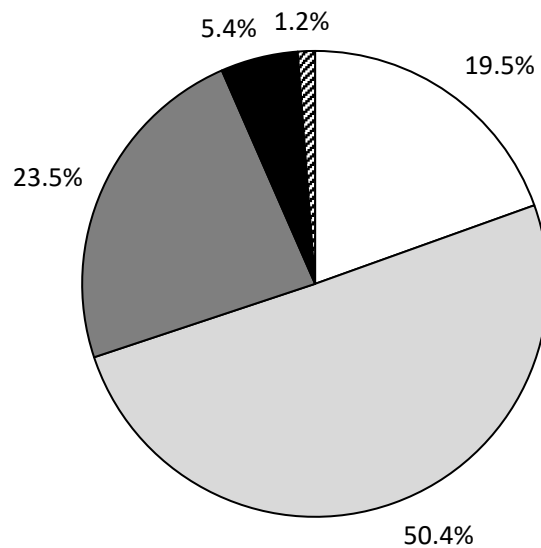
■弱い ■どちらかと言えば、弱い □どちらかと言えば、強い □強い ▨無回答

図 3-2-4 住民同士のつながりに対する印象



- 不足している
- どちらかと言えば、不足している
- どちらかと言えば、不足していない
- 不足していない
- ▨ 無回答

図 3-2-5 地域コミュニティ活動の担い手が不足していると思うか



- あると思う
- どちらかと言えば、あると思う
- どちらかと言えば、ないと思う
- ないと思う
- ▨ 無回答

図 3-2-6 地域コミュニティ活動を活発にする何かしらの方法があると思うか

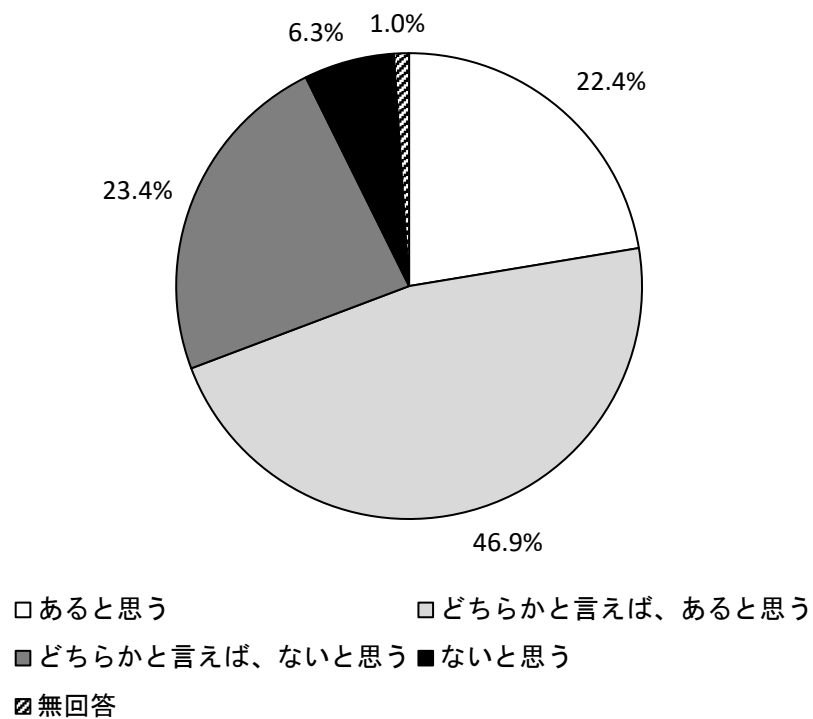


図 3-2-7 住民同士のつながりを強くする何かしらの方法があると思うか

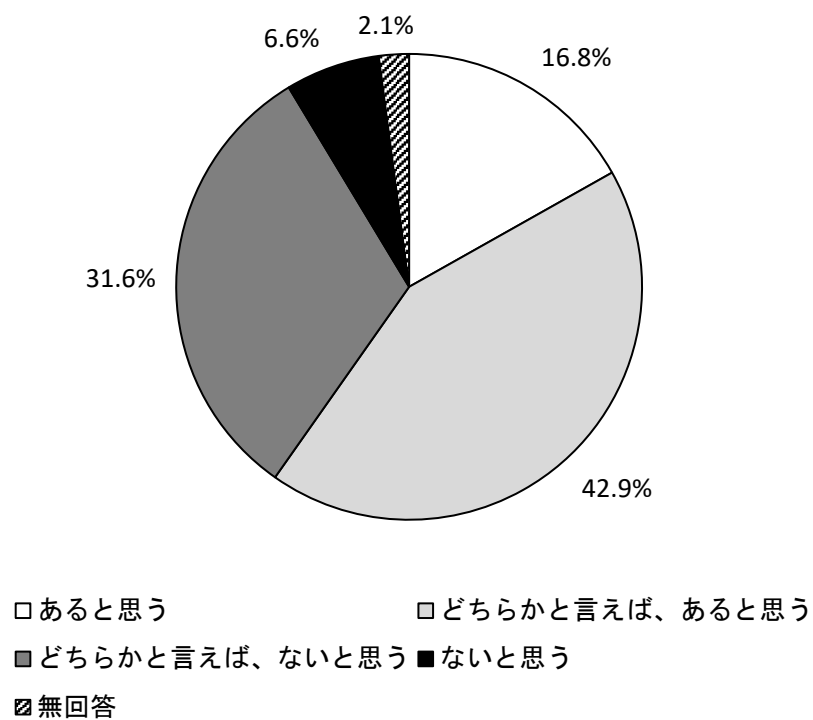
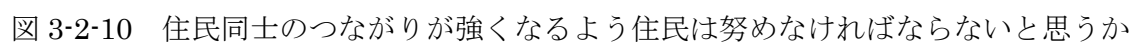
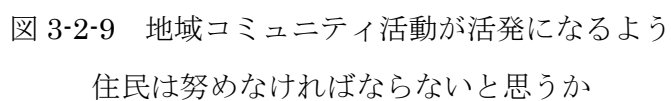


図 3-2-8 地域コミュニティ活動の担い手を増やす何かしらの方法があると思うか



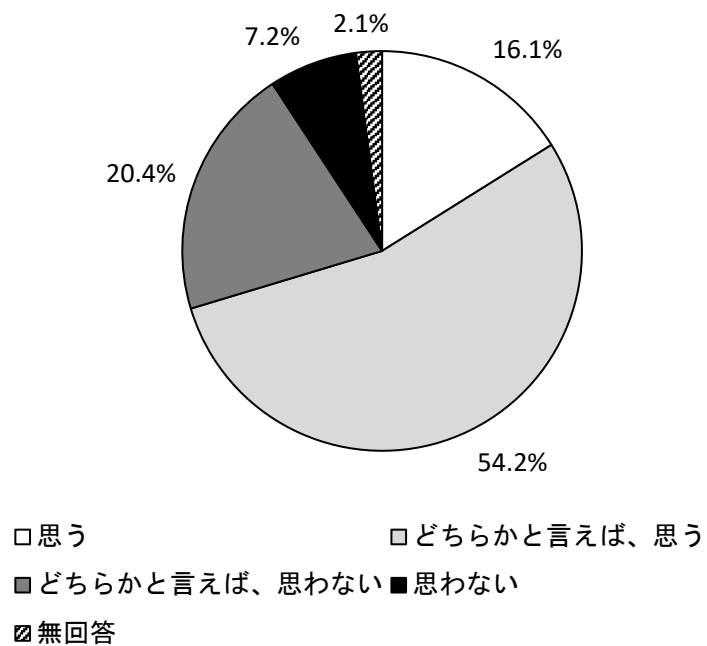


図 3-2-11 地域コミュニティ活動の担い手が増えるよう
住民は努めなければならないと思うか

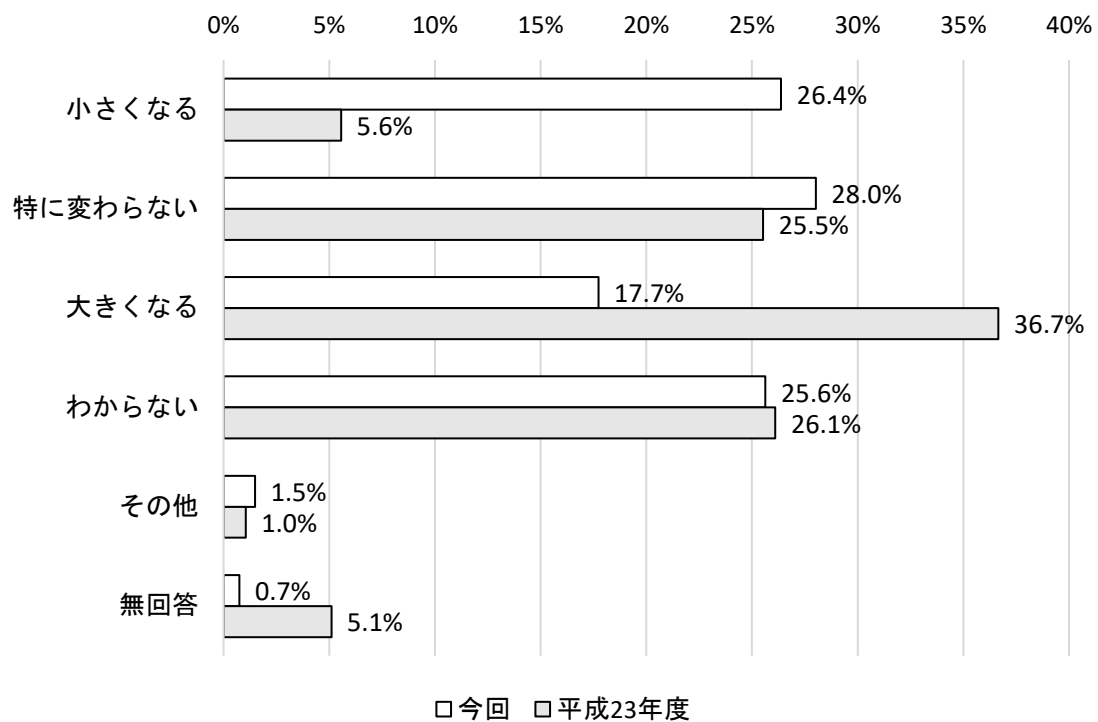


図 3-2-12 地域コミュニティ活動が果たす役割は、これからどうなると思うか

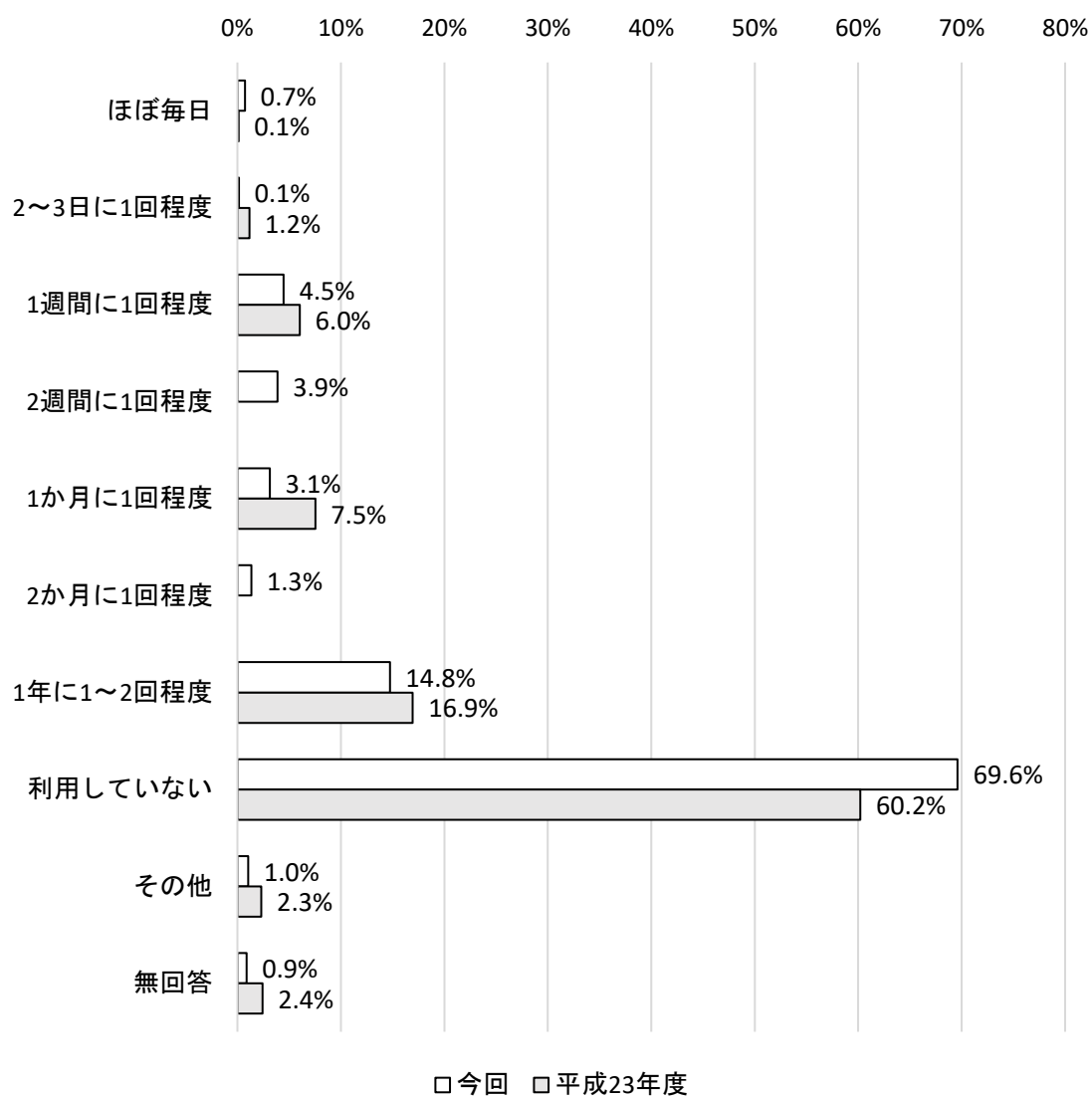


図 3-2-13 公民館もしくはコミュニティセンターの利用頻度

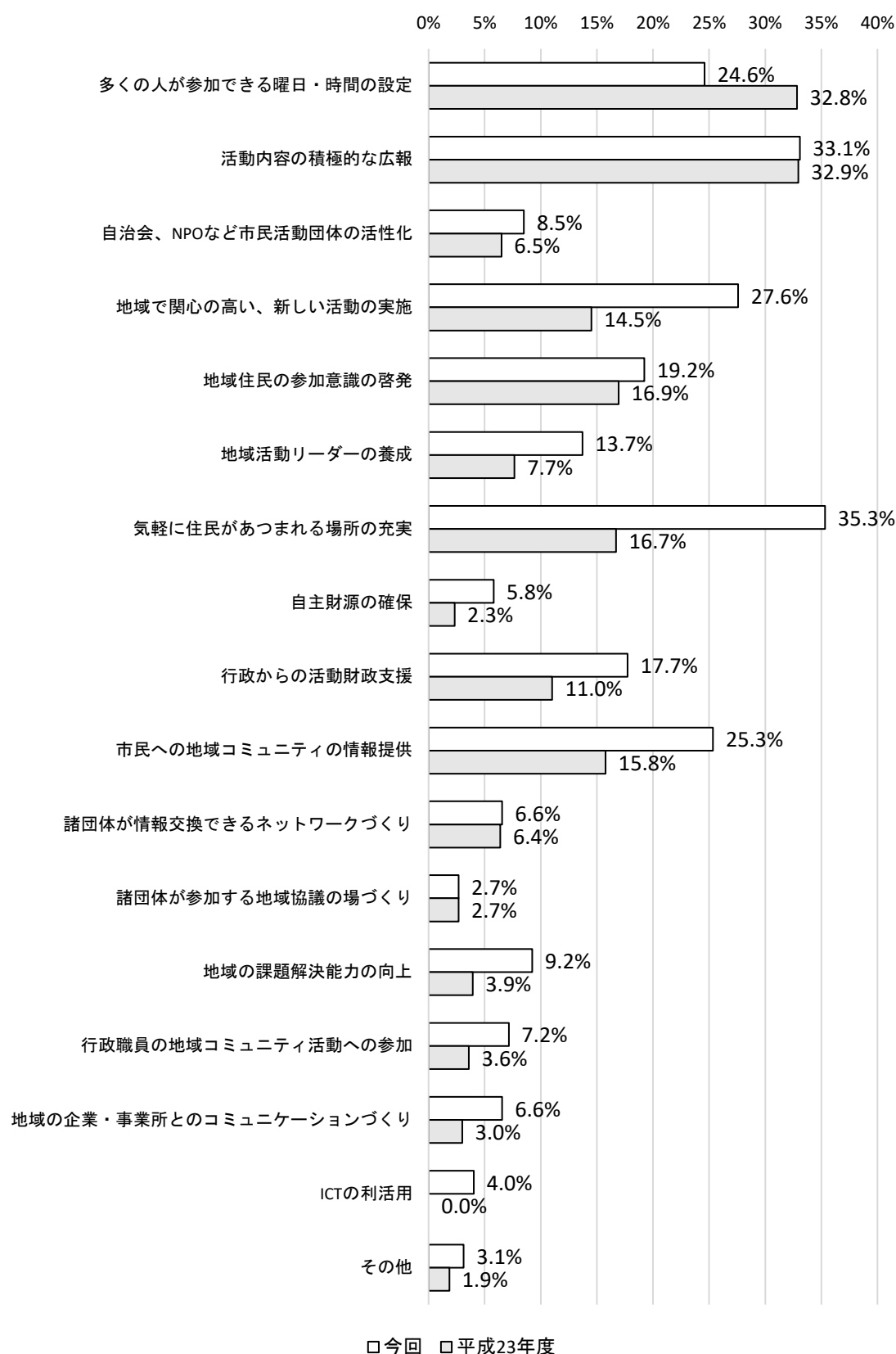


図 3-2-14 地域コミュニティ活動が、さらに活性化するために必要な事

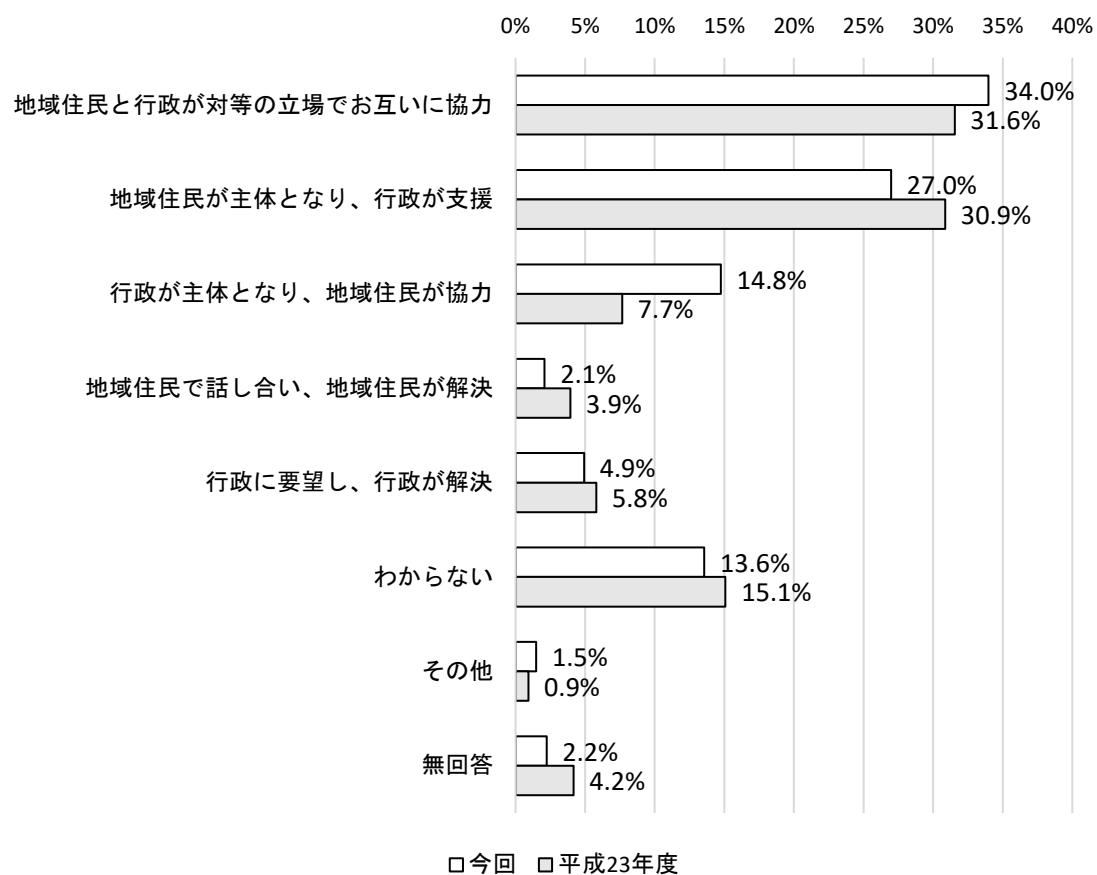


図 3-2-15 地域が抱える様々な課題を解決するため、
地域住民と行政はどのような関係を保つことが望ましいか

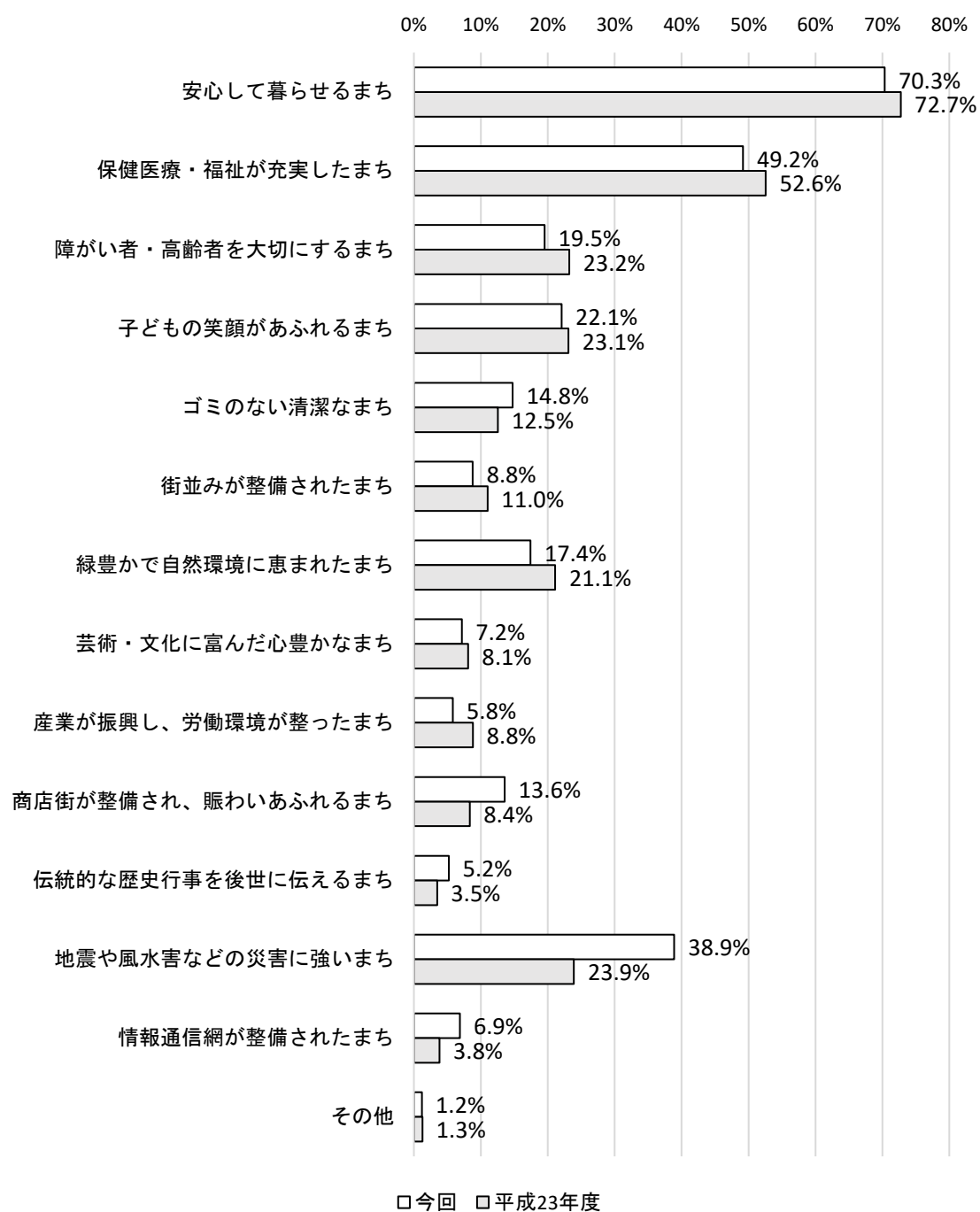


図 3-2-16 将来、どのようなまちになって欲しいと思うか

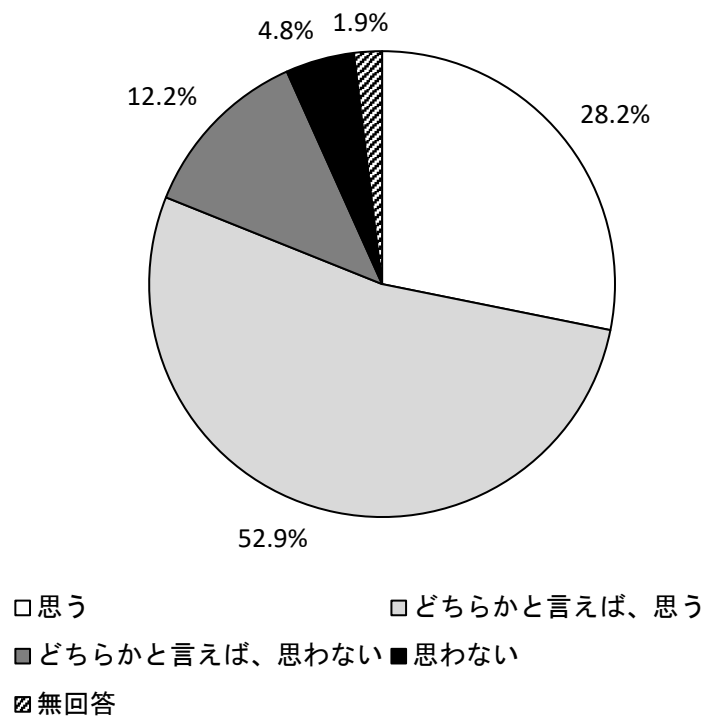


図 3-2-17 「地域のまちづくり計画」があったら、地域づくりに効果的だと思うか

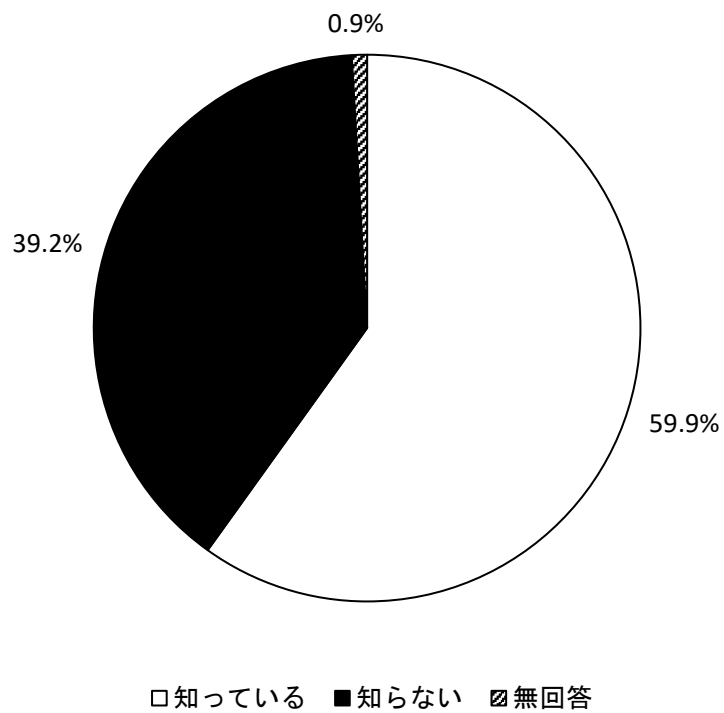
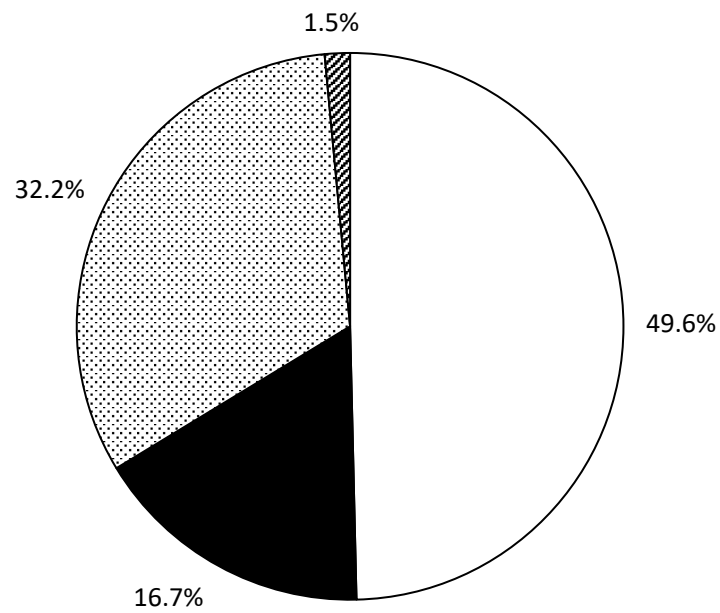


図 3-2-18 地域行事の開催目的を知っているか



□つながっている ■つながっていない □わからない ▨無回答

図 3-2-19 地域行事は地域活性化につながっていると思うか

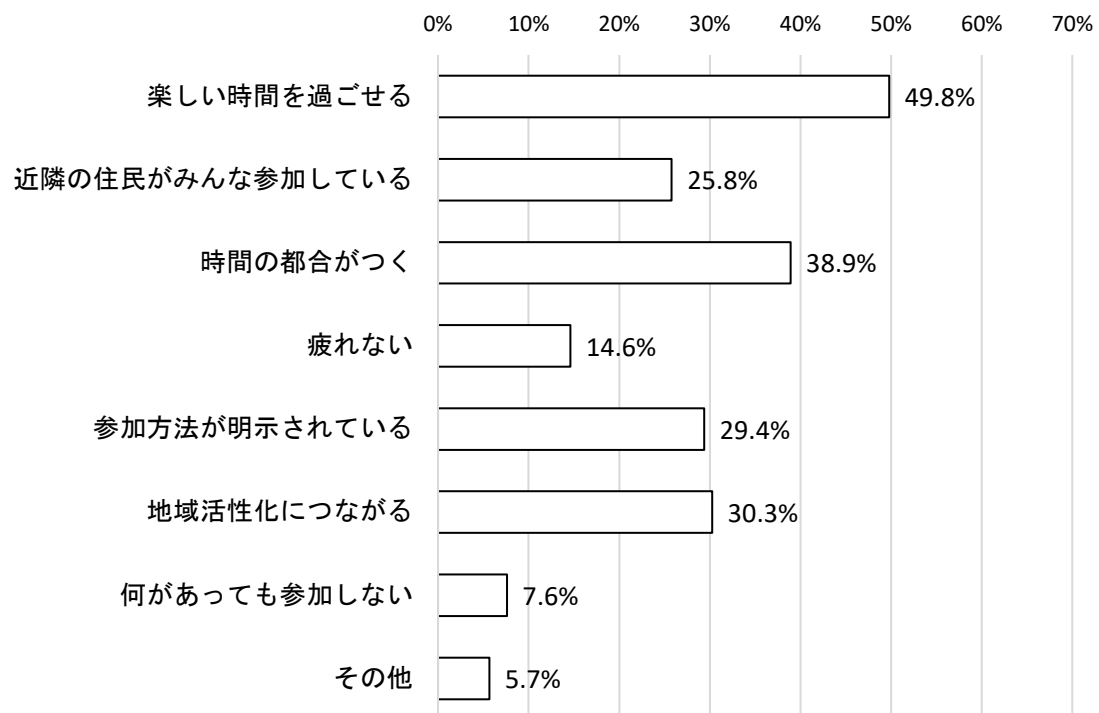
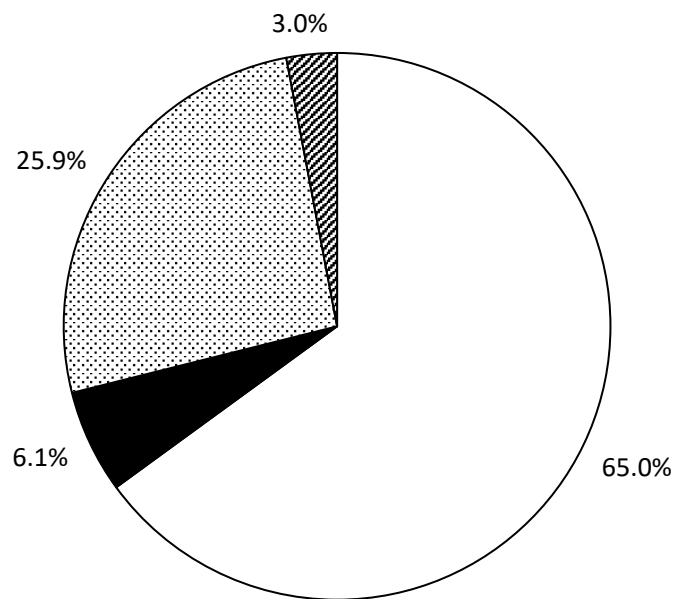


図 3-2-20 地域行事に参加するきっかけとなる事



□効果がある ■効果がない □わからない ▨無回答

図 3-2-21 地域の防災訓練は災害時の被害を小さくするために効果があると思うか

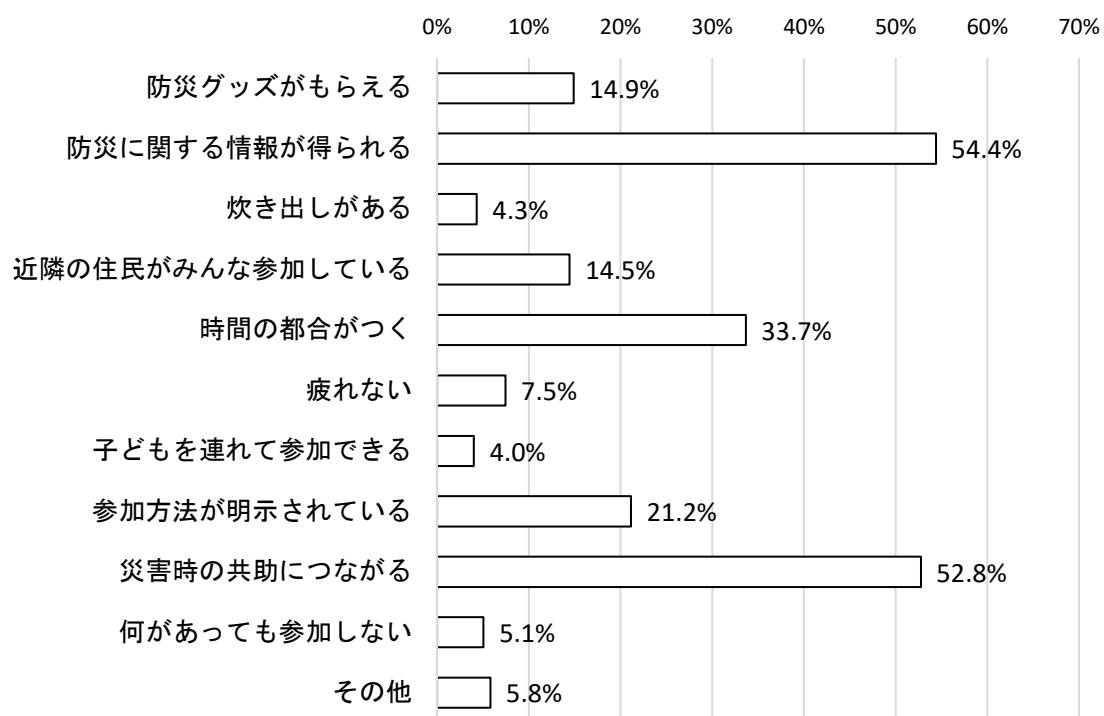
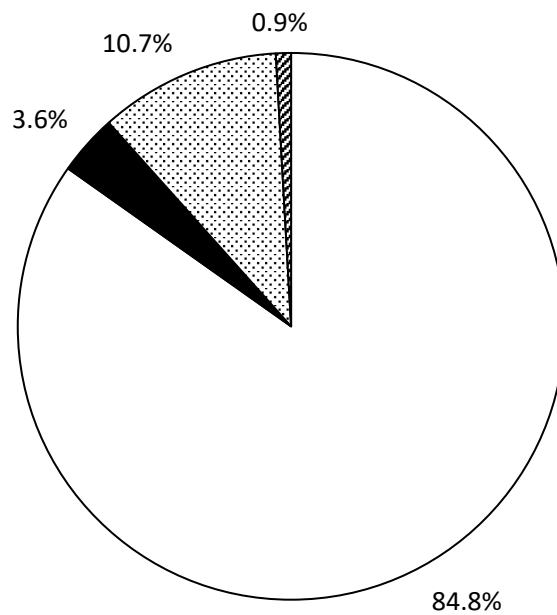


図 3-2-22 地域の防災訓練に参加するきっかけとなる事



□効果がある ■効果がない ◻わからない ◼無回答

図 3-2-23 地域の防犯活動は犯罪の発生を防ぐために効果があると思うか

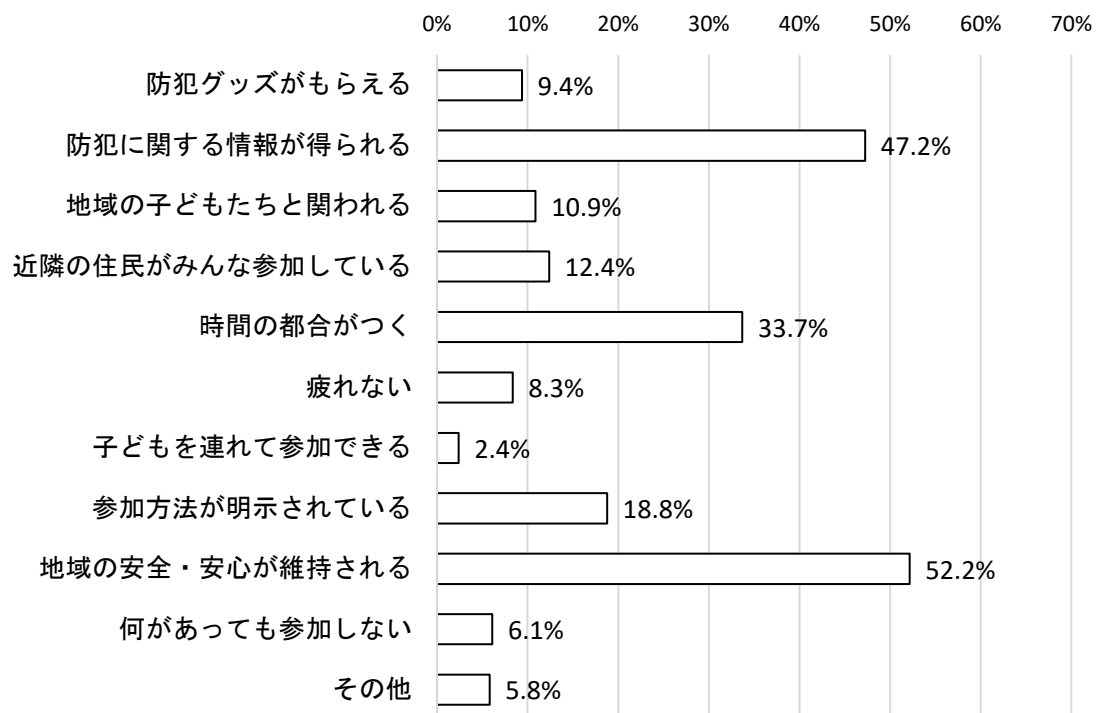
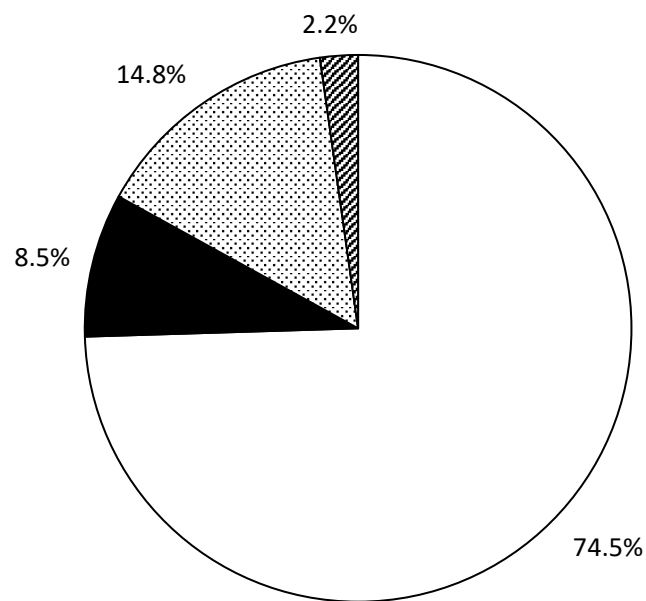


図 3-2-24 地域の防犯活動に参加するきっかけとなる事



□つながっている ■つながっていない □わからない ▨無回答

図 3-2-25 地域の清掃活動は地域の美化につながっていると思うか

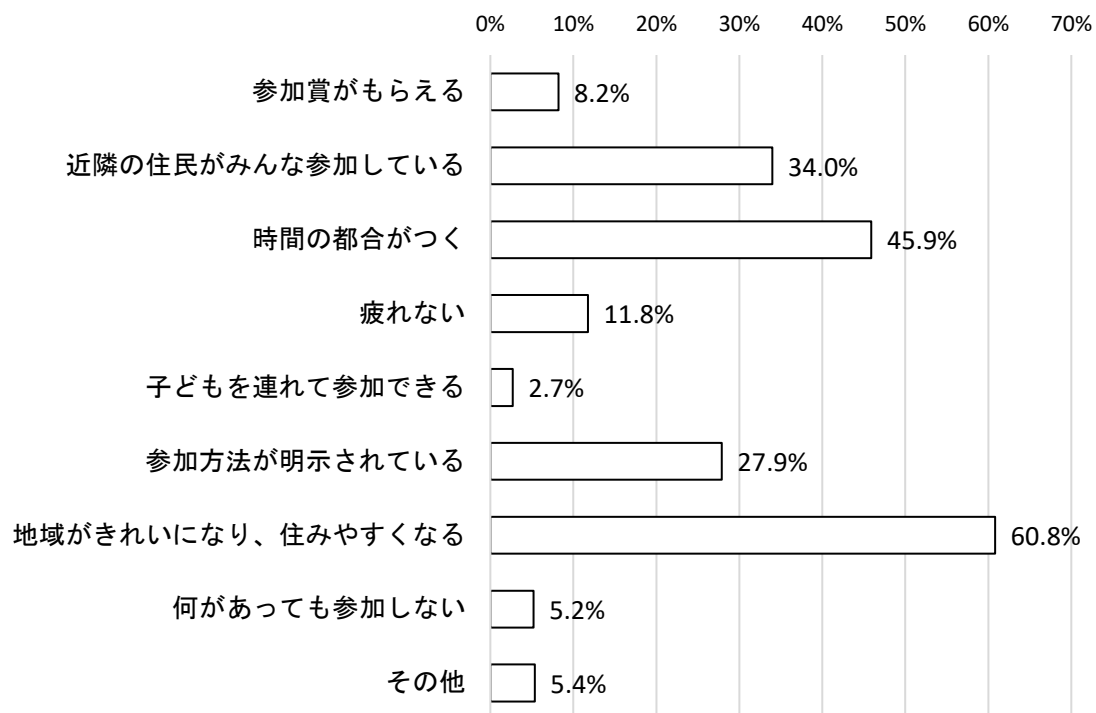


図 3-2-26 地域の清掃活動に参加するきっかけとなる事

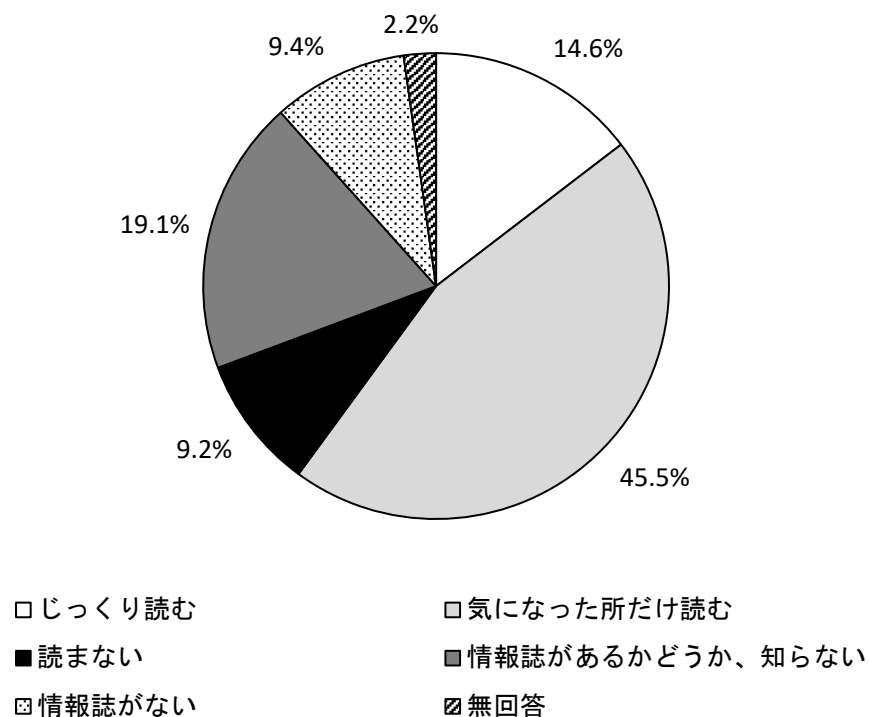


図 3-2-27 住んでいる地域独自の情報誌を読むか

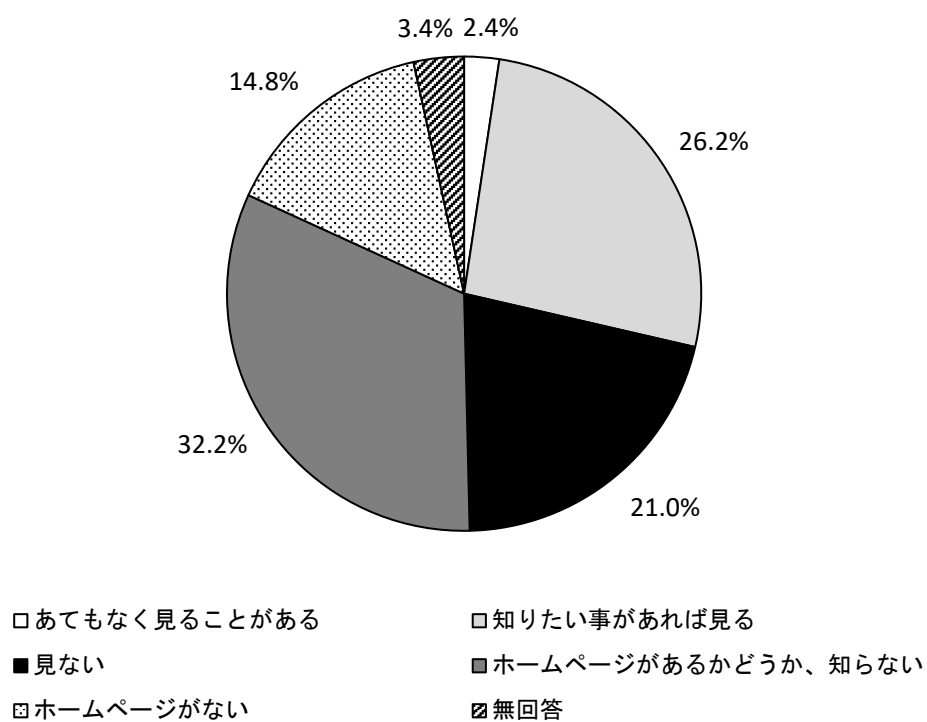


図 3-2-28 住んでいる地域のホームページを見るか

第3節 自治会への加入・参加

屋外にある自治会の掲示板について、「通り過ぎながら読む」が254人（37.9%）で最も多く、次いで、「立ち止まって読む」が142人（21.2%）であり（図3-3-1）、自治会の活動内容を知っている人の方が多かった（図3-3-2）。自治会に加入する方法についても知っている人の方が多く（図3-3-3）、加入方法を知っている人の大半が、加入手続きは面倒ではないと思っていた（図3-3-4）。

住んでいる地域の自治会加入率については、低いと認識している人の割合と高いと認識している人の割合が、ほぼ等しかった（図3-3-5）。そして、自治会の加入率を高める何かしらの方法がある、自治会の加入率が高くなるよう住民は努めなければならない、自治会に加入することを期待されている、と思っている人の方が多かった（図3-3-6～図3-3-8）。なお、自治会へ加入するよう促された経験がある人は、わずかだった（図3-3-9）。

自治会に「加入している」人は526人（78.4%）で、「加入していない」人が79人（11.8%）、「以前は加入していたが、脱会した」人が20人（3.0%）、「自治会がない」人が22人（3.3%）だった（図3-3-10）。

自治会に加入している人に、加入時の思いを尋ねたところ、80%以上の人々が、加入した方が良いと思っていた（図3-3-11）。そして、90%以上の人々が、自治会の回覧板を読んでおり（図3-3-12）、70%以上の人々が、自治会の活動は参加しやすい日時に設定されていると思っていた（図3-3-13）。また、自治会の活動に参加している世帯の方が多いと思っている人、自治会の活動に参加することを期待されていると思っている人は、いずれも70%近かったが（図3-3-14、図3-3-15）、現在自治会の活動に参加したいと思っている人、自治会の活動に参加している人は、どちらも60%弱にとどまった（図3-3-16、図3-3-17）。なお、自治会の活動に参加するよう促された経験がある人は、20%弱だった（図3-3-18）。

自治会に加入していない人の中で、加入したいと思っている人は15%程度で（図3-3-19）、自治会がない人の中で、設立されたら加入したいと思っている人は35%程度だった（図3-3-20）。なお、脱会した理由としては、「仕事や介護などで参加する時間を確保できなかったから」、「役員になると負担が大きかったから」、「活動内容に興味を引かれなかったから」などがあつた。

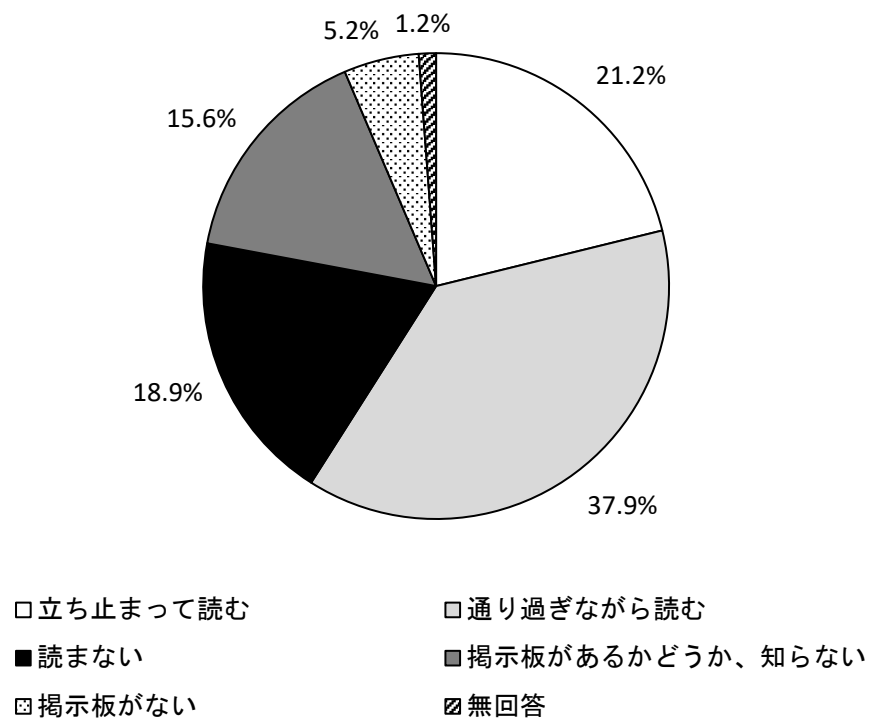


図 3-3-1 屋外にある自治会の掲示板を読むか

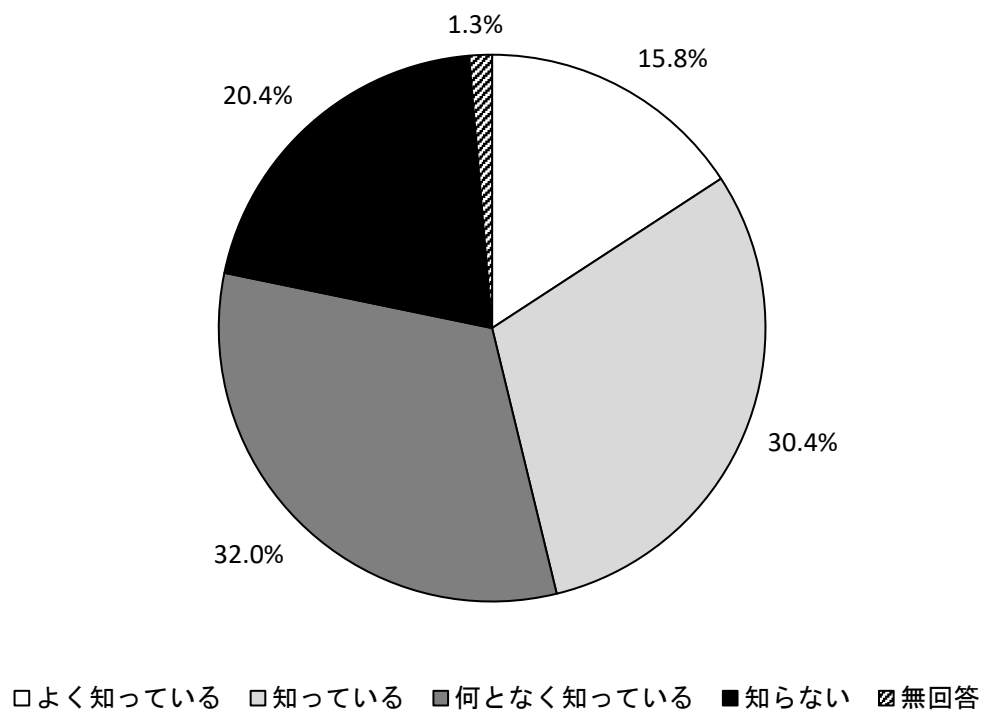
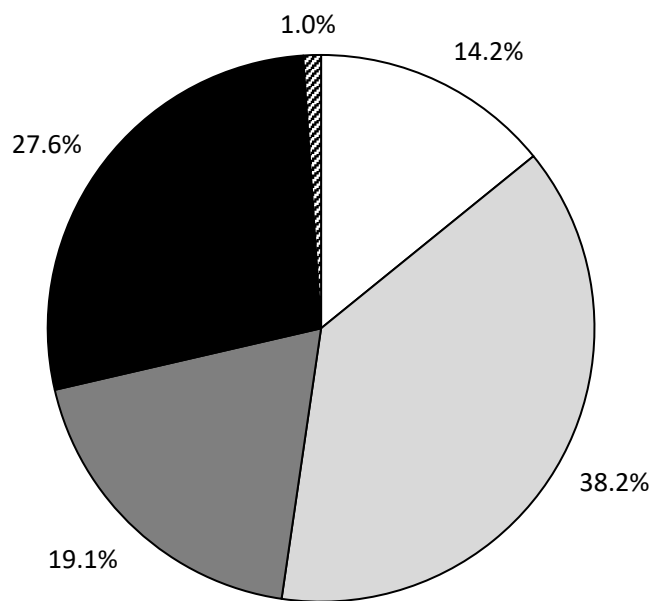
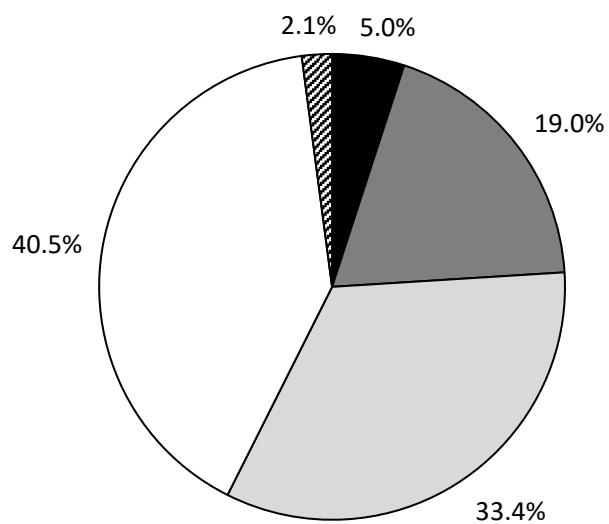


図 3-3-2 自治会の活動内容を知っているか



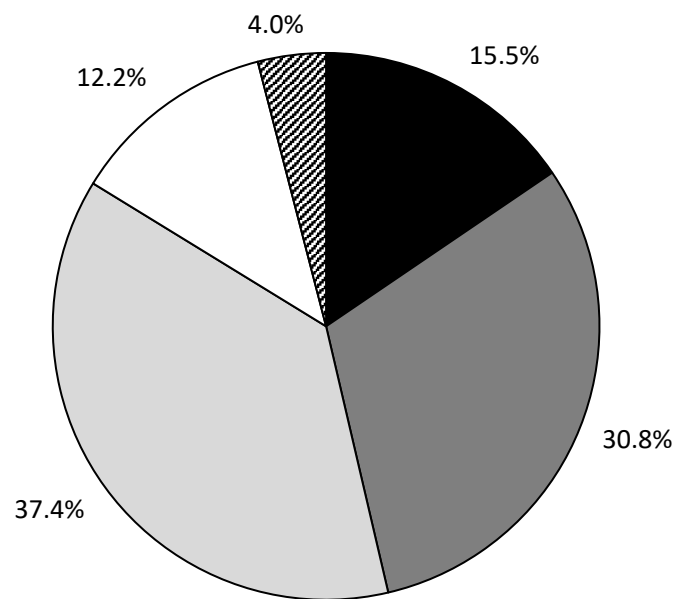
□よく知っている □知っている ■何となく知っている ■知らない ▨無回答

図 3-3-3 自治会に加入する方法を知っているか



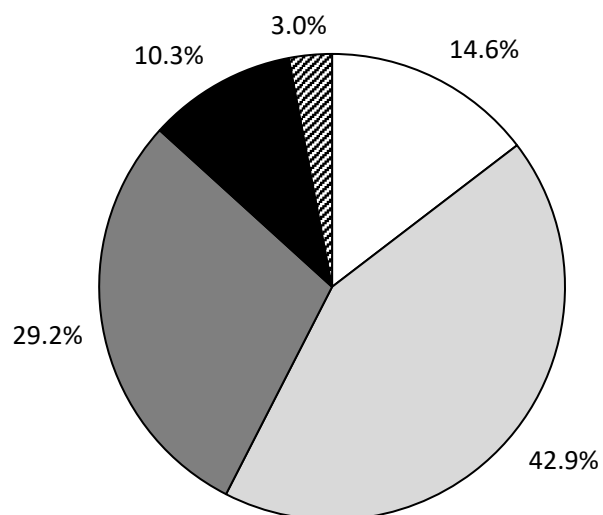
■面倒だと思う ■どちらかと言えば、面倒だと思う
□どちらかと言えば、面倒だと思わない □面倒だと思わない
▨無回答

図 3-3-4 自治会の加入手続きは面倒だと思うか



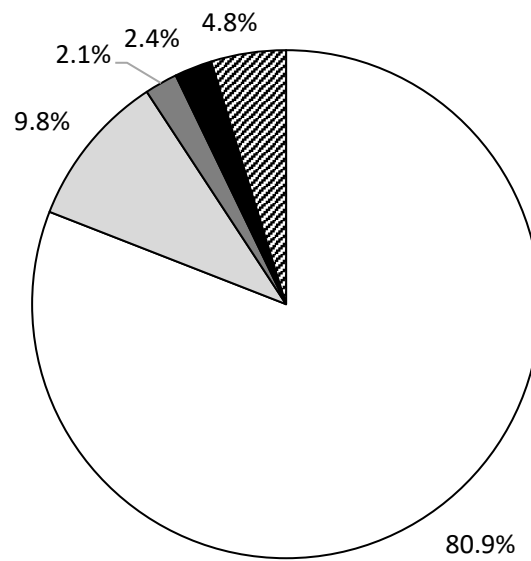
■低い ■どちらかと言えば、低い □どちらかと言えば、高い □高い ▨無回答

図 3-3-5 住んでいる地域の自治会加入率に対する印象



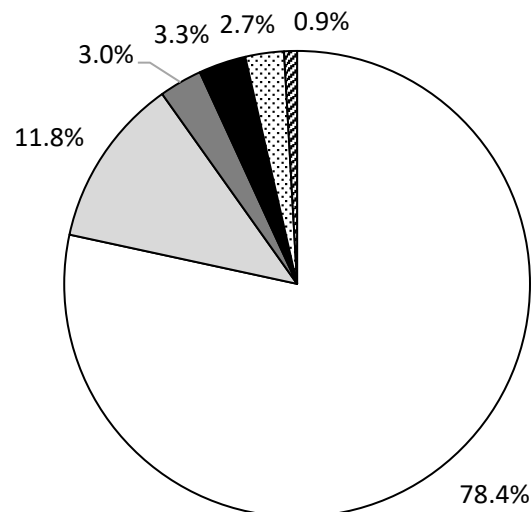
□あると思う □どちらかと言えば、あると思う
 ■どちらかと言えば、ないと思う ■ないと思う
 ▨無回答

図 3-3-6 自治会の加入率を高める何かしらの方法があると思うか



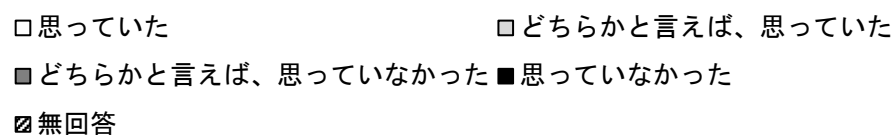
□ 促されたことはない □ 1度だけ促された ■ 2~3度促された
 ■ それ以上促された ▨ 無回答

図 3-3-9 自治会へ加入するよう周囲から促されたことがあるか



□ 加入している □ 加入していない
 ■ 以前は加入していたが、脱会した ■ 自治会がない
 ▨ その他 ▨ 無回答

図 3-3-10 自治会への加入状況



A pie chart illustrating the distribution of responses for the question 'How often do you use the Internet?'. The chart is divided into four segments: a large white segment representing 36.1%, a large light gray segment representing 54.2%, a small black segment representing 9.1%, and a very thin hatched segment representing 0.6%.

Category	Percentage
White	36.1%
Light Gray	54.2%
Black	9.1%
Hatched	0.6%

図 3-3-12 自治会の回覧板を読むか



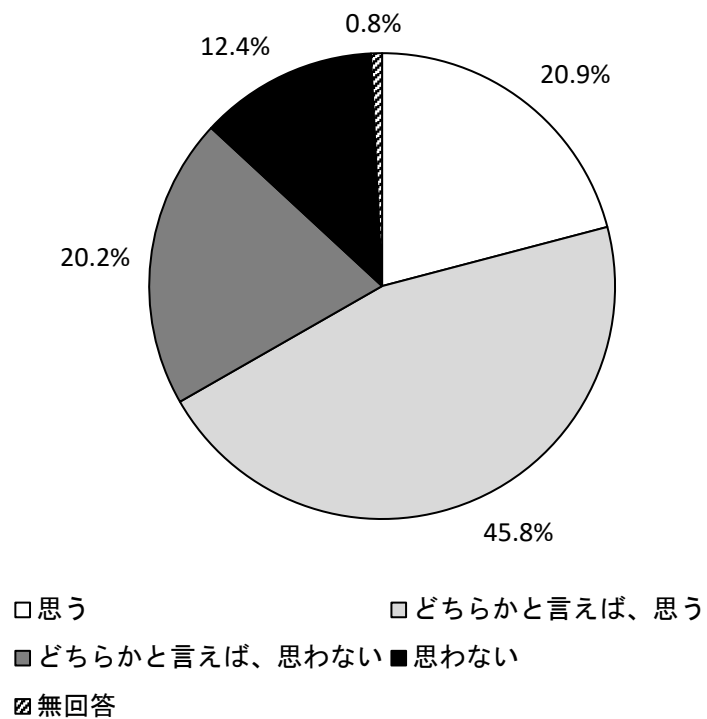


図 3-3-15 自治会の活動に参加することを期待されていると思うか

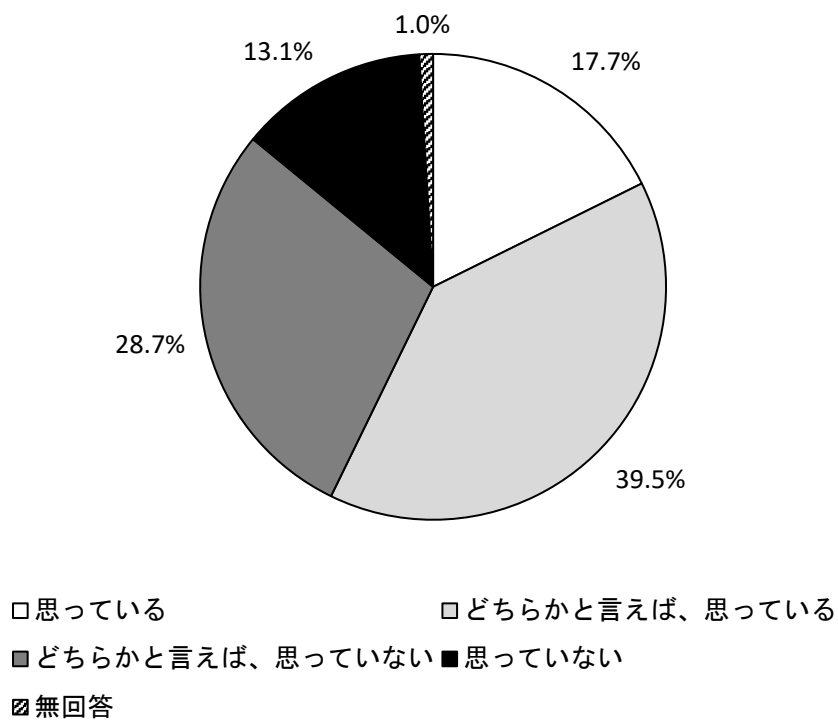
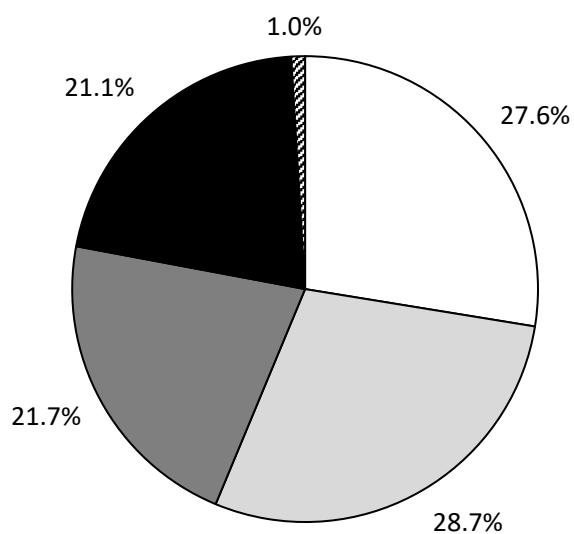
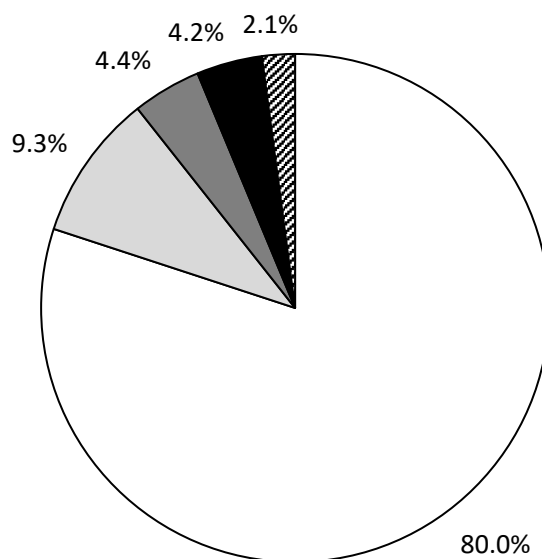


図 3-3-16 現在、自治会の活動に参加したいと思っているか



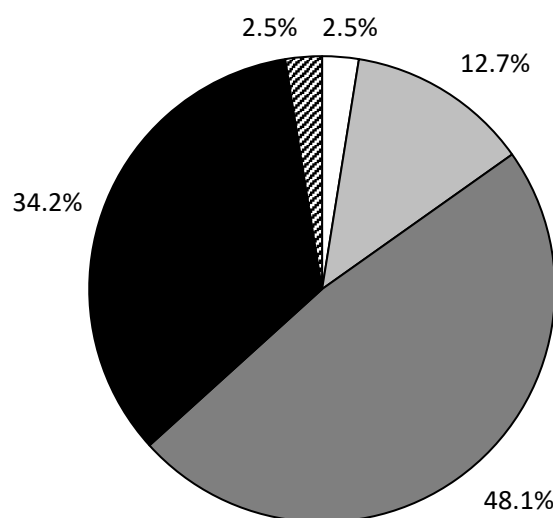
☐ 参加している ☐ どちらかと言えば、参加している
☐ どちらかと言えば、参加していない ☐ 参加していない
☐ 無回答

図 3-3-17 自治会の活動に参加しているか



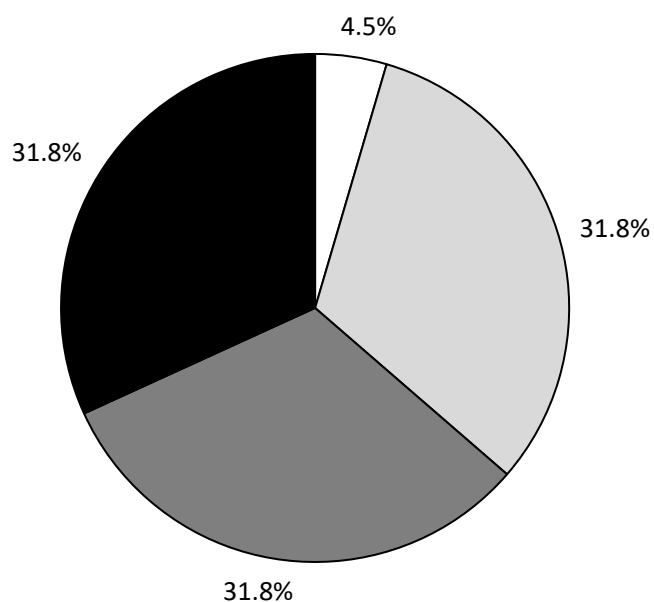
☐ 促されたことはない ☐ 1度だけ促された ☐ 2～3度促された
☐ それ以上促された ☐ 無回答

図 3-3-18 自治会の活動に参加するよう周囲から促されたことがあるか



☐ 加入したい
 ☐ どちらかと言えば、加入したい
☐ どちらかと言えば、加入したくない
 ☐ 加入したくない
☐ 無回答

図 3-3-19 自治会に加入したいと思うか



☐ 加入したい
 ☐ どちらかと言えば、加入したい
☐ どちらかと言えば、加入したくない
 ☐ 加入したくない

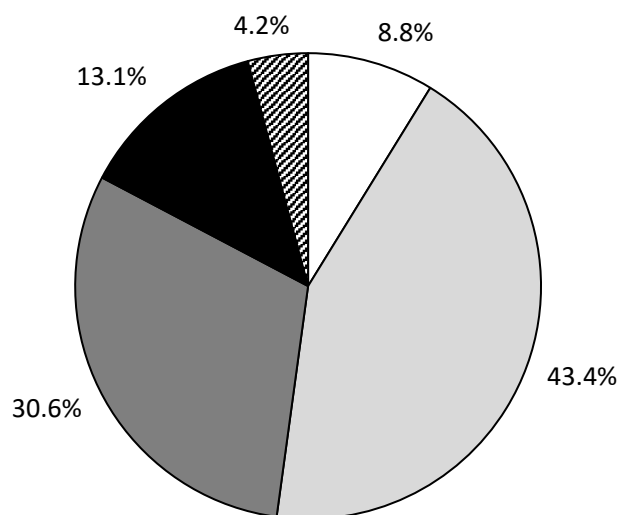
図 3-3-20 自治会が設立されたら、加入したいか

第4節 自治会の活動に対する考え

回答者の半数以上が、「自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られる」、「自治会の活動に参加するのは時間がもったいなくない」と思っており、70%以上の人々が、「自治会費を払うのはもったいなくない」、「自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしい」、「自治会の活動に参加することで知り合いができれば、うれしい」と思っていた（図 3-4-1～図 3-4-5）。さらに、「自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができれば、うれしい」と思っている人は、80%を超えていた（図 3-4-6）。

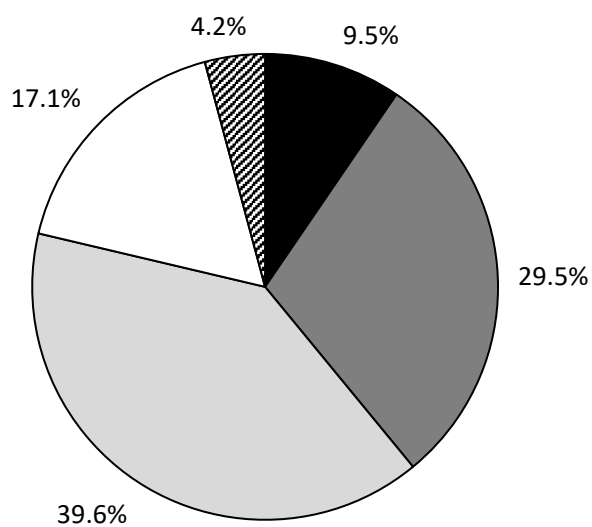
一方で、「自治会の活動は楽しい」、「自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせる」と思っている人は、30%未満だった（図 3-4-7、図 3-4-8）。また、「自治会の活動に参加すると肉体的に疲れる」、「自治会の活動に参加するのは気をつかう」、「自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのには勇気がいる」と思っている人が、70%前後だった（図 3-4-9～図 3-4-11）。さらに、60%近くの人が、「自治会の活動に参加するために家庭の仕事を家族に任せることはできない」、「小さな子どもを連れて自治会の活動に参加することはできない」と思っており、80%近くの人が、「自治会の活動に参加するために仕事を休んだり早退したりすることはできない」と思っていた（図 3-4-12～図 3-4-14）。

なお、自治会に期待する役割を尋ねたところ、「地域の安全を維持する」を指摘した人が 378 人（56.3%）で最も多く、次いで、「住民同士のつながりを作る」が 375 人（55.9%）、「災害に備える」が 276 人（41.1%）だった（図 3-4-15）。



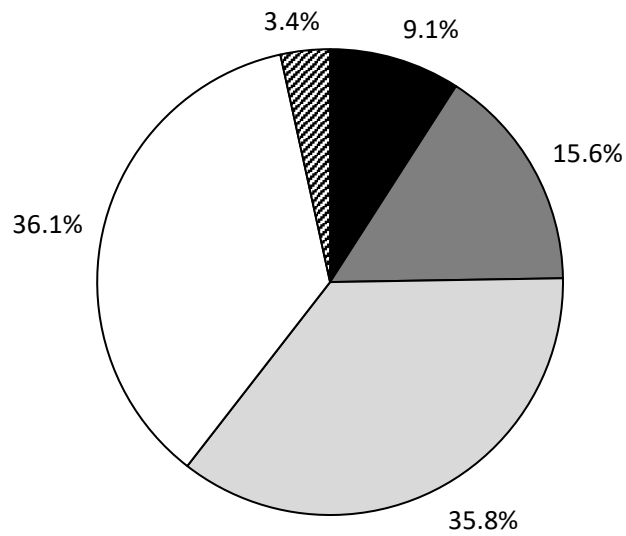
☐ 思う ☐ どちらかと言えば、思う
☐ どちらかと言えば、思わない ☐ 思わない
☐ 無回答

図 3-4-1 自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られると思うか



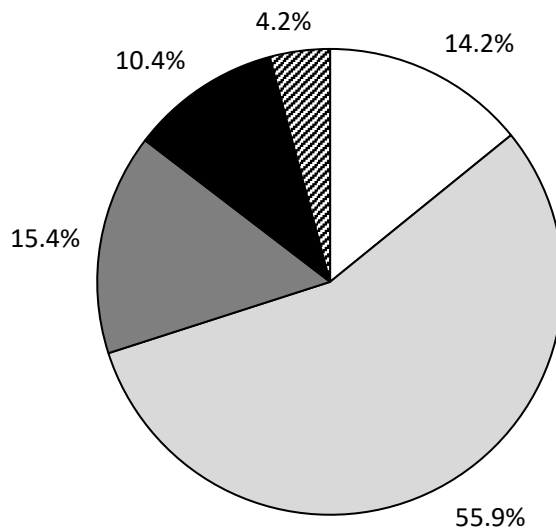
☐ 思う ☐ どちらかと言えば、思う
☐ どちらかと言えば、思わない ☐ 思わない
☐ 無回答

図 3-4-2 自治会の活動に参加するのは時間がもったいないと思うか



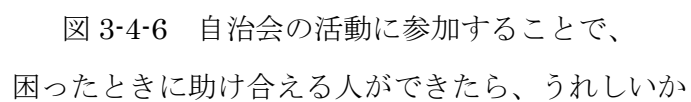
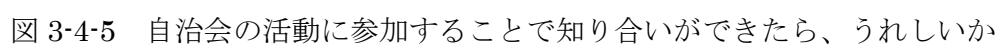
■ 思う
 ■ どちらかと言えば、思う
 □ どちらかと言えば、思わない
 □ 思わない
 ▨ 無回答

図 3-4-3 自治会費を払うのはもったいないと思うか



□ うれしい
 □ どちらかと言えば、うれしい
 ■ どちらかと言えば、うれしくない
 ■ うれしくない
 ▨ 無回答

図 3-4-4 自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしいか



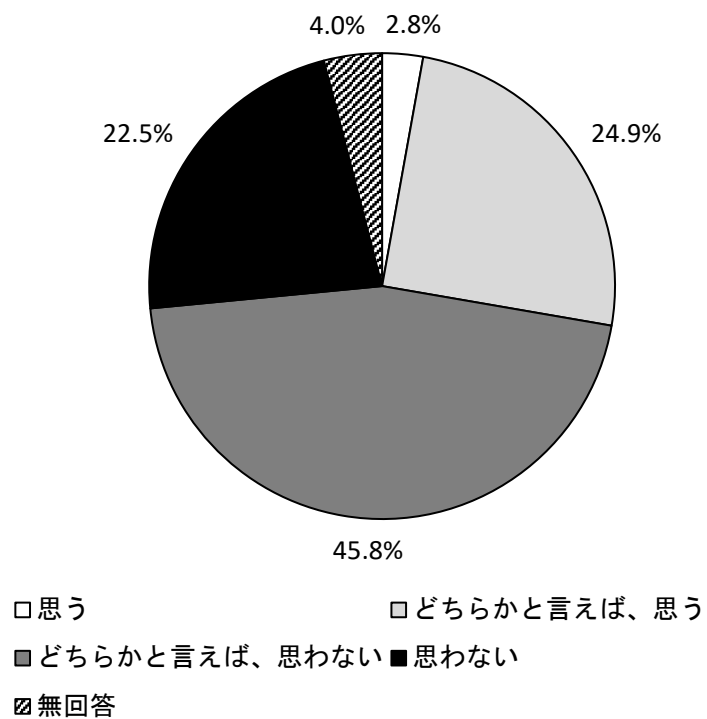


図 3-4-7 自治会の活動は楽しいと思うか

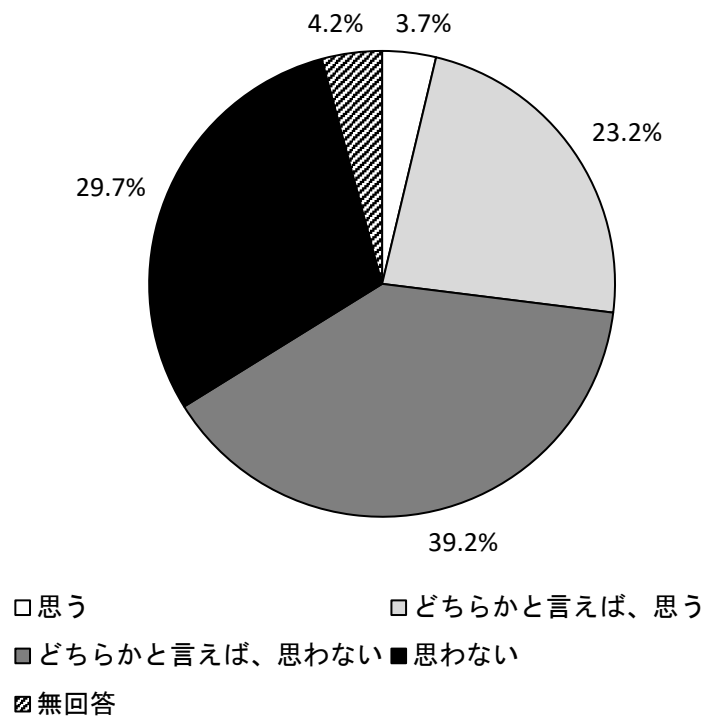


図 3-4-8 自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせると思うか

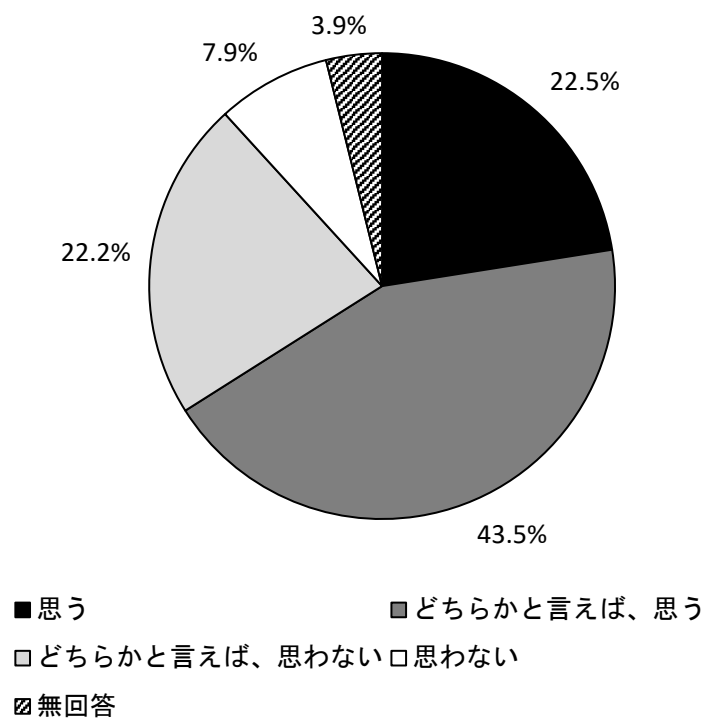


図 3-4-9 自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思うか

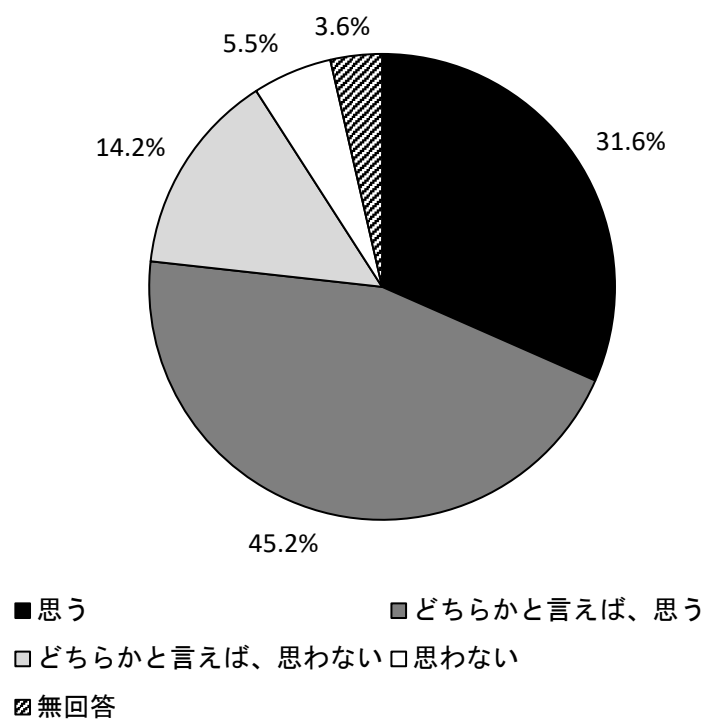


図 3-4-10 自治会の活動に参加するのは気をつかうと思うか

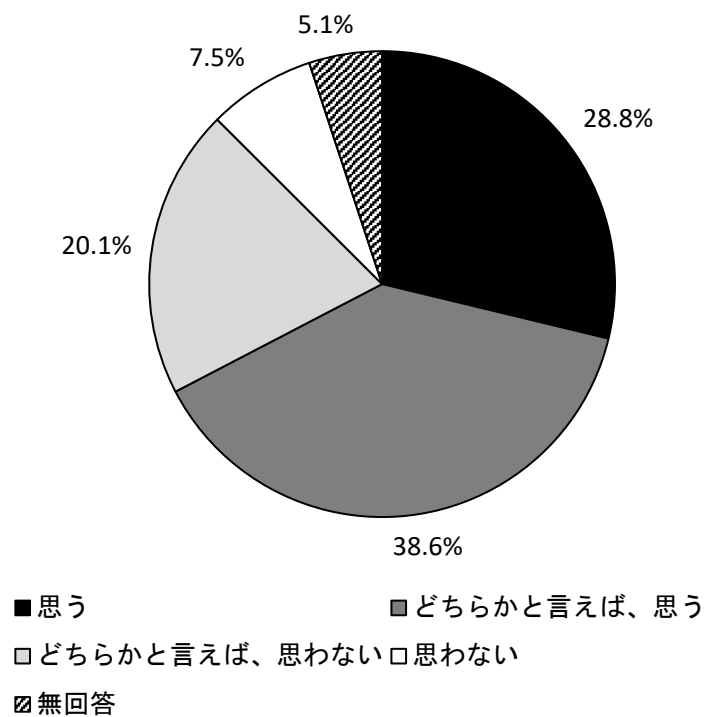


図 3-4-11 自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのには勇気がいると思うか

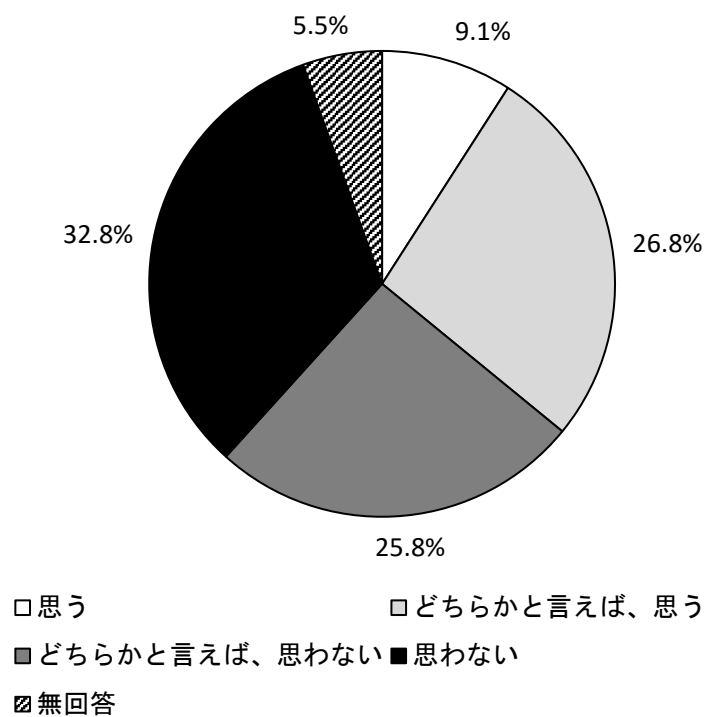


図 3-4-12 自治会の活動に参加するために家庭の仕事を家族に任せられると思うか

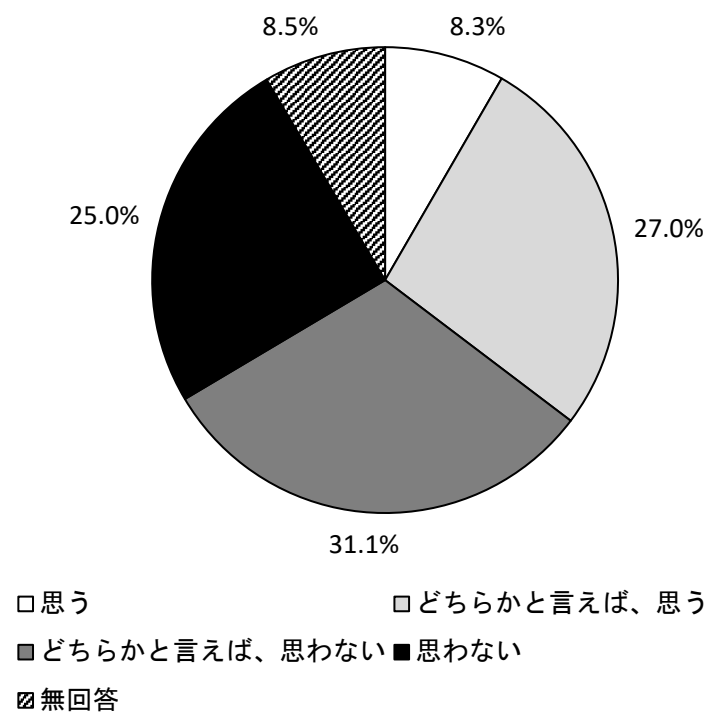


図 3-4-13 小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できると思うか

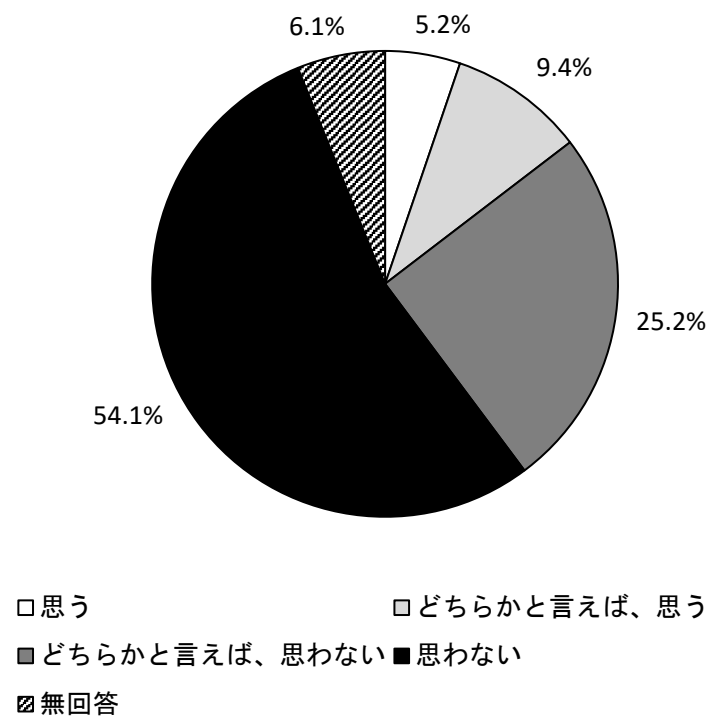


図 3-4-14 自治会の活動に参加するために仕事を休んだり早退したりできると思うか

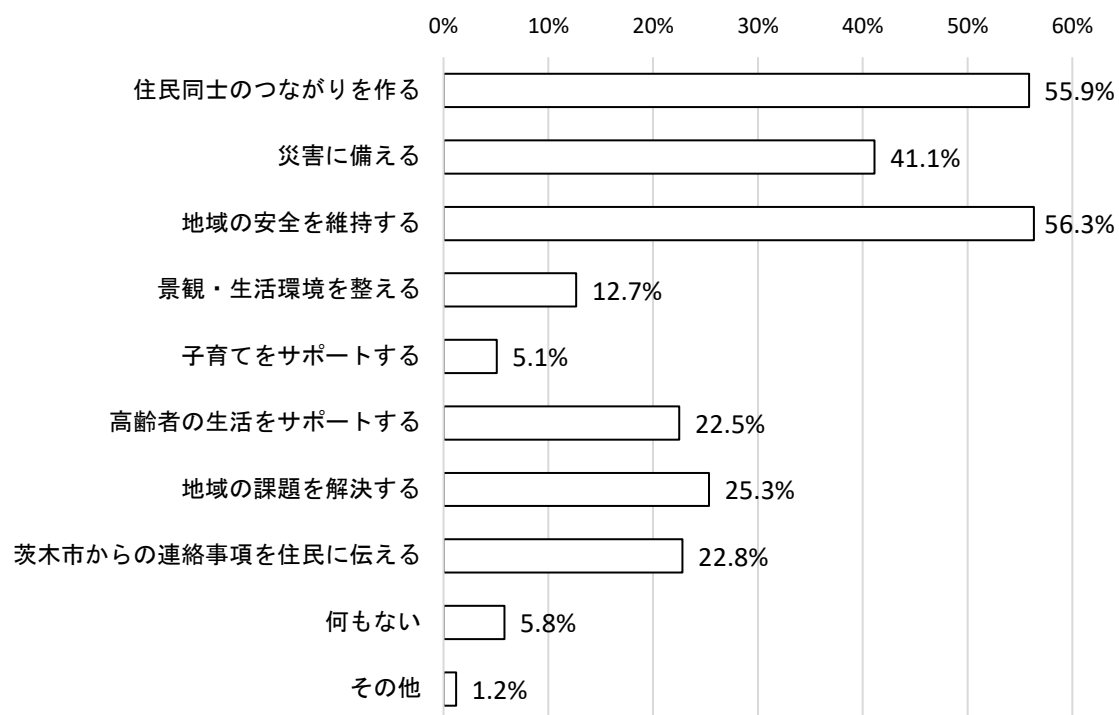


図 3-4-15 自治会に期待する役割

第5節 地域コミュニティ活動や自治会に対する意見・要望

アンケートの最後に、地域コミュニティ活動や自治会に対する意見・要望を自由に書いてもらう欄を設けたところ、129人（19.2%）の回答者から記入があった。本報告書では、紙幅の都合上、今後の自治会のあり方を検討するうえでヒントとなりそうなものを抜粋し、文意を損なわない範囲で縮約・修正して紹介する。

〈自治会の必要性に関する前向きな意見〉

- ・ なぜ自治会が必要か、もっと啓蒙が必要ではないか。阪神淡路大震災のとき、自治会が、住民のコミュニケーションがしっかりとしているところは助け合いができていた。自治が大切だと思っている。
- ・ 地域コミュニティ活動や自治会について、どのように活動されていて、どういう課題が地域にあるのか、コロナ禍で分かりにくいなと感じている。大きな災害や何かあった時に、地域の皆で協力して乗り切れるほどの交流やそれぞれの意識があるのか、とアンケートで考えさせられた。老夫婦だけの世帯や子どものいない30代～40代の独り身の人には、地域活動への参加は大変なのではないかと感じている。地域コミュニティ活動の大切さ等もっと発信して欲しい。
- ・ 私が住んでいる地域は自治会に加入する世帯が高齢化している。なぜなら、古くからの戸建て住宅が多く、集合住宅は賃貸が多いので自治会に入っていない世帯が多い。自治会の組長はすぐ回ってくるし、班の人が高齢者ばかりで組長を回すのも問題だと感じている。コミュニティの行事は昔なじみの人々が私物化している印象で参加しにくいし、子ども会も徐々に小さくなっており、若い世代が自治会離れしていつている。しかし、災害の備えも必要、助け合いが不可欠だし、独居老人の見守りを密にしていかないと、いけないと思う。コロナ禍での孤立で若い人もお年寄りも精神的に弱っていると思う。そういう埋もれた見えないところの諸問題を、コミュニティのつながりで引き出す必要が高まってきていると思う。
- ・ 地域コミュニティのつながりが災害時等に変重要になってくると思うので、行政主体でその活気ある活動がうながされることを期待する。
- ・ 地域コミュニティの原本は自治会であると思っている。その自治会が強力なパワーを示し自治会員を引っばって行くようにならなければ弱体化していくと思う。
- ・ 古い住宅街だったので、みんな生き生きと自治会を運営されていた印象があるが、

残念な事に世代交替が始まったり、個別の住宅サイズも小さくなり、そのうえにコロナという流れで、この2年間は全ての自治会主催の行事が中止となり淋しいかぎりである。積極的な参加はしてない方だが、音楽が聞こえてきたり、そぞろ歩きをしている家族の様子を家の中で感じるだけでも心楽しく思っていた。周りの人の年齢も段々高くなってきたので、次は我が家の当番かな、と思うところである。自治会の復活を心待ちにしている。

〈自治会の閉鎖的な雰囲気や世代交代に関する意見〉

- ・ 会長の意見だけが採用される事が多い気がする。他の意見があっても、検討されるのか分らない。
- ・ 新しい意見は、全く通らない。考えが古くさい。
- ・ 自治会役員の若返りが必要である。
- ・ スポーツで体を動かすことで健康に寄与しながら地域の人たちと繋がれたり、自宅にいながらでもeスポーツなどのゲームで繋がれてもいいと思う。世代の入れ替わりで子持ち家族、子育て世代の人たちが増えている印象があるので子育て世代をサポートできるような地域、みんなで子供を見守れるような地域の繋がりがあってもいいと思う。災害時に備えて、地域に住む様々な専門家が普段からコミュニティの中で関わっていると分かると精神的な部分で威力を発揮すると思う。自治会は、おじさんおばさんが決定権を持って牛耳ってるイメージがある。
- ・ 古くから建っているマンションに居住中であり（居住して10年目）居住すると強制的に自治会に加入せざるをえない。加入しても自分達の意見は新入りとして扱われ（半ば古い人達のパワーが強くて）住みやすい環境でないのが現状。古くから住んでいる人達は、地域の助け合いを目的に家の事情（個人情報）を聞き出し、仲良しの住民に話して話題としている。ゴシップネタになっているのが現状。地域の助け合いとはどこまでが助け合いなのか？ゴシップネタになるならば、むしろ地域のつながりは薄くていいと思う。
- ・ 古くから自治会に参加している人たちの意見が優先されて、行動をおこす事に対して反対意見が出て実行が出来ない。自治会員が年々減少する理由に、若い世帯に対するメリットが何もなく、古い会員に手厚いという理由があると思う。これから地域をささえてくれる若い人にとって魅力のある地域・自治会であるように、これ

から考える必要があると思う。若い人の中には共働きの世帯が多く、土日しか参加してもらえない。茨木市の地域に関する部署も、土日の利用が出来るようにしてほしい。

- ・ 高齢者を意識しすぎると若い世代が入りにくい。若者（世代）が前に出れる施策、地域コミュニティをもっと前面に出して、活気のある地域にしないとそのうち、茨木市は全面的に沈んでしまうと思う。
- ・ 個人情報保護が徹底しているので、地域コミュニティ活動、特に自治会活動は縮小するのはやむを得ない。良くも悪くも、昔からの付き合いがある人だけの小規模な集団で活動しているのが実情である。例えば、お寺の檀家同志、神社の氏子同志等。小学校・中学校のいわゆるママ友もそうかも知れない。そこに加わるには気持ちや努力だけではどうにもならない。
- ・ 自治会役員を同じ人ばかりがやっており、会費の残金も不明確。もちまわりでもいいので固定はしない方がいいと思う。
- ・ 古くから住まわれている方々だけの活動となってしまうている。新しく入ってこられた方々をないがしろにしているよう感じる。新しく入ってこられた方も、地域のルールを守らず、自分がよければいいという態度。これらのことから地域コミュニティというマクロなくくりではなく行政からのトップダウンで一元管理した方がよいと考える。
- ・ 茨木市は古い風習や考えが強く保守的・内向的である。良い部分もあるが現代のニーズ（自分のことは自分でする、パーソナルスペースにふみこまない）にあっていない。
- ・ 私が住んでいる地域では、自治会活動等、昔からの「地」の住民が根を張るように世襲制のごとく役職等を決めているので、最低限の協力しか出来ない。積極的に活動参加は不可にて、色々住民の為にやってあげたいとは思えない（無理だと思う）。将来は頭打ちになるので、その前に根本的対策（現代風に合った企画）を必要とする。
- ・ 新しく住んでる人と村の人との交流が無く、自治会として成り立って無い。

〈改善提案・要望〉

- ・ 自治会の仕事が多すぎる。コロナで回覧板もかなり減ったようだが、必要かどうかわからない物販の回覧板や同じ内容の周知文書などが回ってくる。それだけではなく、役員は8月から11月まで土日は滅私奉公になっている。それゆえ、1年は役員を務めて、その後辞めていく人が後を絶たない。うちもいつまで加入していられるかわからない。班長くらいなら、なんとか務められるが、役員になると本当に色々仕事があり、しかも、事務能力が残っている定年直後の人くらいしかできないような仕事が多々あると思う。現役世代は、暇がなくて無理だとおもう。聞くと、何年も前に自治会を解散したところもあるとか。賢明な判断だとおもった。あと、自治会を退会するときに、近所の要らない静いがおきるのも問題だと思う。体育祭にしても、昼時に年寄りが集まって安否確認できるのは、とても喜ばしいことだが、弁当だけ食べにくるとかの陰口大会が始まる始末である。若い子たちは集まらなくて競技ができなかったり、文化祭は作品が集まらなくて仕方なく毎年同じ作品を出さされたり、ふるさと祭りの準備の膨大さにひるんだり、地域の緩くて穏やかなつながりは、必要だとおもうが、仕事が多すぎてギスギスした関係は、地域を崩壊させていると思っている。あと、役員をすると多少お金がでるが、そんなに高額ではないにせよ、問題をこじらせてる一因になってるとおもう。
- ・ 気を使わず、参加してみようと思えるシステムづくりが必要。
- ・ まち開きから数年は自治会活動が活発だったが、最近は当番で仕方なくやっている役員が増え、コロナもあって行事がほとんどなくなり、総会出席者がほぼ役員のみという低迷状態である。余分な仕事はやりたくない気持ちもわかるが、もう少し地域のために動こうという意欲がほしい。それだけ自分のことで精一杯で余裕のない人が増えたのかも知れない。
- ・ 私の加入している自治会では今年やめた人がたくさんいる。役をするのがいやだ、又はしんどい、市から何の恩恵もないという理由で高齢者がふえてきて、当番をする人が少なくなっている。
- ・ 参加意識はあっても、加入すればいずれは役員になり、何らかの担当をしなければならぬのがめんどろうだとか、したくないという方もいらっしゃる現状をどうにかしないといけないと思う。

- ・ 自治会加入については、未加入よりも加入のデメリット(会費や時間的拘束が多い)が多いように感じる。防犯や防災面などの情報提供や助け合い等メリット部分を増やせるような取り組みが必要と思う。また新しく加入するには勇気が必要なので気軽に加入出来るような雰囲気になって欲しい。
- ・ 運動会、ふるさと祭りなど役員は強制参加である。やりたい人だけでやってもらいたい。
- ・ 防災訓練に関する活動をもっと活発にし今後の不安を解消できるような体制作りをして欲しい。
- ・ コミュニティセンターや公民館で楽しい企画や子連れ家族で気軽に参加できるような催しがあれば、嬉しい。それをきっかけに横の繋がりができればいいと思う。
- ・ 自治会の再編制を望む。
- ・ 非自治会員でも十分市の援助が受けられるので、敢えて、自治会に入る必要を感じない人が多い。よって、自治会員と非自治会員の差別化(言葉は悪いが)をするべき。例えばゴミ袋(市専用)を自治会員には少し安く販売しその袋以外は収集しない。
- ・ 自治会加入率が年々減少しており、行政は地域、地域と言うが、地域は崩壊状態になっている。自治会入会者に対して思いきった行政からのサービスを望む。
- ・ 高齢者の方が多く、役員をすることがとても負担になり悩みが多い。お金を出して業者に一部頼む話が出ているが、良い所がなく、決まらず何年も来ている。自治連の活動をやめる自治会が増えている。自治会がない所もある。行事の連絡など、他の自治会が配布したりして、困っている。
- ・ 認知症の独居者や、認知症の家族の介護で困っている人などの話を聞き、本人・家族にとってより良い生活が送れる手助けができるような、ネットワークや連絡網があれば協力したいと思う。
- ・ コミュニティ活動や自治会などは、それぞれ拠点が必要である。インターネットなどを活用して、いつでも連絡をとれるようにしてほしい。
- ・ 住んでいる地区に子供と同じくらいの年齢の子がいるかなど、どれくらいの年齢の子がいくらぐらいいるのか全くわからないので、未就学児同士が集まって遊んだり、交流する場がもっと増えとうれしい。
- ・ 地域コミュニティが存在することは認識しているが、どのような活動をしているの

かについては見えてこない。地域コミュニティ単位でのサポートでは現代の暮らしに則していないと感じている。もっと大きな社会単位で個人が不便なく暮らしている仕組み作りを行う必要性を感じる。コミュニティの手段がアナログすぎる。

- ・ 「交通安全運動」で昼間にパトロールをしてくれていたが、在宅しているのは子供・老人で、現役で働いている人は留守中である。あまり効果がないと思う。年末にも寒中冷え込む時間に「火の用心」の夜廻りしてくれていたが、現在の住宅はサッシ建具で密閉されている。たまたま夜ベランダに出て洗濯物を干している時に耳にして、「ご苦労様」と感謝の気持ちになったが、階下にいると全く耳に入らない。すき間のあった日本家屋と事情が違う。
- ・ 私が住んでいる地域は、もともと地域のつながりは強いが、高齢化が進んでいる。防災だけにしぼって考えた方が、つながりが切れないと思う。
- ・ 高齢者になり自治会の役職が順番制で当たるので身体的にもかなり無理な状態で大変なので高齢者になると脱会できるように検討してほしい。
- ・ 昔に比べて子供の数が減ったため「子供会」の活動や夏祭りが減った（元気がなくなった）ように感じている。茨木市フェスティバルなどには人が多く集まる。地域コミュニティで行う行事、祭りなど多くしたらどうか？（やりたがる人は今でもいると思うのですが…）
- ・ 順番当番制でも役員に成った人は連絡に大変な時間を要しそれが一番大変な仕事と思う。
- ・ 自治会で役員を自動的にしなければならない。会費とか紙くばりはできるが、運動会とか真夏並みの暑い日に鉄棒を出したりするのは年齢的にきつい。60才以上だが、テント立てを手伝わされて泣きそうだった。今までそんなことしたことないし、つらい。皆からお金を集めて、テント屋さんにしてもらってほしい。また、当番がくると思うと、どうしようと悩む。60才以上はテント立てとか運動会の準備を免除して欲しい。なんとかたすけて下さい。宜しくお願いします。若い人にお願いしたいです。本当にたすけて下さい。この問題ウソではありません。地区の運動会必要ですか？
- ・ 自治会が面倒なものと地域の皆は思っている。メリットを感じないとの事、面倒な役員だけが回ってきて高齢になってきているのに順番に役が回ってくるのはこまる、との事。脱退する時は、組ごとだったり、近所皆で脱退する事が多い。疑問に思う

のは、災害などの際自治会に入っていないのに世帯数に含まれてるのか？市は自治会に入っていない世帯数を把握しているのか？自治会費を支払っているのに何の恩恵もないという声をよく聞くが、街灯などはその恩恵だと思っている。年齢で 70 才以上は役をしなくても良いなどルールを作れば自治会にとどまる家庭もあると思う。

- ・ 私が居住している地域は、村組織が強く、自治会長も地元の人が順番にしている。しかし、近年会長を引き受けてくれる人がなかなか見つからず、地元以外の人で探しているが、新しく参加されるのはきびしい現状である。自治会への加入率を上げる為の活動であったり、何か新しい活動はむずかしいと思っている。現在、自治会役員をしているが、「自治会に加入したらどのようなメリットがありますか？」と聞かれた時、何も答えられなかった。最近ではコロナ禍で活動もなく、自治会費、寄付金、募金など集金ばかりで心苦しい限りである。
- ・ このアンケートをするということは茨木市では自治会の加入率や活動を促す方針であることがわかるが、それは市民が望んでいることなのか。自治会活動に気はつかわなくとも時間は使う。自分の時間にムリのない参加をしたい（清掃等、退職した人たちの時間に合わせてたり）。義務感で参加すること多い。
- ・ 自治会が大きすぎて、会員どおしのつながり感が感じられない。小さければ役員が多くまわってきて、負担に感じる。難しいと思う。ネット等で情報が取れるので、自治会の回覧等も不用に感じている。今は仕事中心で、時間に余裕がない。一人暮らしとかになると、もっと必要と感じると思う。
- ・ 地区の運動会は準備が大変だし、私自身参加したくないので、廃止にしてほしい。
- ・ 自然と自治会があれば、入会してきてる。段々と年を重ねると、考える事も若い頃と違って、変わってくる。今私の住んでいる所は、老人が多く空き家もちらほらである。朝晩外に出た時はしゃべり通しでそのつながりで近所の事いろいろな情報が入ってくる。ただ、心配なのが、自分も老いて行くと、外に出なくなる事が多くなると思う。必要になるのが、声を掛け合う事になる。となれば、自治会のやり方、方針を一人住まいの方対象にしては。
- ・ 現役世代はせつかくの休日を拘束される事に疑問を感じている。
- ・ コロナ禍になる以前から、自治会の役員を決める際には、いつも雰囲気が悪くなっていたし、皆で、清掃すること、集まることもなくなり、行事もなくなり、さらに

関係は薄くなってきていると思う。「役員をしていただいている」という感謝と引け
めで、要望や意見も発しづらい。

- 基本、情報が少ないと思う。

第4章 仮説の検証

第1節 規定因と質問項目の関係

第2章で、「地域活動と規定因との要因連関モデル」にもとづき、各規定因を測定すべく質問を設定したが、モデルの検証を行うにあたり、規定因と質問の結びつきが想定通りになっているか確認するため、因子分析を行った。因子分析とは、端的に言えば、同じ因子（要因）から影響を受けている質問同士をまとめる手法である。

まず、「地域を良くとの目標意図」を規定する「地域についての認知」、具体的には、「地域リスク認知」、「責任帰属認知」、「対処有効性認知」を測定する質問として設定した12項目について因子分析を行ったところ、3つの因子が抽出された（表4-1-1）。因子負荷量とは、一言で言えば、各因子が質問項目に及ぼす影響の強さである。問8・5・11・33は、因子2や因子3の因子負荷量より因子1の因子負荷量が大きくなっている。それゆえ、この4つの質問項目はまとめることができ、因子1は想定していた「責任帰属認知」と解釈することができる。同様に、因子2は「対処有効性認知」、因子3は「地域リスク認知」と解釈できる。したがって、「地域についての認知」を測定するために設定した質問は、想定通りに規定因と結びついていたと言えよう。

次に、自治会加入の「行動意図」と「行動」を規定する「地域活動の評価」、具体的には、「実行可能性評価」、「便益・費用評価」、「社会規範評価」を測定する質問として設定した15項目について因子分析を行ったところ、3つの因子が抽出された（表4-1-2）。なお、問29は、問28で「知らない」を選択した人は回答していないため、因子分析の手法上、対象から外した。因子1の影響が強いのは、「便益・費用評価」を測定するために設定した質問のうち、便益評価に関するものであり、因子2の影響が強いのは、費用評価に関するものである。この事は、回答者の意識の中で、便益評価と費用評価が表裏一体のものではなく、別物であることを示唆する。因子1は「便益評価」、因子2は「費用評価」と解釈する。因子3の影響が強いのは、「実行可能性評価」と「社会規範評価」を測定するために設定した質問である。すなわち、回答者の意識の中で、これらの評価は明確に区別されていないことになるが、この事は、「実行可能性評価と社会規範評価は行動に直接影響を及ぼすことがある」という本研究の仮説を支持しうるだろう。因子3は、「実行可能性・社会規範評価」と解釈する。したがって、自治会加入の「地

域活動の評価」を測定するために設定した質問は、想定通りに規定因と結びついていたと言えるが、規定因の区分は仮説と異なるかもしれない。

最後に、自治会活動参加の「行動意図」と「行動」を規定する、「実行可能性評価」、「便益・費用評価」、「社会規範評価」を測定する質問として設定した 18 項目について因子分析を行ったところ、5 個の因子が抽出された（表 4-1-3）。因子 1 の影響が強いのは、「便益・費用評価」を測定するために設定した質問のうち、便益評価、特に、他者とのかかわりによる便益評価に関するものである。それゆえ、因子 1 は「便益評価（他者とのかかわり）」と解釈する。因子 2 は「費用評価」と解釈できる。因子 3 の影響が強いのは、便益評価の中でも内発的動機づけに関するものなので、「便益評価（内発的動機づけ）」と解釈する。因子 4 は、「実行可能性・社会規範評価」と解釈できる。因子 5 の影響が強いのは、「実行可能性評価」を測定するために設定した質問だが、同じく「実行可能性評価」を測定するために設定した問 27・43 とは、区別された。その理由としては、①問 27・43 が、回答者自身のことを尋ねていると伝わりやすい表現だったのに対し、問 57・58・59 は、回答者自身のことを尋ねているのか、社会通念上の事を尋ねているのか分かりにくい曖昧な表現だった、②問 27・43 が、情報提供や機会提供など参加促進に関する前向きな質問と受け取られたのに対し、問 57・58・59 は、職場の雰囲気や家庭の事情など参加阻害に関する後ろ向きの質問だと受け取られた、といったことが考えられる。そこで、便益評価と費用評価が区別されたことも踏まえ、問 57・58・59 を「実行困難性評価」と解釈する。したがって、自治会活動参加の「地域活動の評価」を測定するために設定した質問は、想定通りに規定因と結びついていたと言えるが、規定因の区分は仮説と異なるかもしれない。なお、自治会加入においては、ひとまとまりだった便益評価が、自治会活動参加になると分割されたのは、現実味が増し、より具体的に便益を評価するからかもしれない。

表 4-1-1 「地域についての認知」に関する質問の因子負荷量

質問	因子 1	因子 2	因子 3
地域コミュニティ活動が活発になるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 8）	0.904	-0.019	-0.083
住民同士のつながりが強くなるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 5）	0.877	-0.038	-0.101
地域コミュニティ活動の担い手が増えるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 11）	0.876	-0.017	0.033
自治会の加入率が高くなるよう住民は努めなければならないと思いますか（問 33）	0.777	-0.047	-0.087
地域コミュニティ活動を活発にする何かしらの方法があると思いますか（問 7）	-0.168	0.960	-0.075
住民同士のつながりを強くする何かしらの方法があると思いますか（問 4）	0.034	0.754	-0.117
地域コミュニティ活動の担い手を増やす何かしらの方法があると思いますか（問 10）	0.075	0.684	0.087
自治会の加入率を高める何かしらの方法があると思いますか（問 32）	0.208	0.451	-0.072
住民同士のつながりについて、どのような印象をお持ちですか（問 3）	-0.048	-0.011	0.632
自治会や地域団体などのコミュニティ活動が活発だと思いますか（問 6）	0.109	0.118	-0.580
自治会の加入率について、どのような印象をお持ちですか（問 31）	0.016	-0.009	0.489
地域コミュニティ活動の担い手が不足していると思いますか（問 9）	0.206	0.114	0.221

表 4-1-2 「地域活動の評価」（自治会加入）に関する質問の因子負荷量

質問	因子 1	因子 2	因子 3
自治会の活動に参加することで知り合いができれば、うれしいですか（問 51）	0.966	0.142	-0.001
自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができれば、うれしいですか（問 52）	0.944	0.236	-0.012
自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしいですか（問 50）	0.888	0.091	-0.022
自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られると思いますか（問 48）	0.529	-0.060	0.133
自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせると思いますか（問 49）	0.436	-0.226	0.054
自治会の活動は楽しいと思いますか（問 47）	0.431	-0.316	0.078
自治会の活動に参加するのは気をつかうと思いますか（問 54）	0.172	0.880	-0.044
自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思いますか（問 53）	0.031	0.691	0.069
自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのは勇気がいると思いますか（問 60）	0.187	0.587	-0.146
自治会の活動に参加するのは時間がもったいないと思いますか（問 55）	-0.237	0.555	-0.069
自治会費を払うのはもったいないと思いますか（問 56）	-0.123	0.321	-0.259
自治会に加入する方法を知っていますか（問 28）	-0.077	-0.156	0.869
自治会の活動内容を知っていますか（問 27）	0.035	-0.103	0.830
自治会に加入することを期待されていると思いますか（問 30）	0.284	0.054	0.510
自治会へ加入するよう周囲から促されたことがありますか（問 34）	0.048	-0.078	-0.094

表 4-1-3 「地域活動の評価」（自治会活動参加）に関する質問の因子負荷量

質問	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4	因子 5
自治会の活動に参加することで知り合いができれば、うれしいですか（問 51）	0.920	0.056	0.018	0.093	-0.092
自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができれば、うれしいですか（問 52）	0.864	0.136	-0.069	0.030	0.042
自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしいですか（問 50）	0.716	0.059	0.215	0.087	-0.127
自治会の活動に参加するのは気をつかうと思いますか（問 54）	0.167	0.891	-0.118	-0.041	0.093
自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思いますか（問 53）	-0.004	0.650	-0.092	0.160	0.003
自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのは勇気がいると思いますか（問 60）	0.147	0.511	0.049	-0.214	-0.049
自治会の活動に参加するのは時間がもったいないと思いますか（問 55）	-0.212	0.479	-0.051	-0.065	-0.052
自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせると思いますか（問 49）	-0.006	-0.089	0.853	-0.142	0.032
自治会の活動は楽しいと思いますか（問 47）	0.077	-0.234	0.630	0.032	-0.104
自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られると思いますか（問 48）	0.149	0.009	0.427	0.146	0.078
自治会の活動に参加することを期待されていると思いますか（問 39）	0.225	0.055	-0.033	0.655	-0.024
自治会の活動は参加しやすい日時に設定されていると思いますか（問 43）	0.203	-0.110	-0.042	0.507	0.029
自治会の活動内容を知っていますか（問 27）	-0.031	-0.230	0.042	0.493	-0.012
自治会の活動に参加している世帯の方が多いと思いますか（問 40）	0.062	-0.048	-0.110	0.460	0.040
自治会の活動に参加するよう周囲から促されたことがありますか（問 41）	0.081	-0.089	-0.046	-0.146	0.020
自治会の活動に参加するために家庭の仕事を家族に任せられると思いますか（問 58）	-0.053	-0.016	-0.014	-0.112	0.853
自治会の活動に参加するために仕事を休んだり早退したりできると思いますか（問 57）	-0.072	0.020	-0.002	0.135	0.497
小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できると思いますか（問 59）	0.114	0.058	0.218	-0.008	0.251

第2節 「地域を良くとの目標意図」の規定因

「地域についての認知」と「地域を良くとの目標意図」との関係を検証するため、クロス集計を行った。

まず、「地域リスク認知」に関する質問と「地域を良くとの目標意図」に関する質問との間に、一様な関係は見られなかった。具体的には、住民同士のつながり、自治会や地域団体などのコミュニティ活動、自治会加入率については、リスクが低い、すなわち、良好だと思っている人ほど、住んでいる地域に関心のある人が多く、仮説とは異なっていた（図4-2-1～図4-2-3）。また、リスク認知の程度にかかわらず、ほとんどの人が住みよい地域にしたいと思っていた（図4-2-4～図4-2-6）。一方、コミュニティ活動の担い手については、リスクが高い、すなわち、不足していると思っている人ほど、住んでいる地域に関心のある人、および、住みよい地域にしたいと思っている人が多く、仮説と一致していた（図4-2-7～図4-2-8）。このような結果になった理由としては、①住んでいる地域を悪くしたいと思う人は少ないので、リスク認知にかかわらず、ほとんどの人が住みよい地域にしたいと思っている、②地域に関心があるかないかによって、地域への関与や情報への接触が異なるため、リスク認知が異なる（関心がある人は地域の輪の中に入るため、住民同士のつながり、コミュニティ活動、自治会加入率が良好だと思っており、担い手不足の深刻さをよく知っているが、関心がない人は地域の輪の中に入らないため、住民同士のつながり、コミュニティ活動、自治会加入率が良好ではないと思っており、担い手不足の深刻さをあまり知らない）、といったことが考えられる。

次に、「責任帰属認知」に関する質問と「目標意図」に関する質問との間には、仮説通り、責任帰属認知が高いほど目標意図が強い、すなわち、住民同士のつながりが強くなるよう住民は努めなければならないと思っている人ほど、地域に関心のある人が多く、住みよい地域にしたいと思っている人が多い、といった関係が見られた（図4-2-9～図4-2-16）。

最後に、「対処有効性認知」に関する質問と「目標意図」に関する質問の間にも、仮説通り、対処有効性認知が高いほど目標意図が強い、すなわち、住民同士のつながりを強くする何かしらの方法があると思っている人ほど、地域に関心のある人が多い、住みよい地域にしたいと思っている人が多い、といった関係が見られた（図4-2-17～図4-2-24）。

以上の結果から、「責任帰属認知」と「対処有効性認知」が「地域を良くとの目標意図」を規定すると言える。ただし、「地域リスク認知」については、目標意図を規定するとは言い切れず、反対に目標意図が「地域リスク認知」を規定する場合や、目標意図の内容によっては「地域リスク認知」が関係ない場合もある。

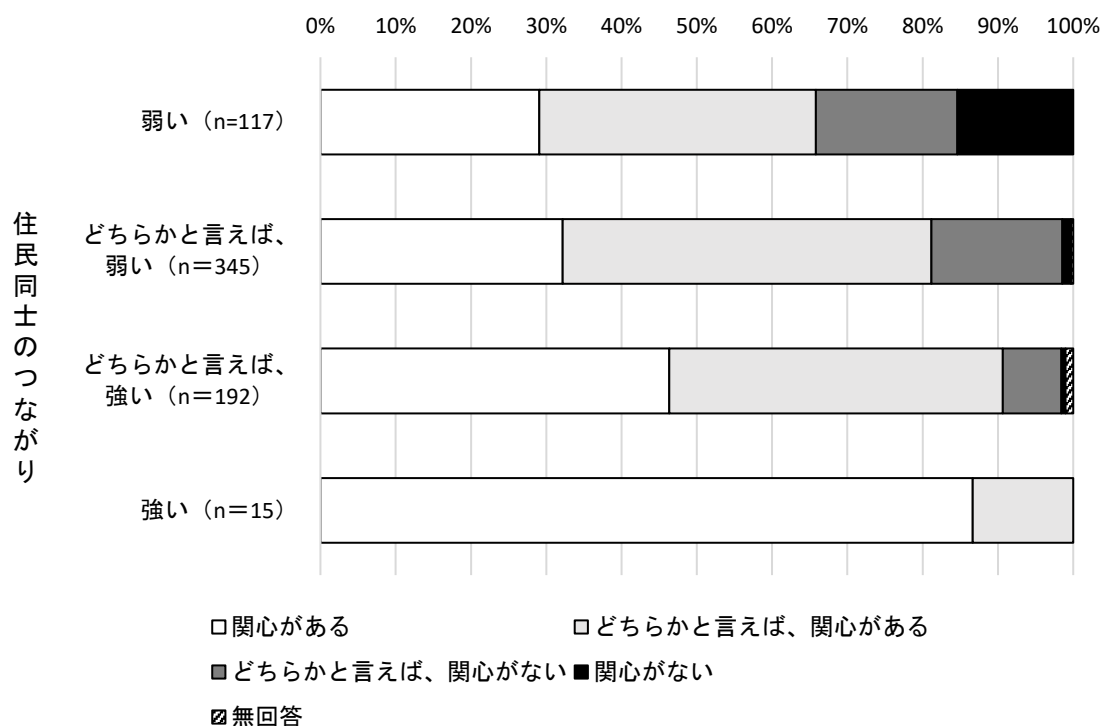


図 4-2-1 「住民同士のつながりに対する印象」と「地域への関心」の関係

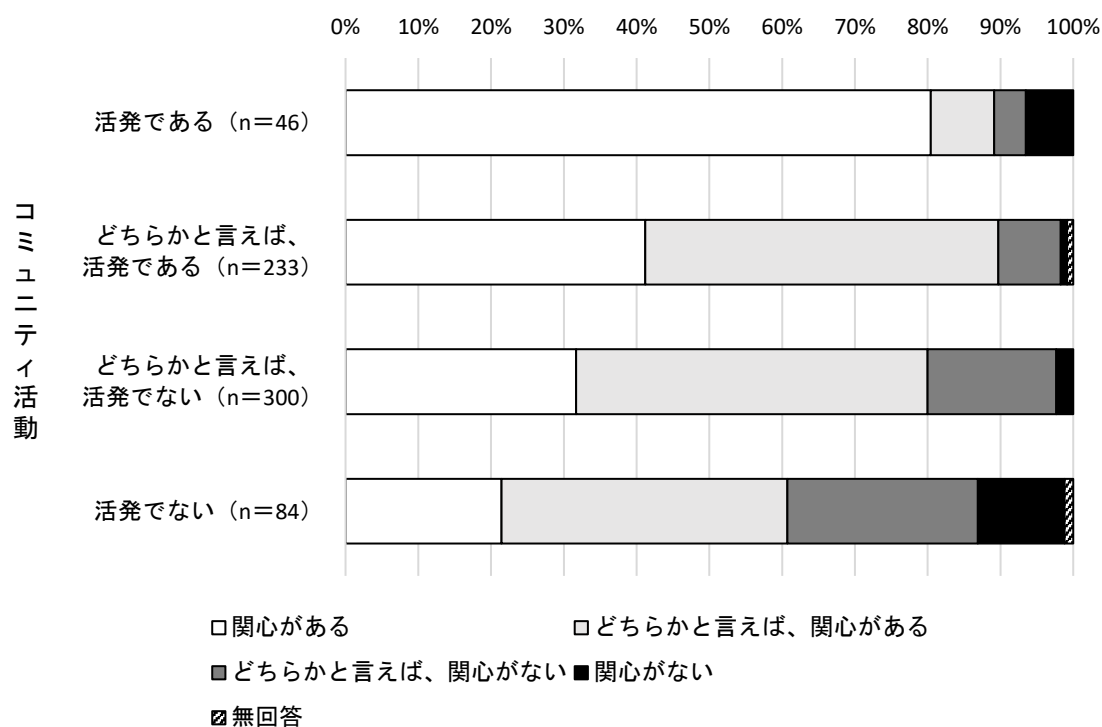


図 4-2-2 「コミュニティ活動に対する印象」と「地域への関心」の関係

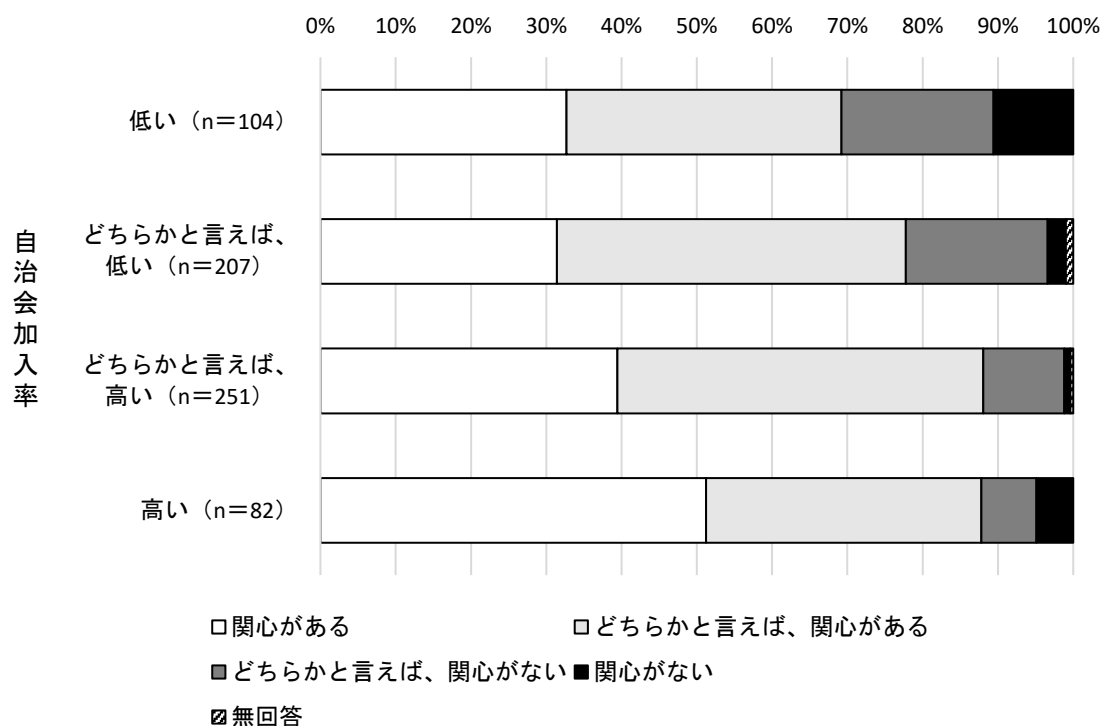


図 4-2-3 「自治会加入率に対する印象」と「地域への関心」の関係

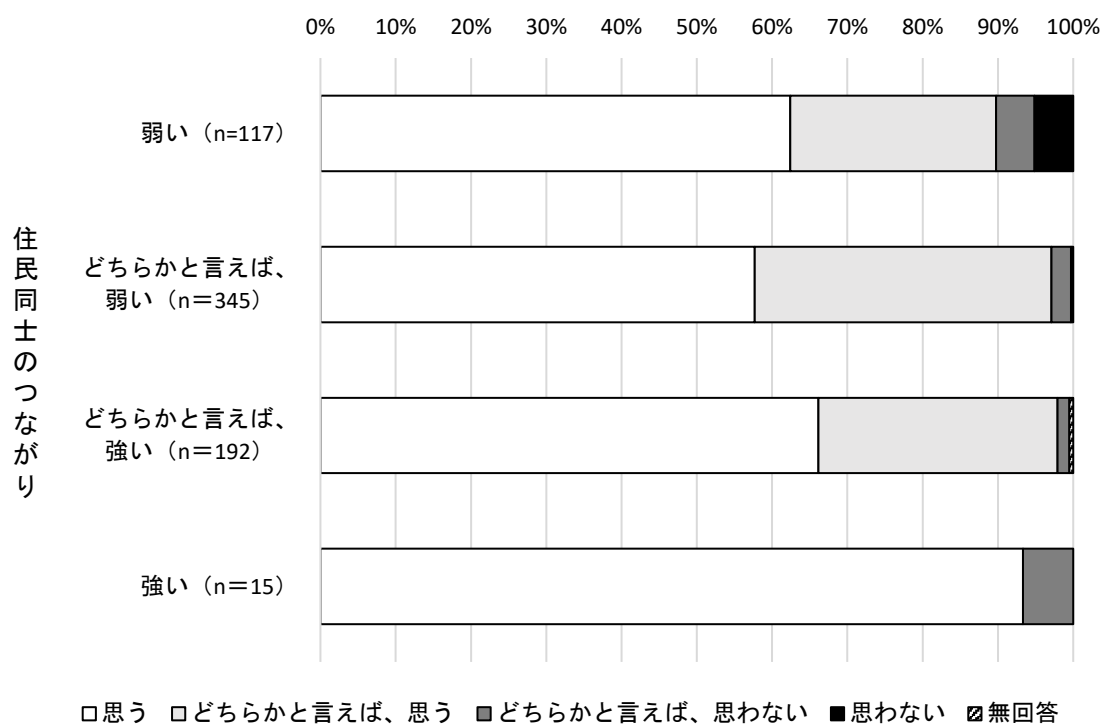


図 4-2-4 「住民同士のつながりに対する印象」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

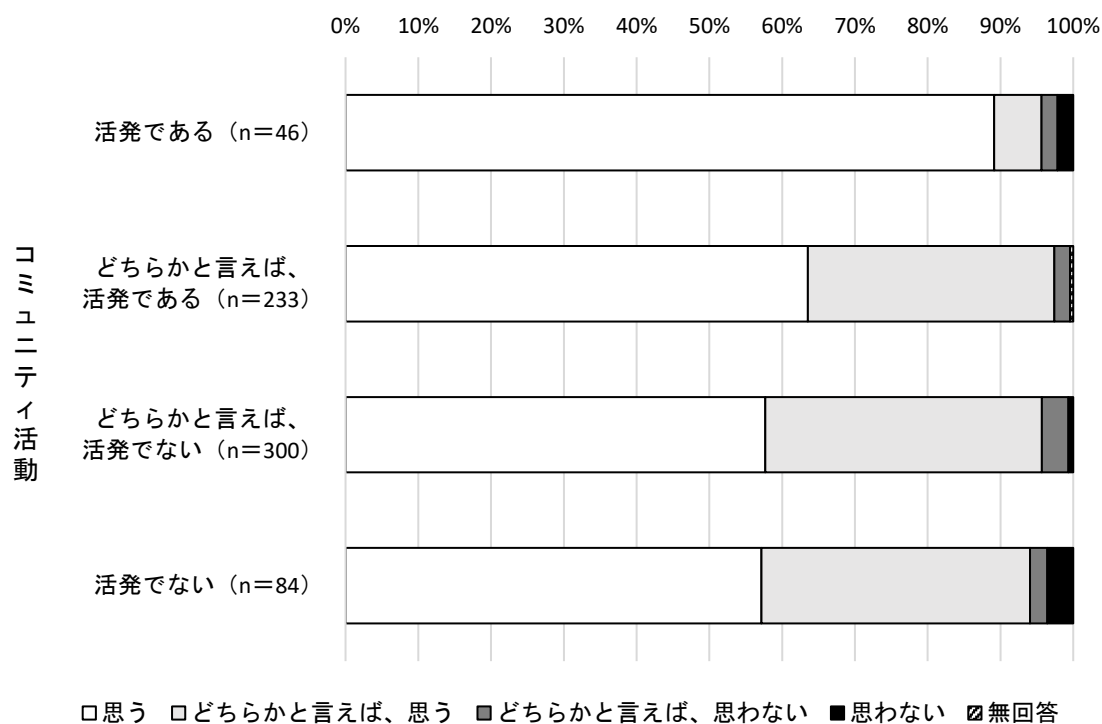


図 4-2-5 「コミュニティ活動に対する印象」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

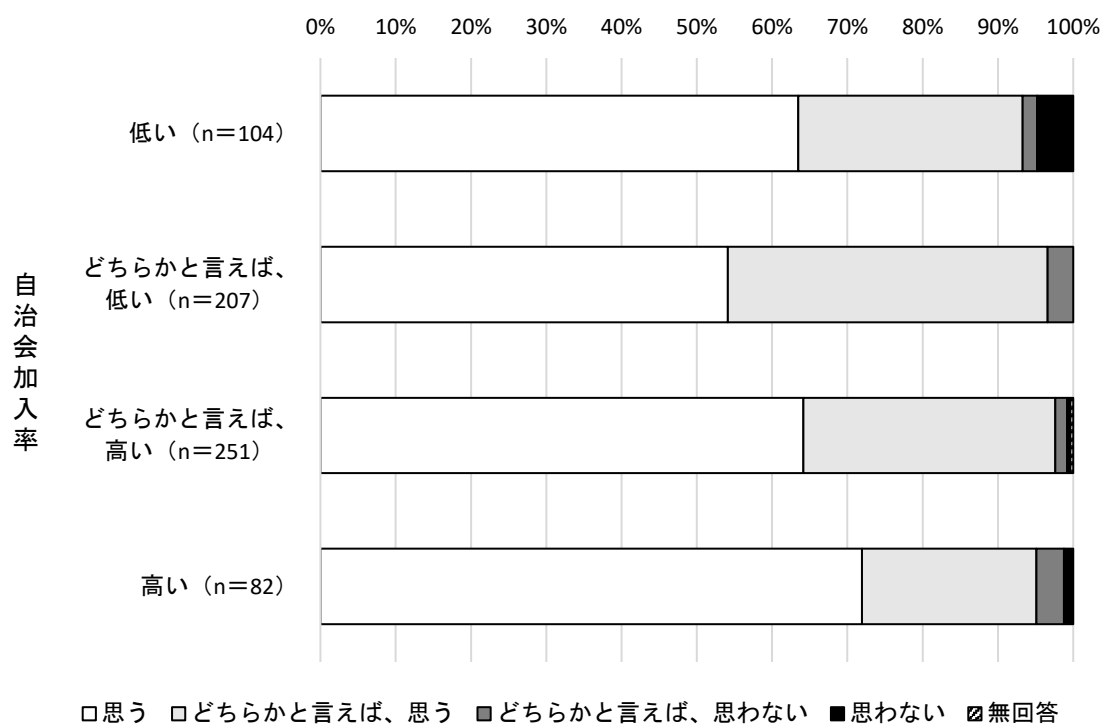


図 4-2-6 「自治会加入率に対する印象」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

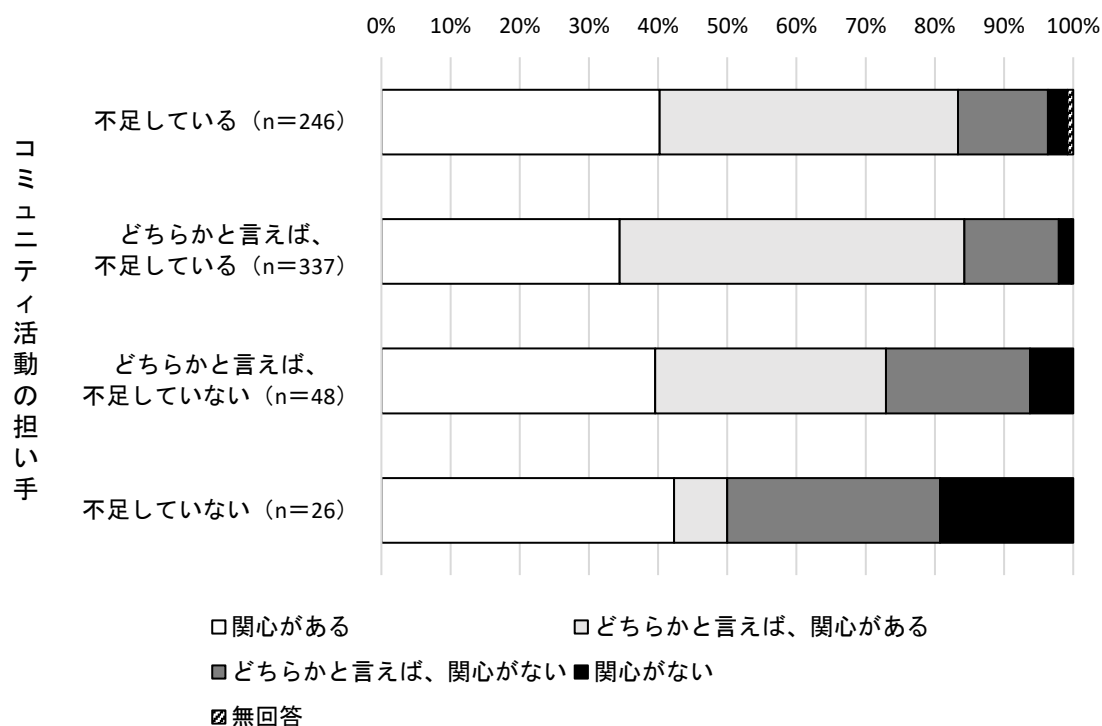


図 4-2-7 「担い手に対する印象」と「地域への関心」の関係

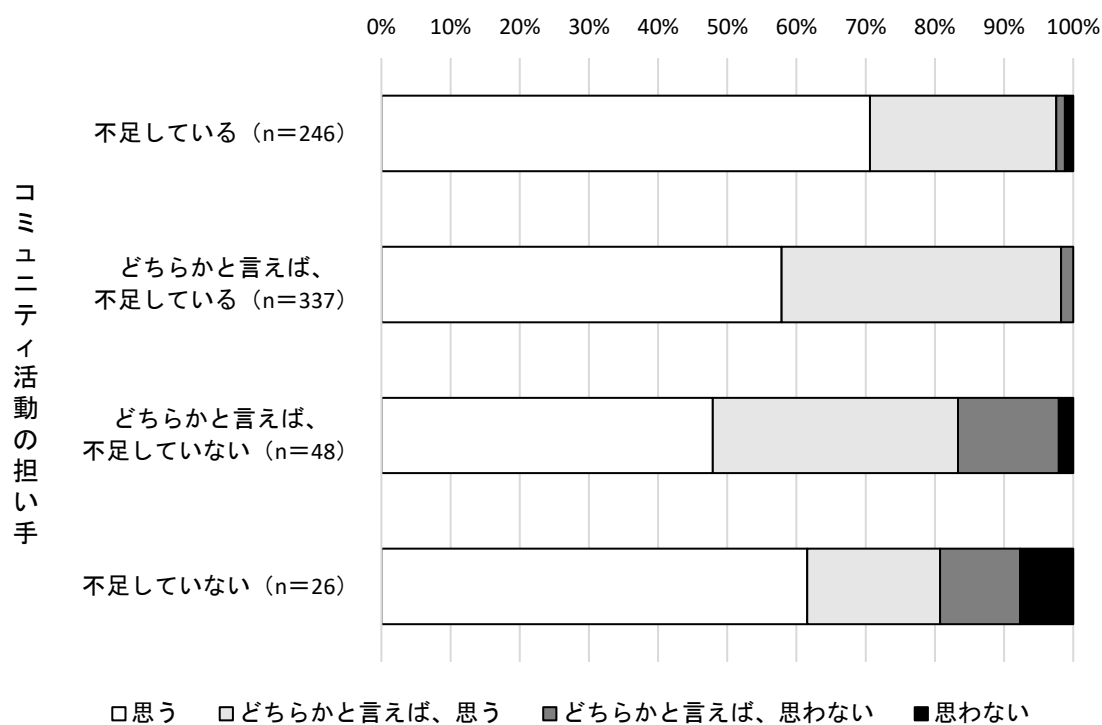


図 4-2-8 「担い手に対する印象」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

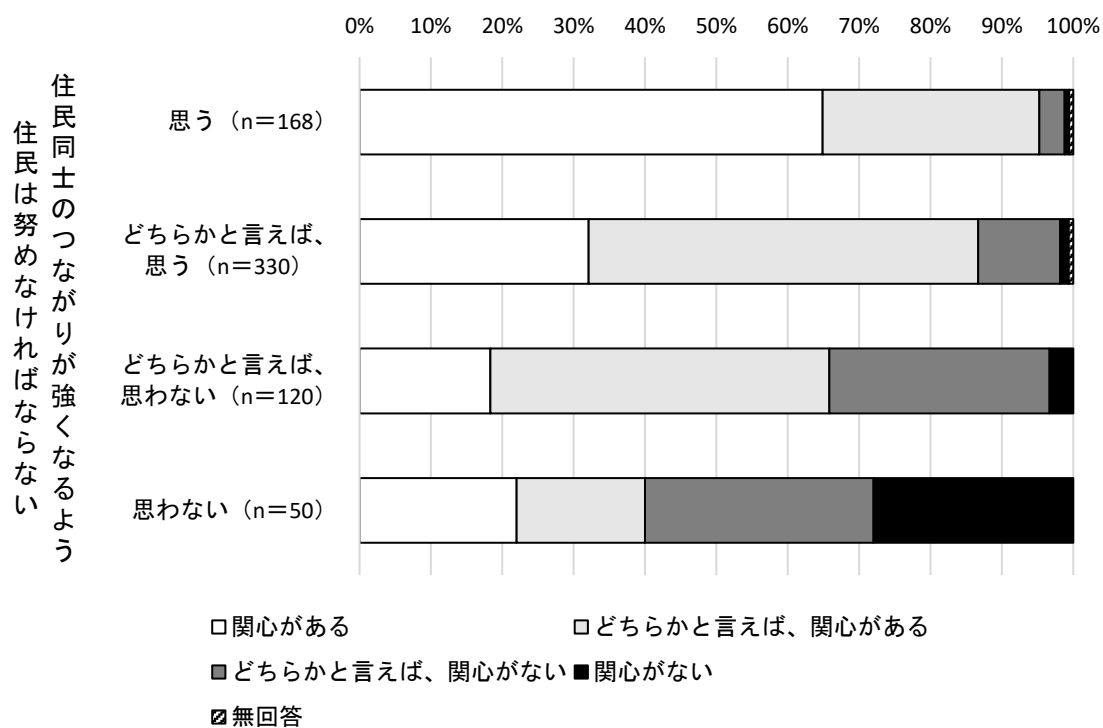


図 4-2-9 「住民同士のつながりに対する責任感」と「地域への関心」の関係

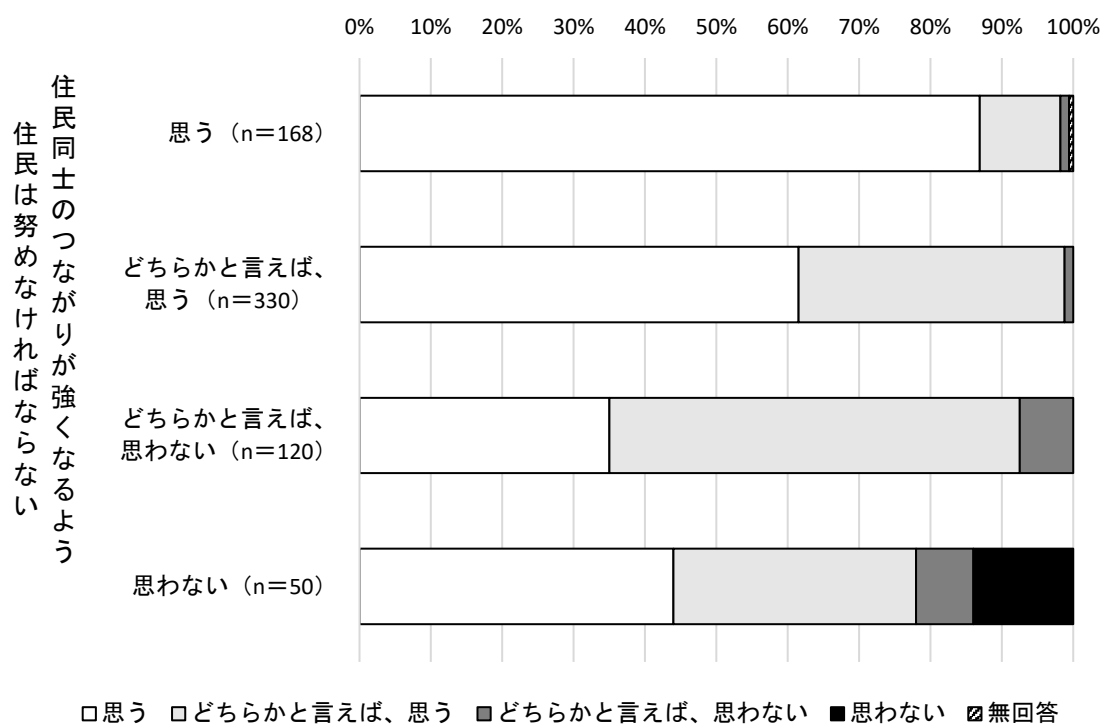


図 4-2-10 「住民同士のつながりに対する責任感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

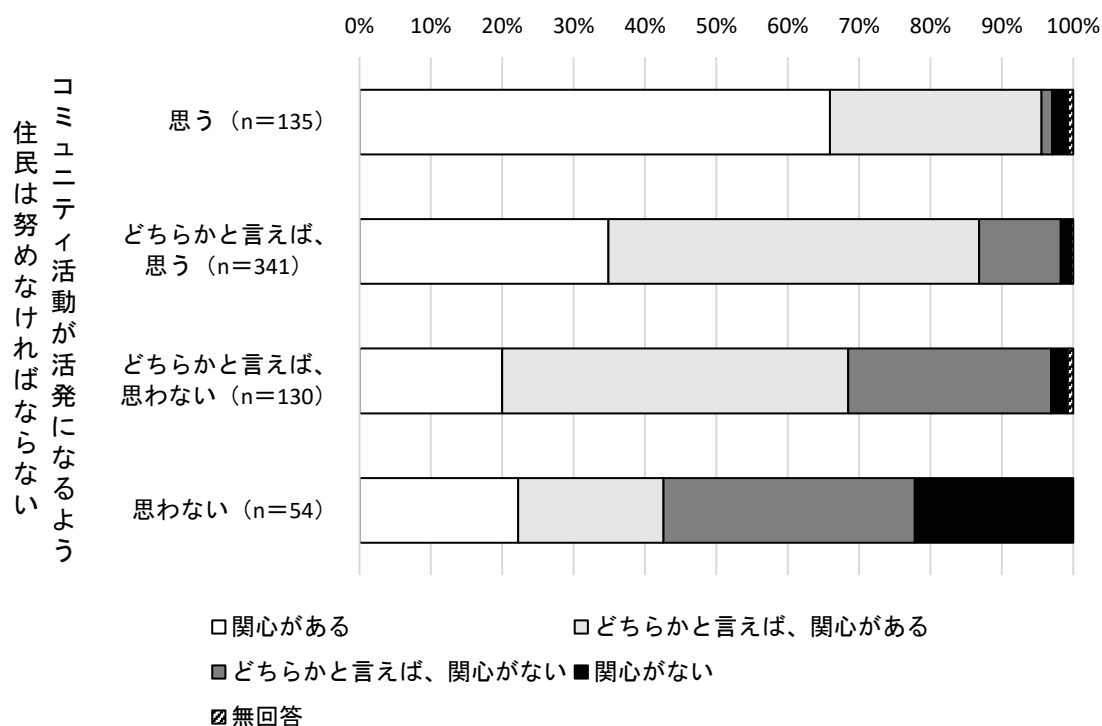


図 4-2-11 「コミュニティ活動の活発さに対する責任感」と「地域への関心」の関係

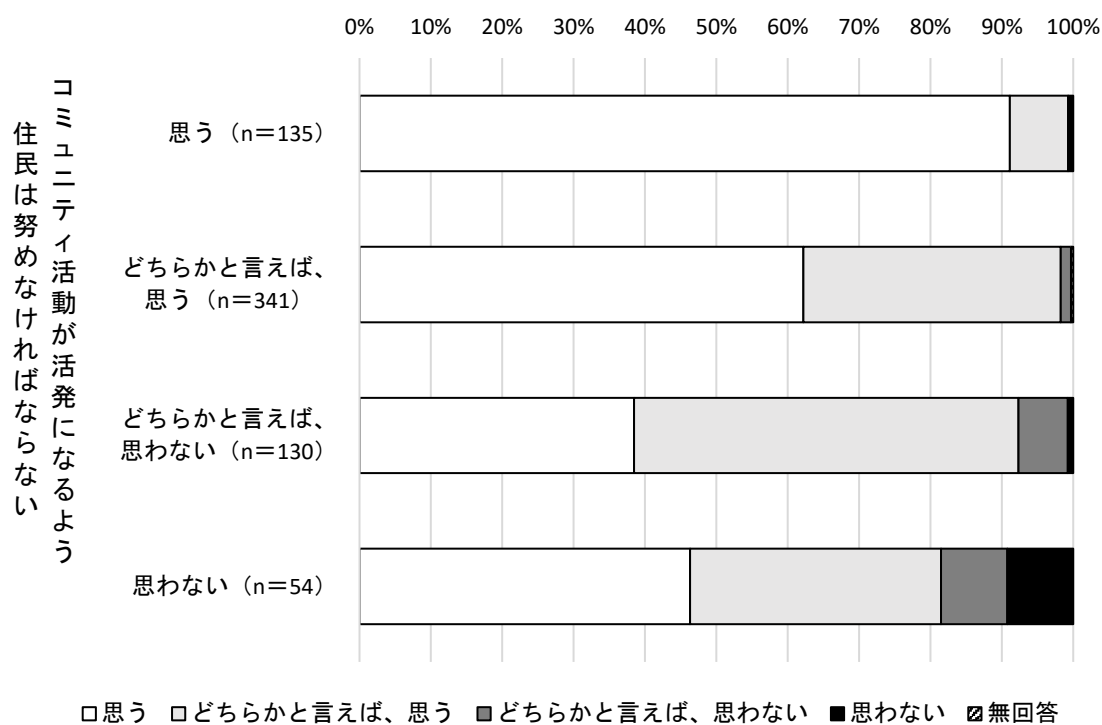


図 4-2-12 「コミュニティ活動の活発さに対する責任感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

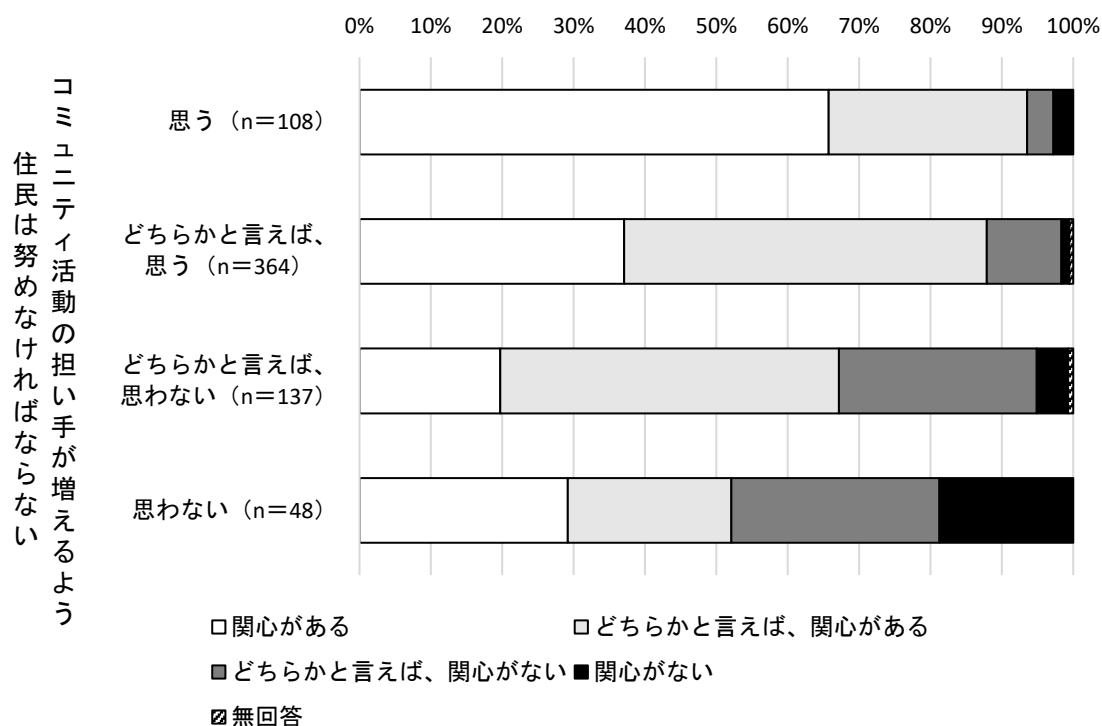


図 4-2-13 「コミュニティ活動の担い手不足に対する責任感」と「地域への関心」の関係

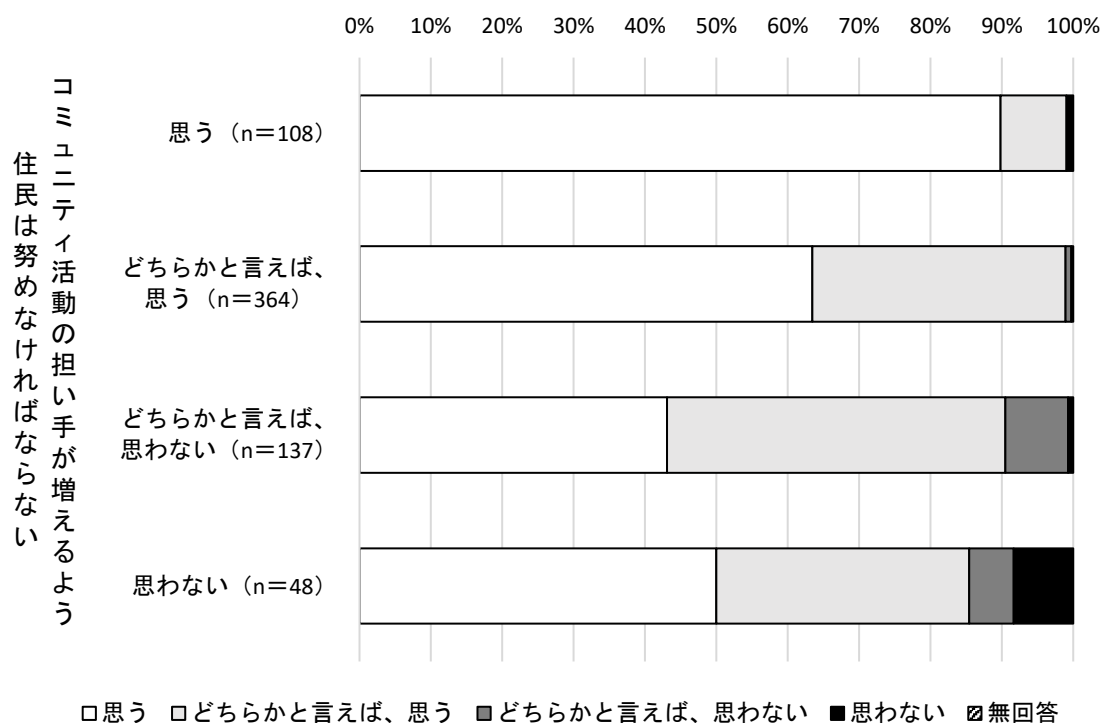


図 4-2-14 「コミュニティ活動の担い手不足に対する責任感」と
「住みよい地域にしたいと思う」の関係

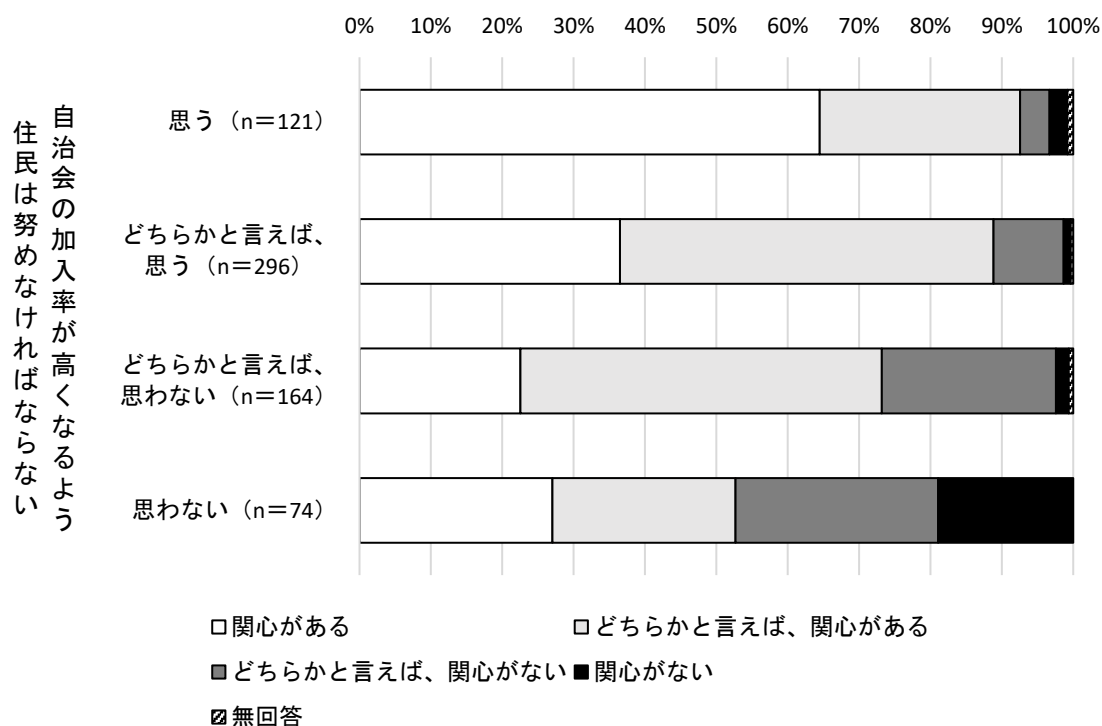


図 4-2-15 「自治会加入率に対する責任感」と「地域への関心」の関係

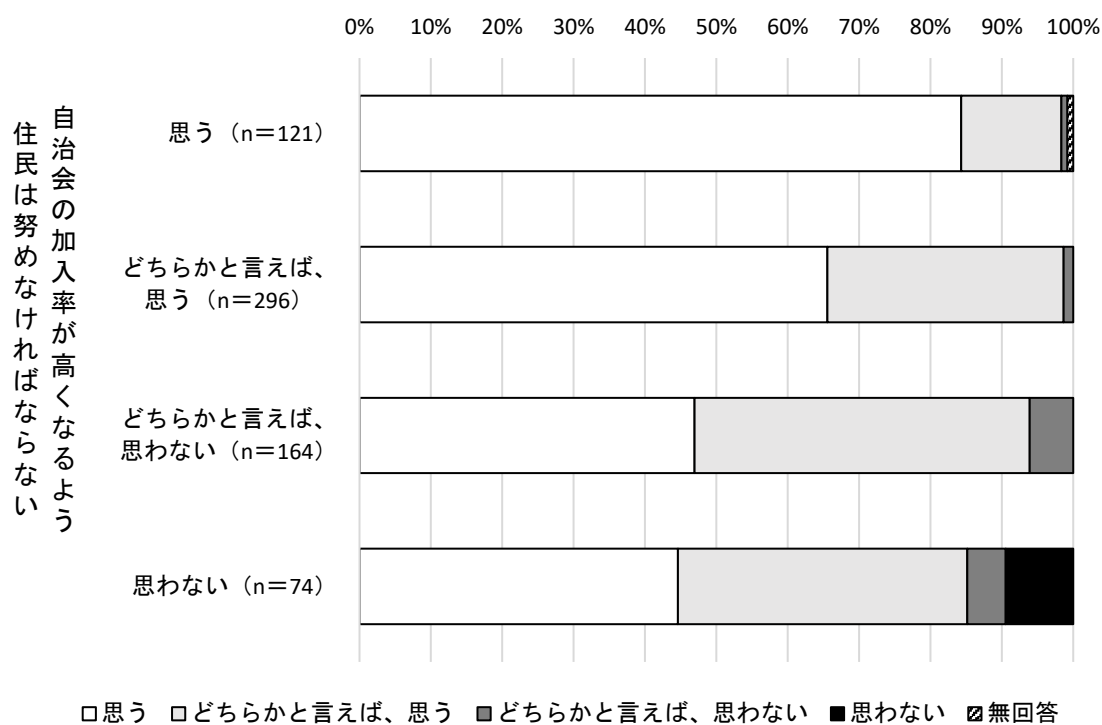


図 4-2-16 「自治会加入率に対する責任感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

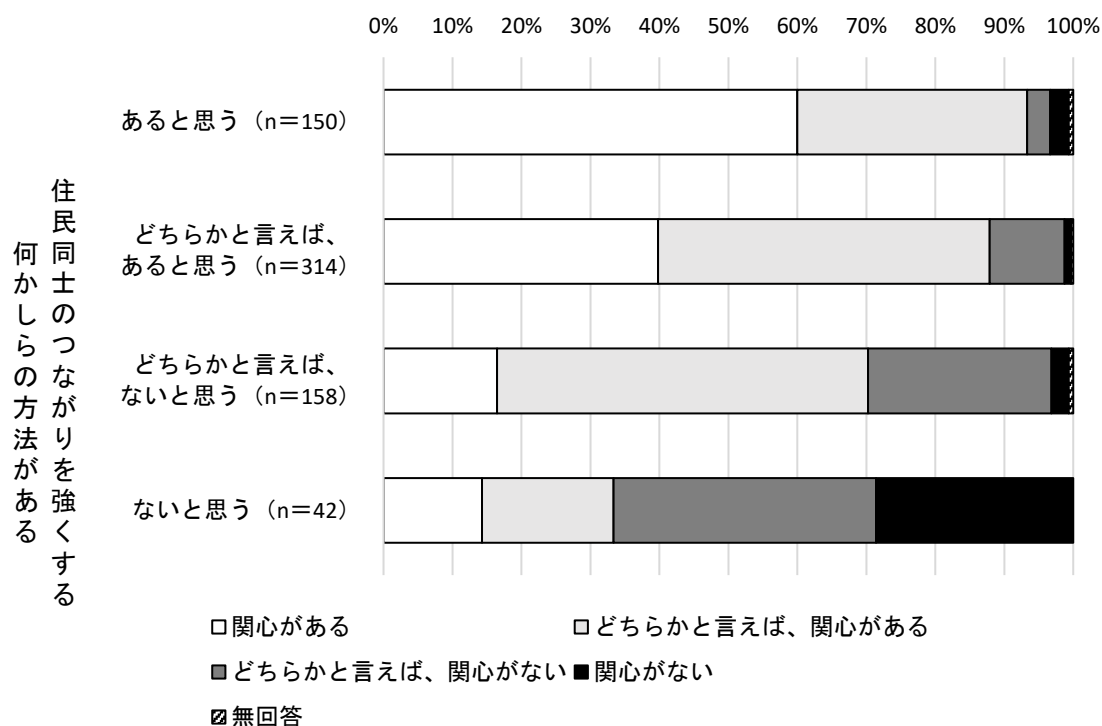


図 4-2-17 「住民同士のつながりに対する有効感」と「地域への関心」の関係

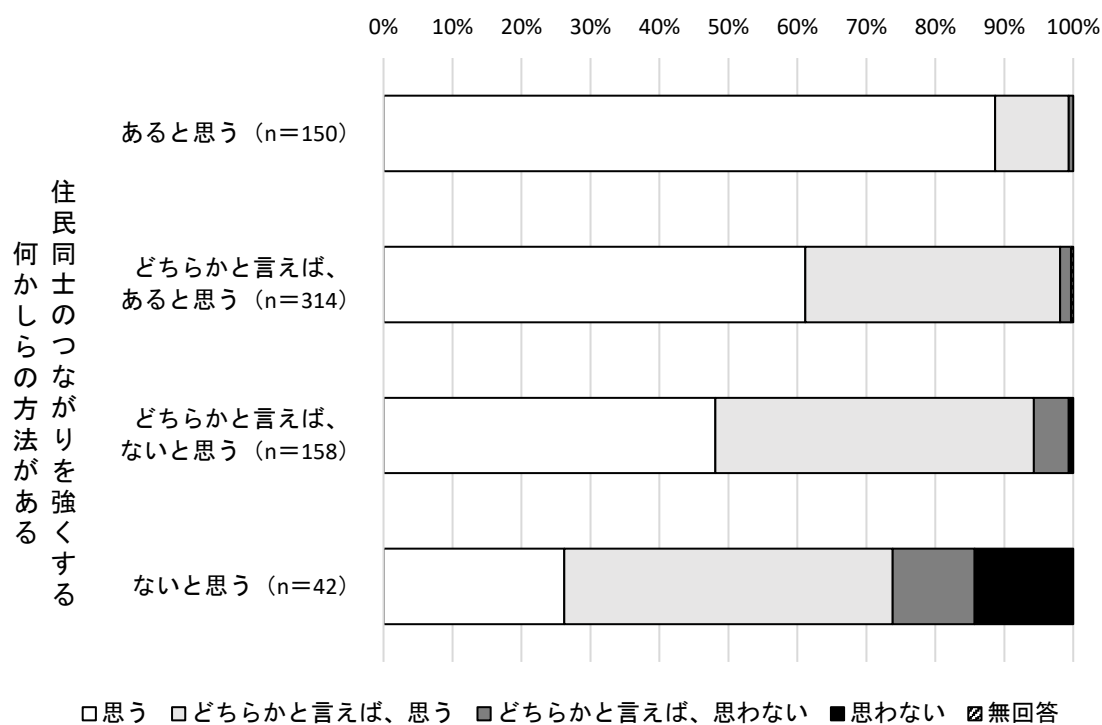


図 4-2-18 「住民同士のつながりに対する有効感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

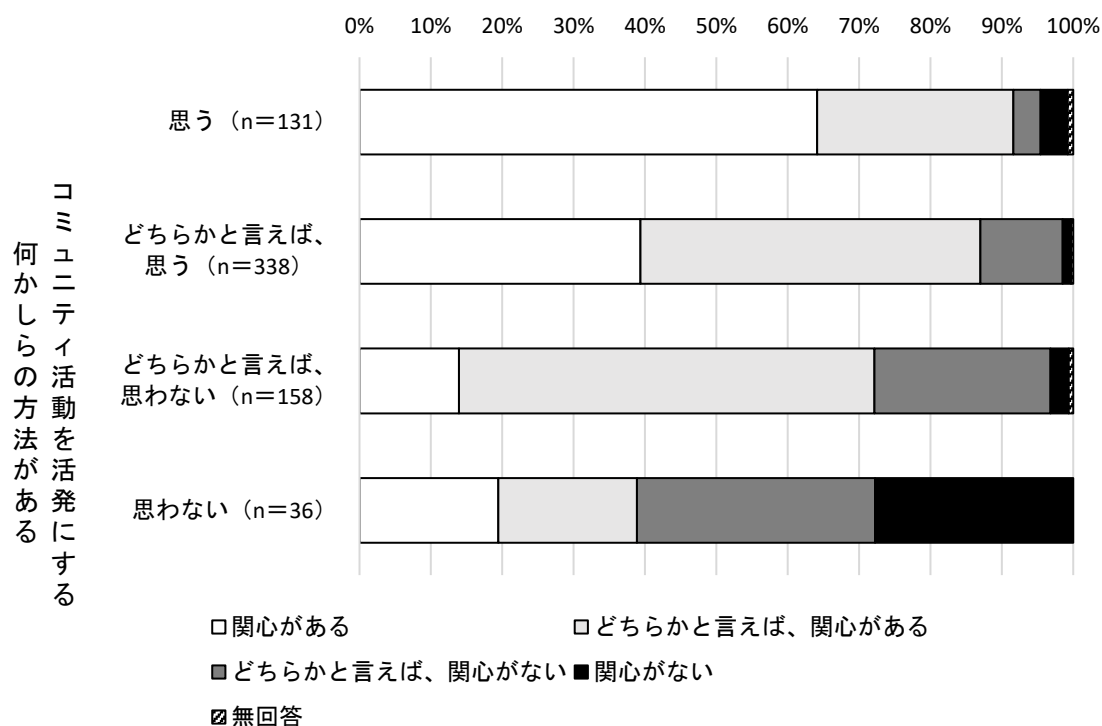


図 4-2-19 「コミュニティ活動に対する有効感」と「地域への関心」の関係

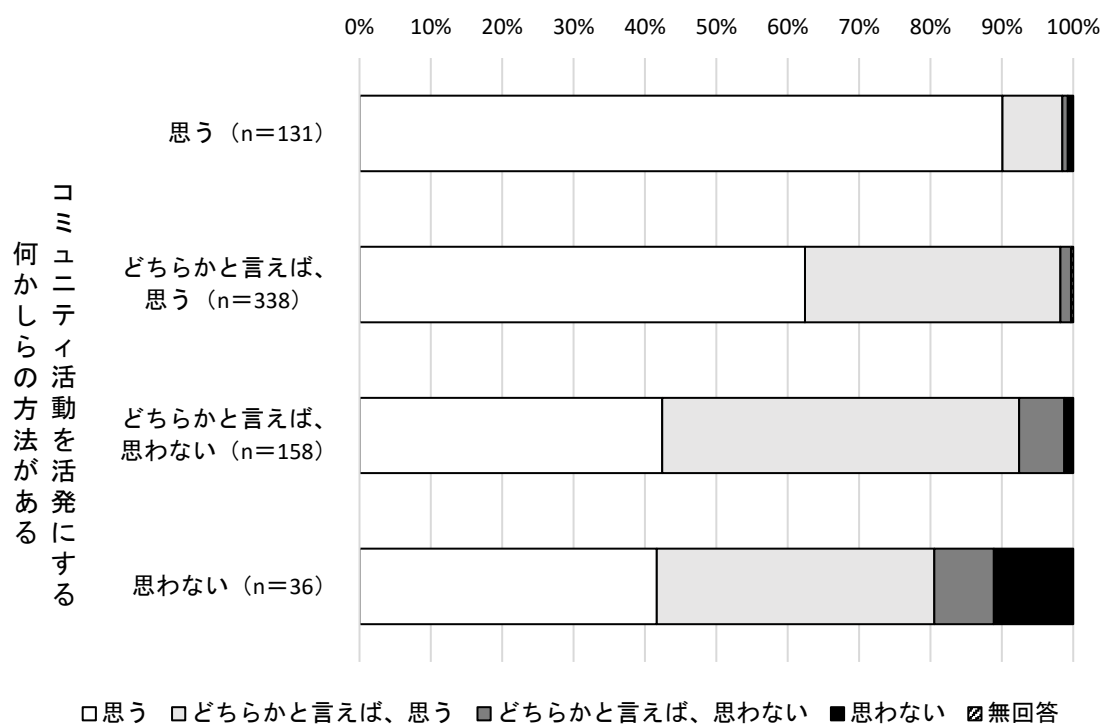


図 4-2-20 「コミュニティ活動に対する有効感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

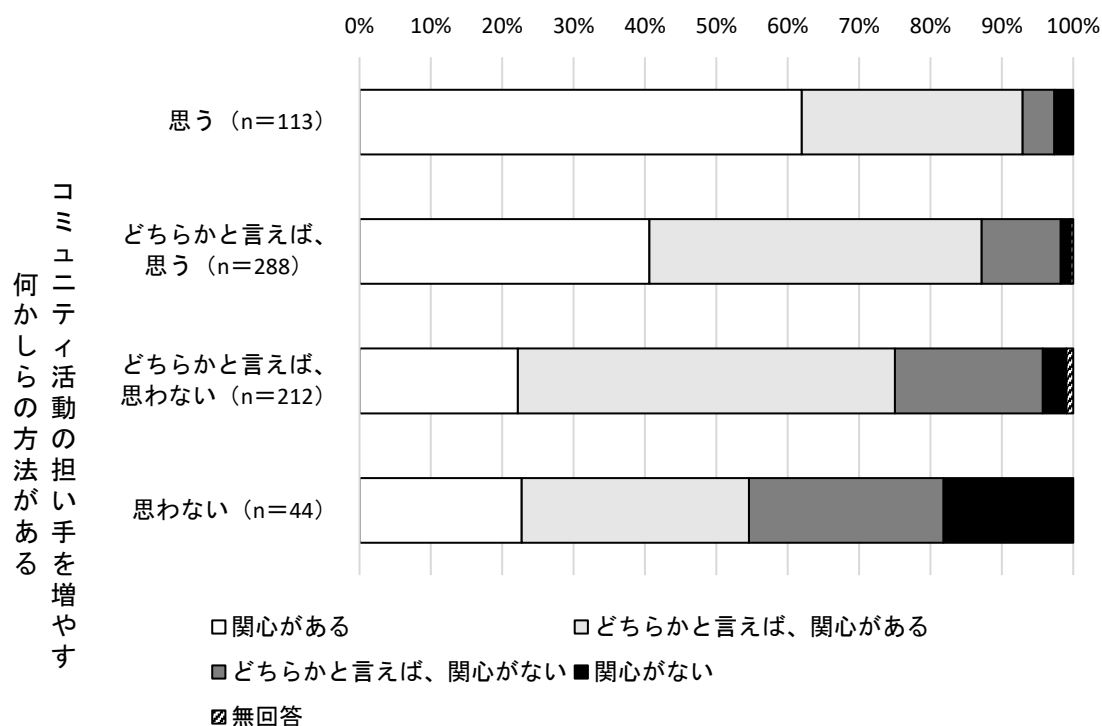


図 4-2-21 「担い手不足に対する有効感」と「地域への関心」の関係

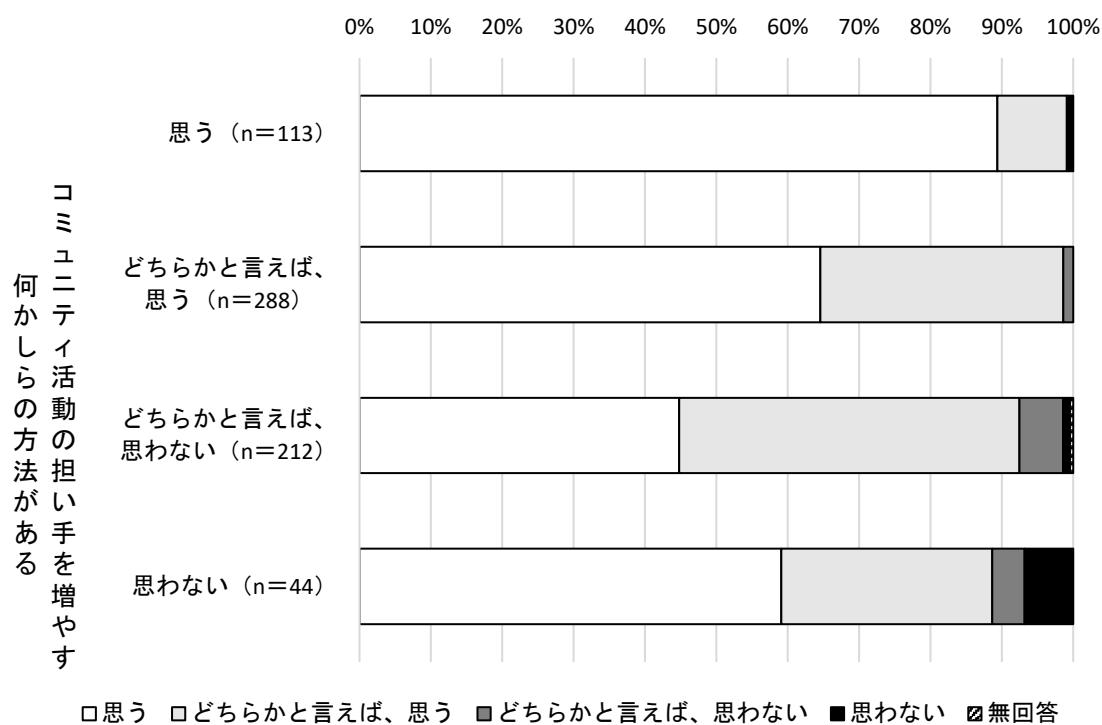


図 4-2-22 「担い手不足に対する有効感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

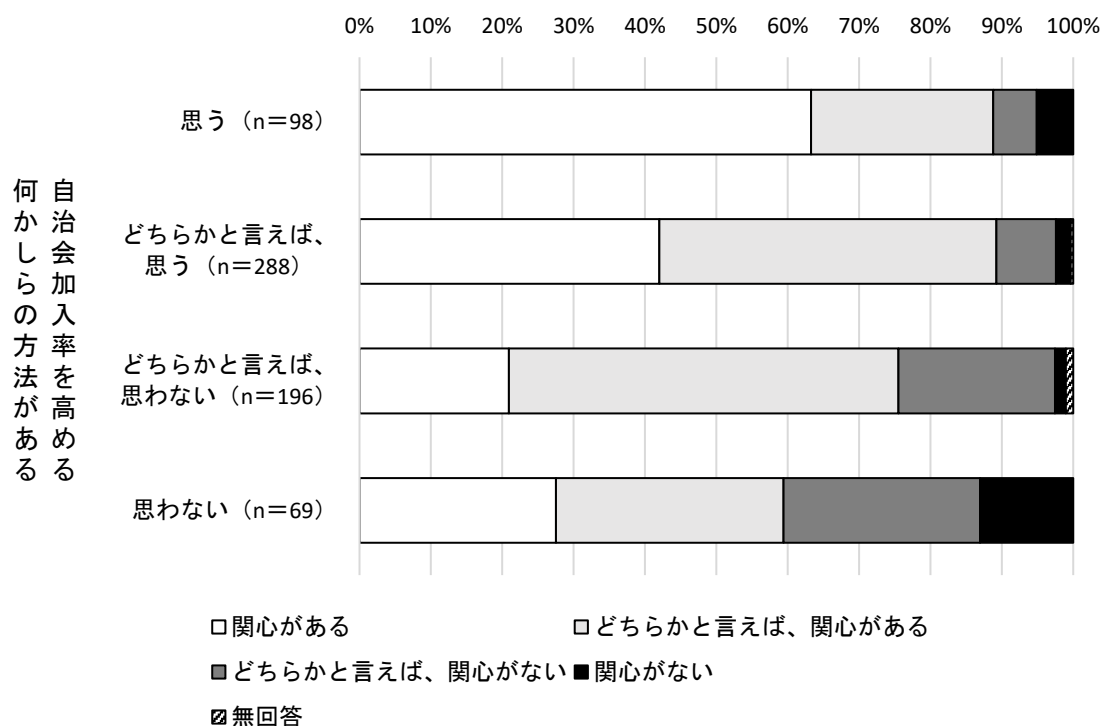


図 4-2-23 「自治会加入率に対する有効感」と「地域への関心」の関係

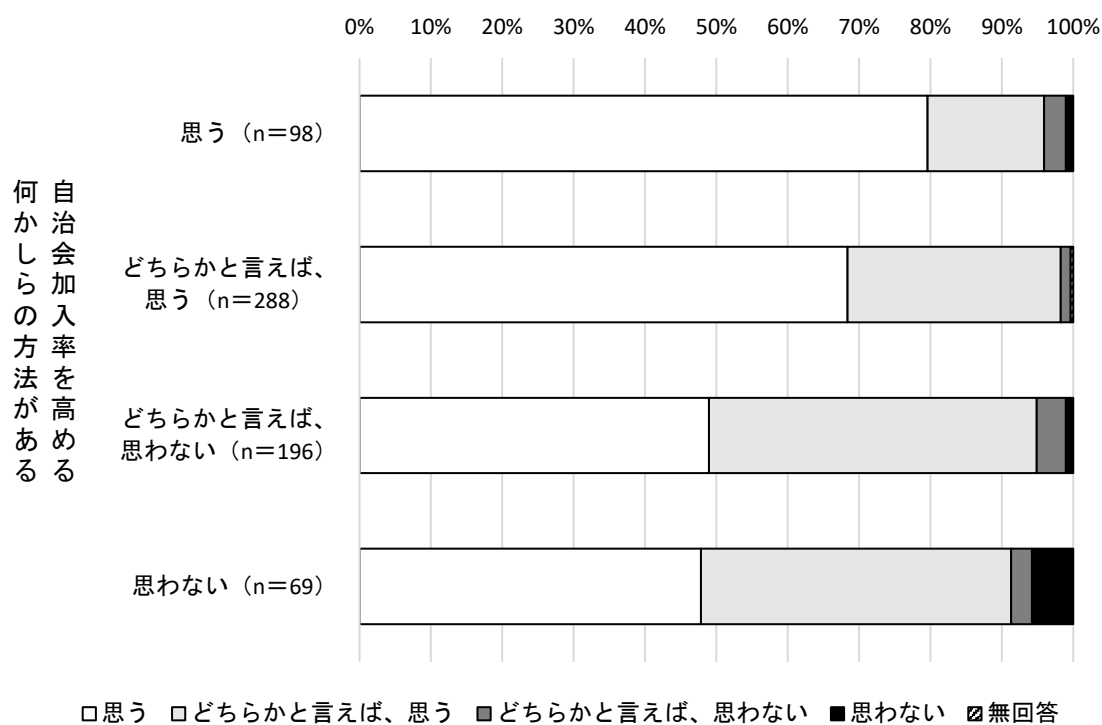


図 4-2-24 「自治会加入率に対する有効感」と「住みよい地域にしたいと思う」の関係

第3節 自治会加入の「行動意図」の規定因

「地域を良くとの目標意図」および「地域活動の評価」と、自治会加入の「行動意図」との関係を検証するため、クロス集計を行った。なお、「行動意図」については、問36で「思っていた」と回答した人と、問44で「加入したい」と回答した人を、「加入したい」、問36で「どちらかと言えば、思っていた」と回答した人と、問44で「どちらかと言えば、加入したい」と回答した人を、「どちらかと言えば、加入したい」、問36で「どちらかと言えば、思っていなかった」と回答した人と、問44で「どちらかと言えば、加入したくない」と回答した人を、「どちらかと言えば、加入したくない」、問36で「思っていなかった」と回答した人と、問44で「加入したくない」と回答した人を、「加入したくない」と集約して集計した。

まず、「地域を良くとの目標意図」に関する質問と自治会加入の「行動意図」に関する質問との間には、仮説通り、目標意図が強いほど行動意図が強い、すなわち、住んでいる地域に関心のある人ほど、自治会に加入したい人が多い、といった関係が見られた(図4-3-1～図4-3-2)。

次に、「便益評価」に関する質問と「行動意図」に関する質問との間にも、仮説通り、便益評価が大きいほど行動意図が強い、すなわち、自治会の活動は楽しいと思っている人ほど、自治会に加入したい人が多い、といった関係が見られた(図4-3-3～図4-3-8)。なお、行動意図の強弱によって自治会に期待する役割は異なっており、特に、「住民同士のつながり」を期待する人の割合が大きく異なっていた(図4-3-9)。

続いて、「費用評価」に関する質問と「行動意図」に関する質問との間にも、仮説通り、費用評価が小さいほど行動意図が強い、すなわち、自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思っていない人ほど、自治会に加入したい人が多い、といった関係が見られた(図4-3-10～図4-3-14)。なお、自治会に加入する方法を知っていると回答した人に限るが、自治会の加入手続きは面倒だと思っていないほど、自治会に加入したいと思っていることも確認された(図4-3-15)。

最後に、「実行可能性・社会規範評価」に関する質問と「行動意図」に関する質問との間にも、おおむね仮説通り、実行可能性評価が高いほど、また、社会規範評価が厳しいほど行動意図が強い、すなわち、自治会の活動内容を知っている人ほど、また、自治会に加入することを期待されていると思っている人ほど、自治会に加入したい人が多い、といった関係が見られた(図4-3-16～図4-3-18)。ただし、加入するよう促された経験

については、促された回数が少ない人ほど、自治会に加入したい人が多く、仮説に反していた（図 4-3-19）。これは、加入意図がある人は加入しやすいので、加入するよう促される回数が少なく、加入意図がない人は加入しにくいので、加入するよう促される回数が多くなるという顛末を示していると考えられる。

以上の結果から、「地域を良くとの目標意図」と、自治会加入の「便益評価」、「費用評価」、「実行可能性・社会規範評価」が「行動意図」を規定すると言える。

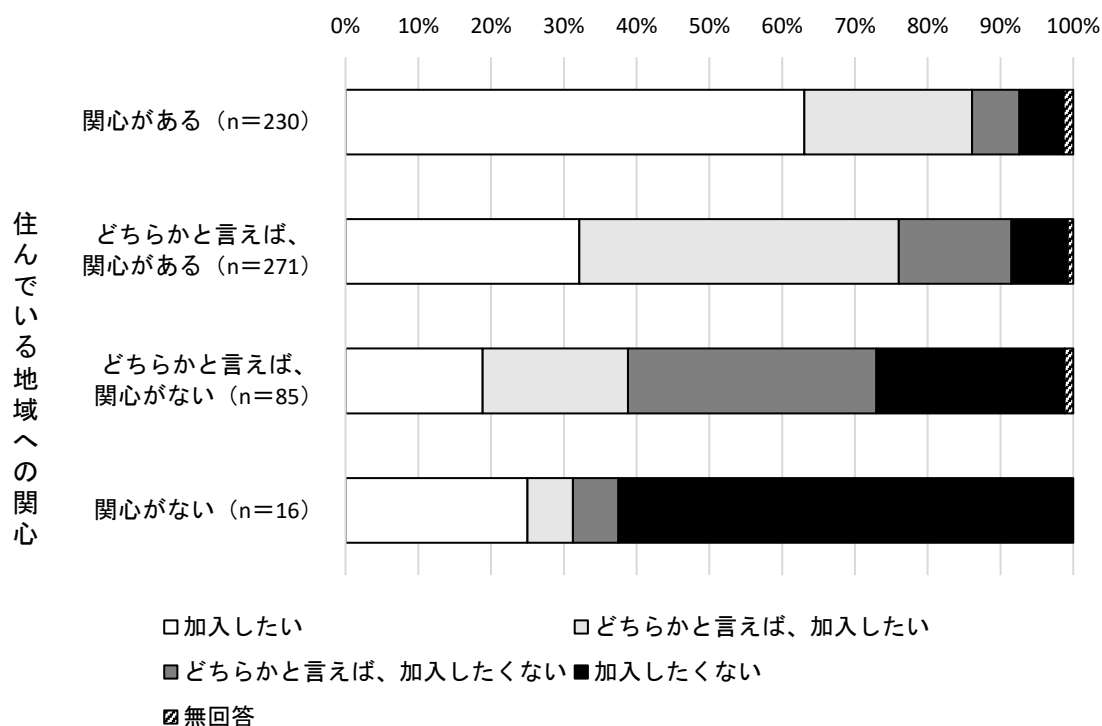


図 4-3-1 「地域への関心」と行動意図の関係

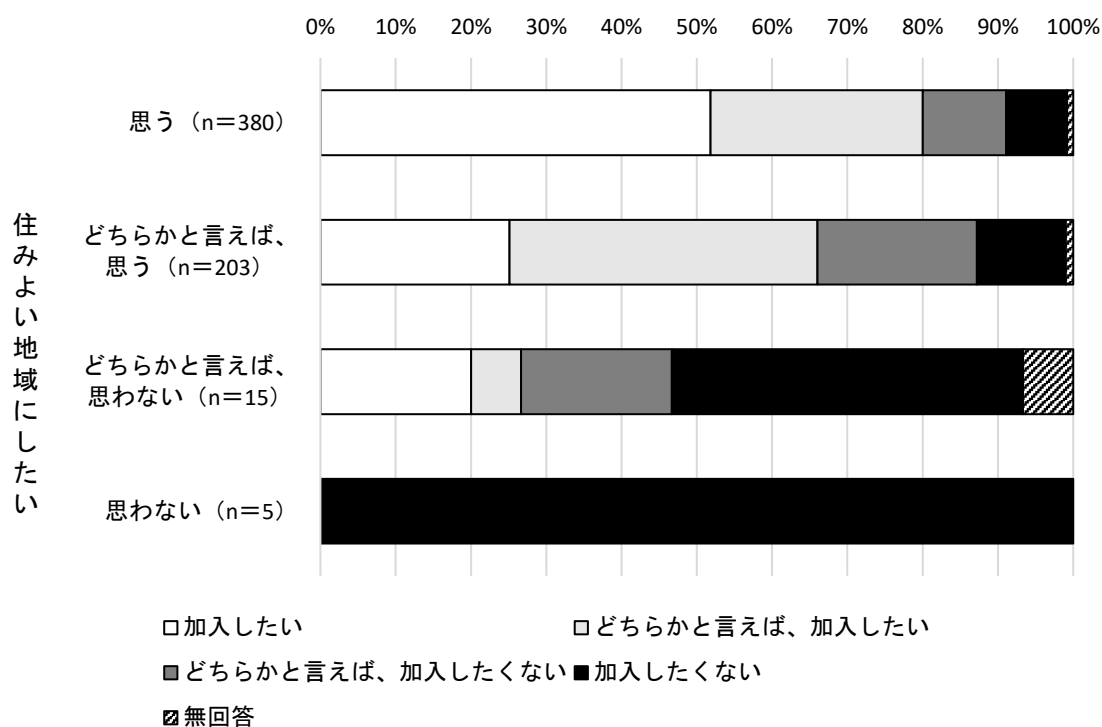
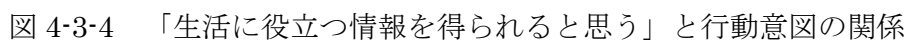


図 4-3-2 「住みよい地域にしたいと思う」と行動意図の関係



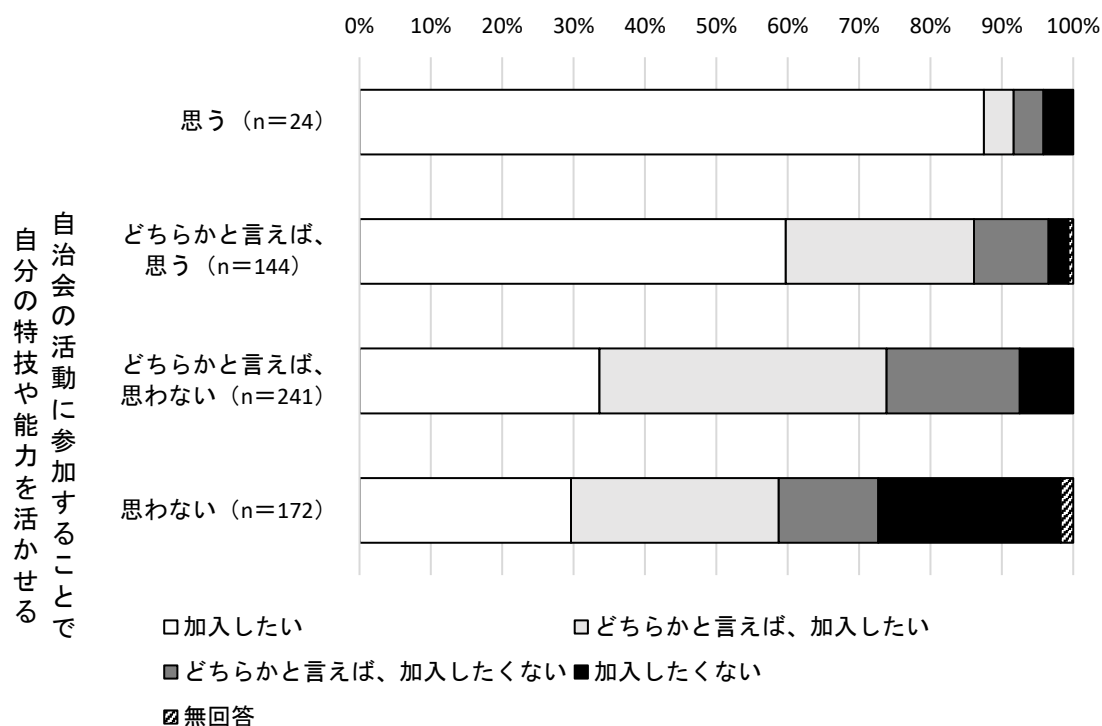


図 4-3-5 「自分の特技や能力を活かせると思う」と行動意図の関係

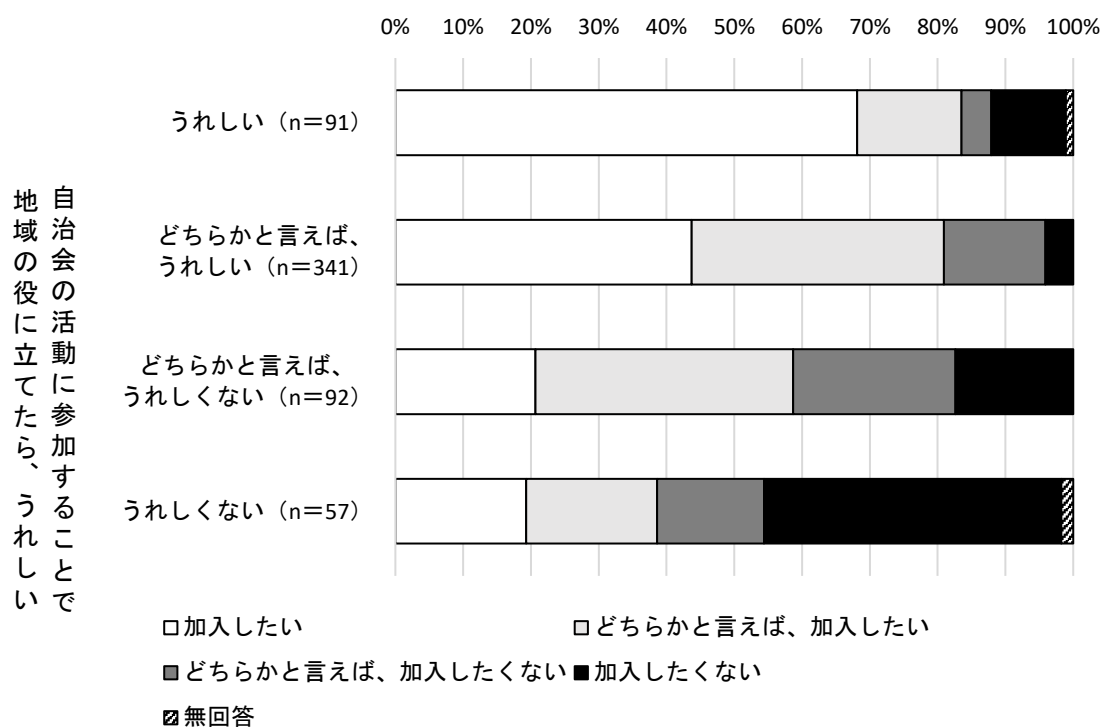


図 4-3-6 「地域の役に立てたら、うれしい」と行動意図の関係

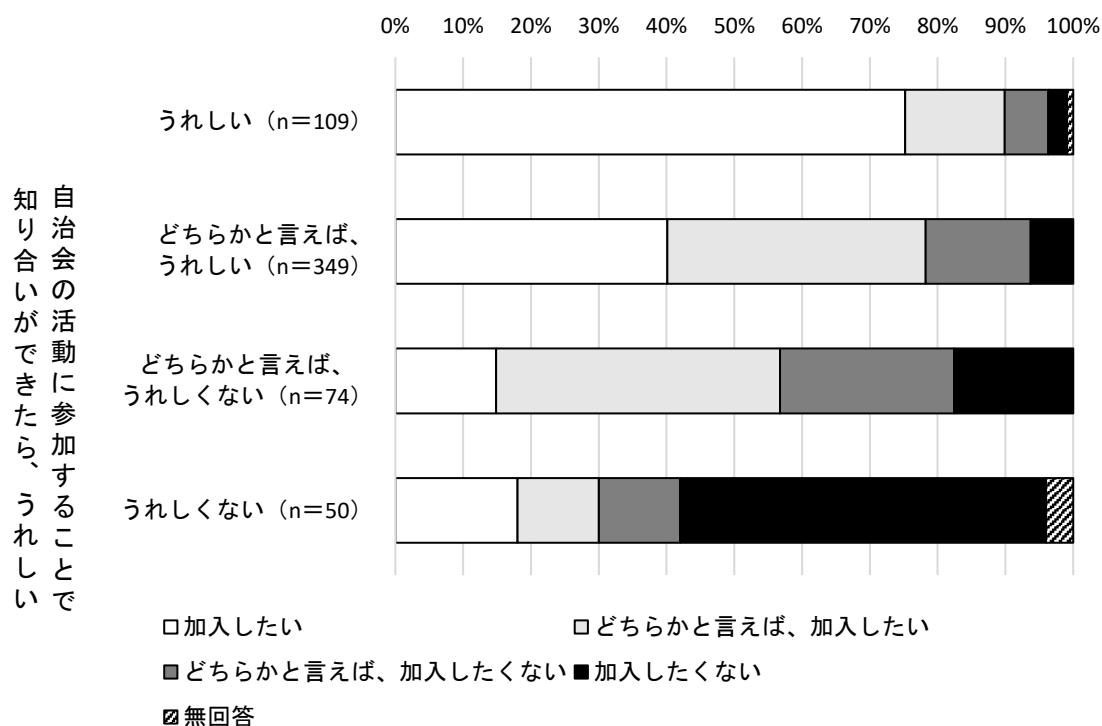


図 4-3-7 「知合いができたなら、うれしい」と行動意図の関係

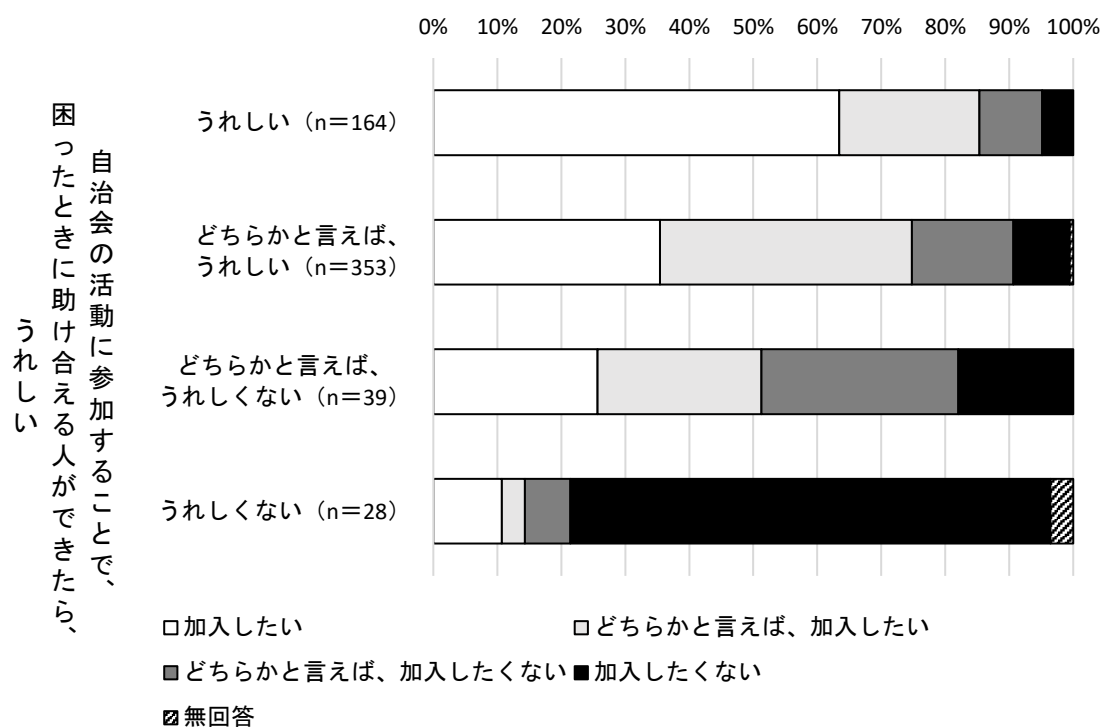


図 4-3-8 「困ったときに助け合える人ができたら、うれしい」と行動意図の関係

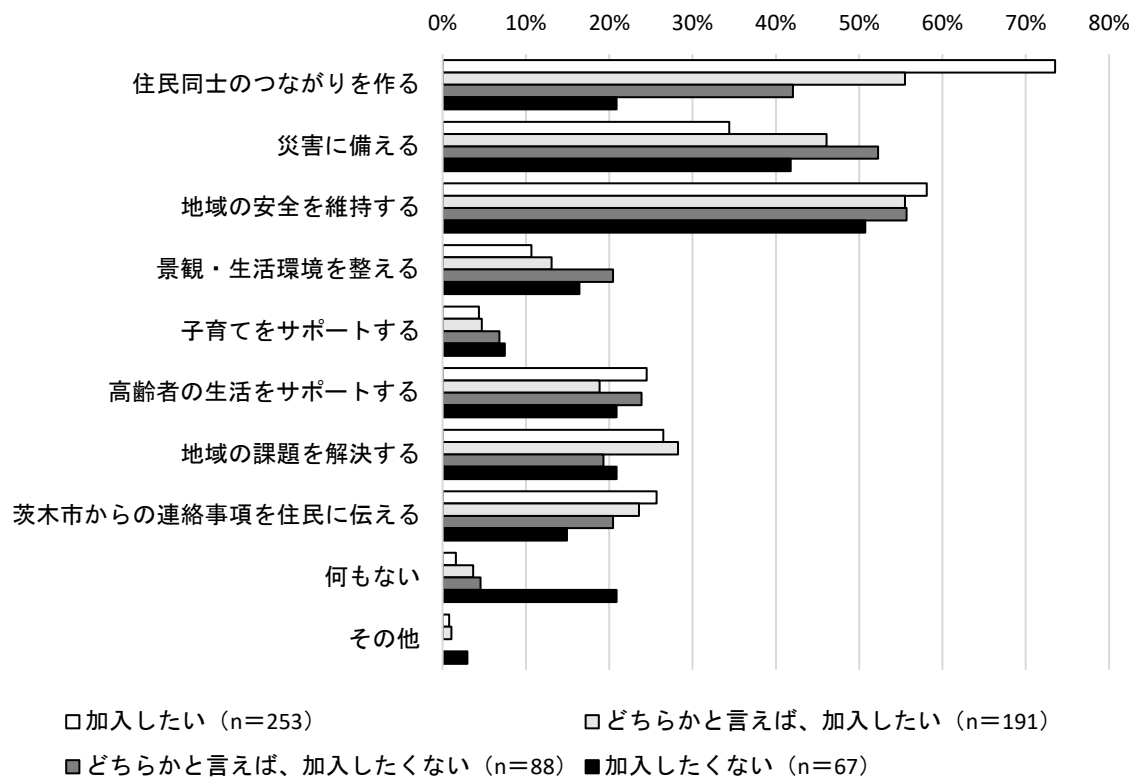


図 4-3-9 「自治会に期待する役割」と行動意図の関係

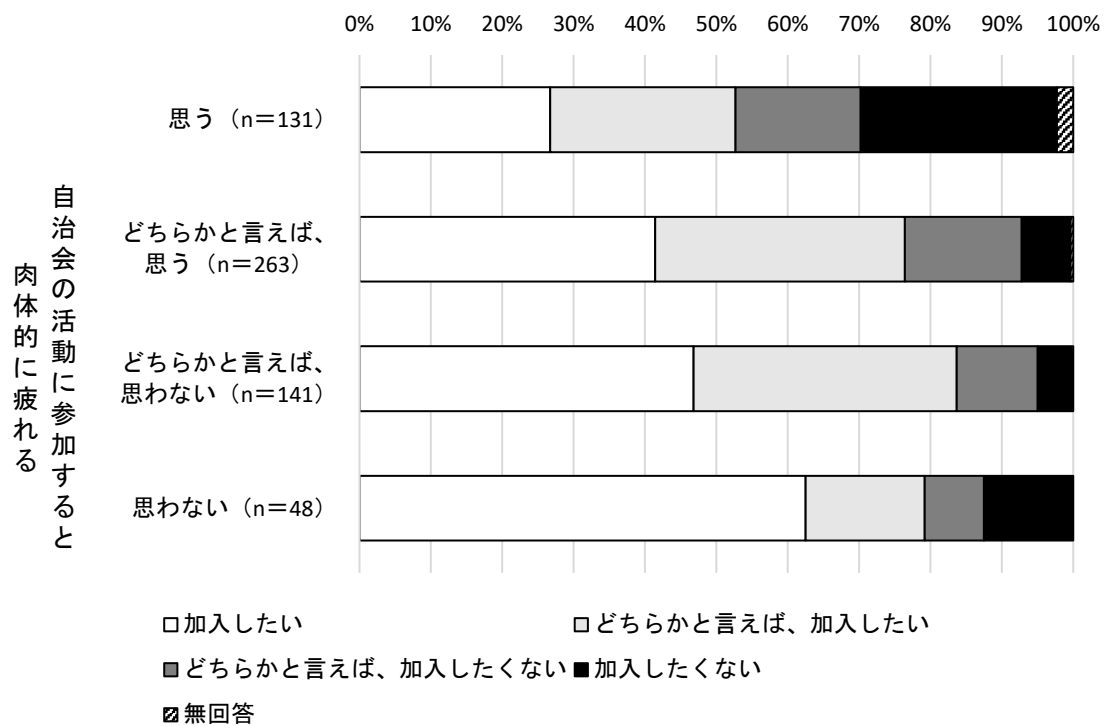
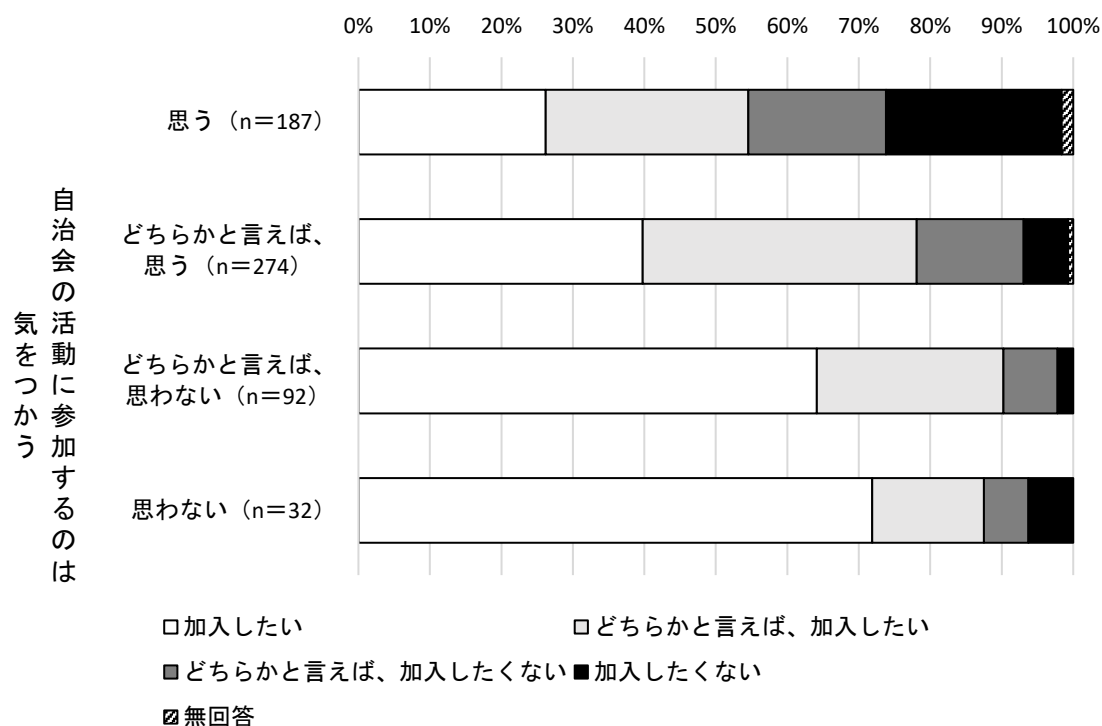


図 4-3-10 「肉体的に疲れる」と行動意図の関係



4-3-11 「気をつかう」と行動意図の関係

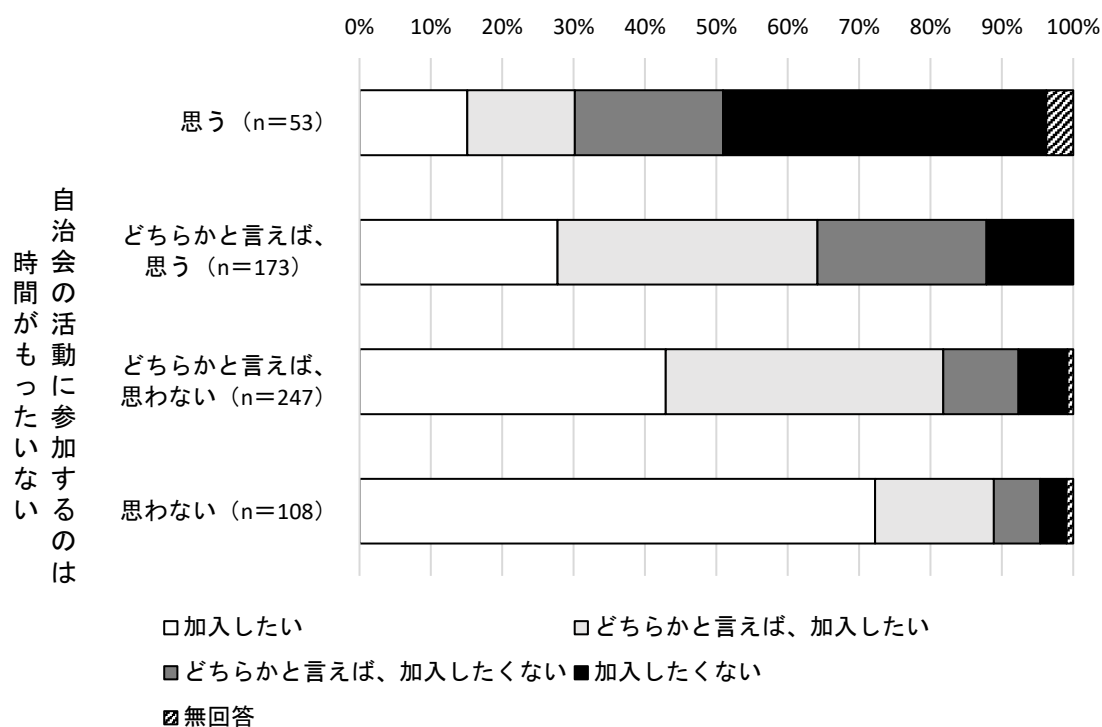


図 4-3-12 「時間をもったいない」と行動意図の関係

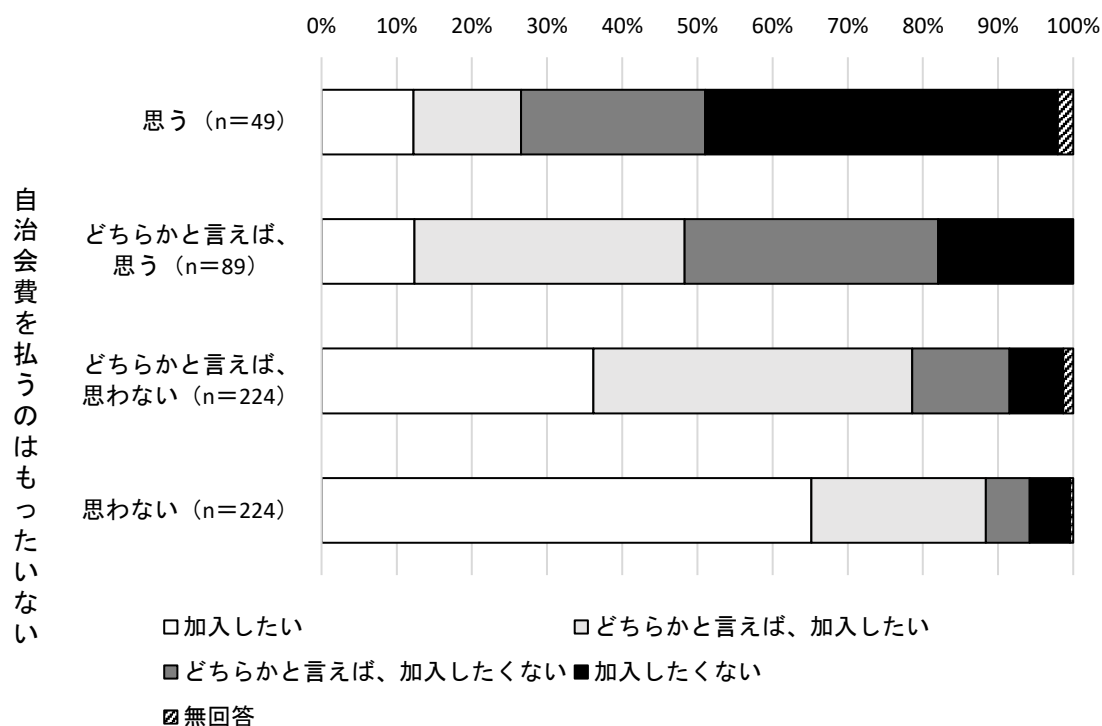


図 4-3-13 「自治会費を払うのはもったいない」と行動意図の関係

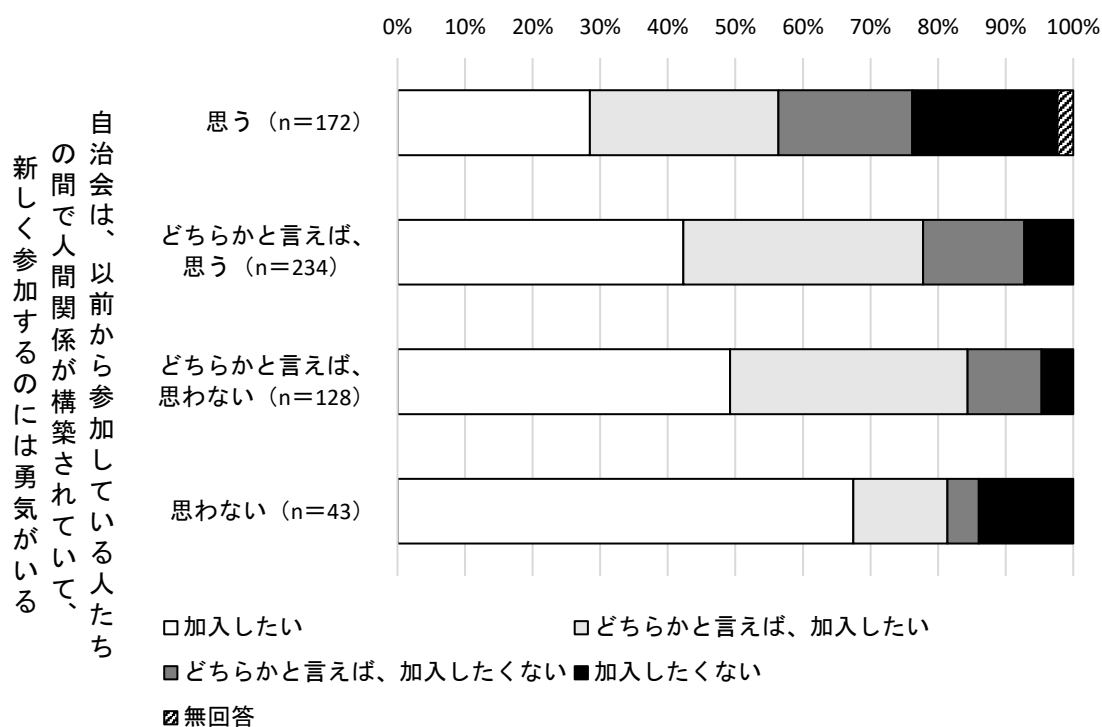


図 4-3-14 「新しく参加するのには勇気がいる」と行動意図の関係

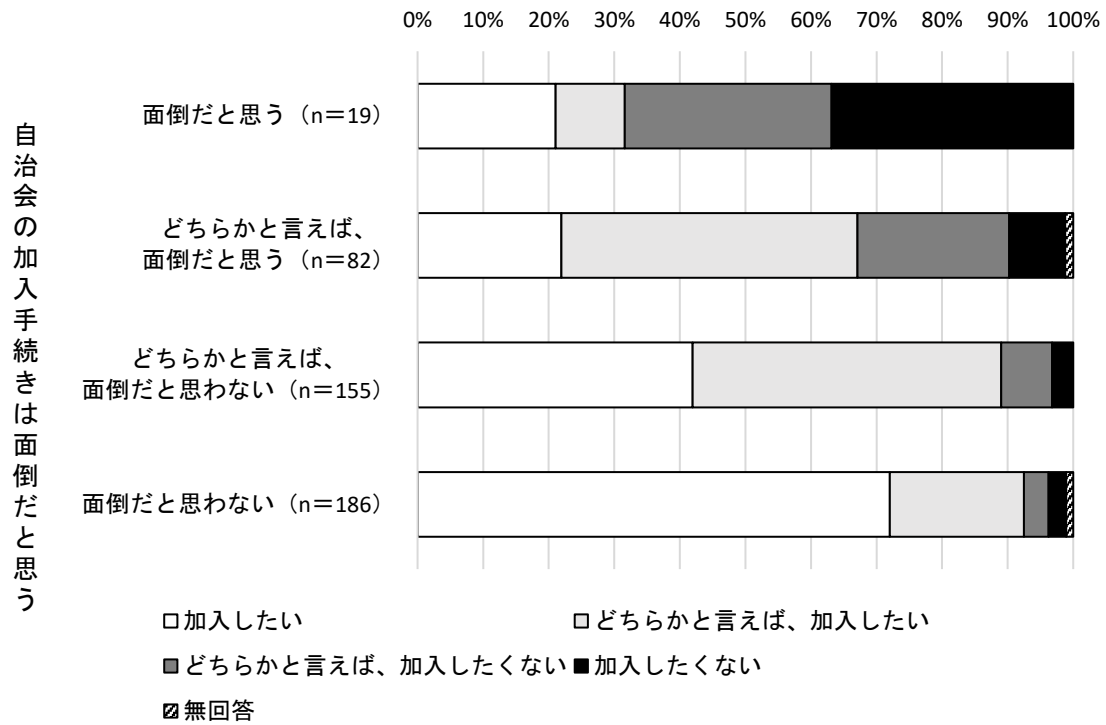


図 4-3-15 「加入手続きは面倒だと思う」と行動意図の関係

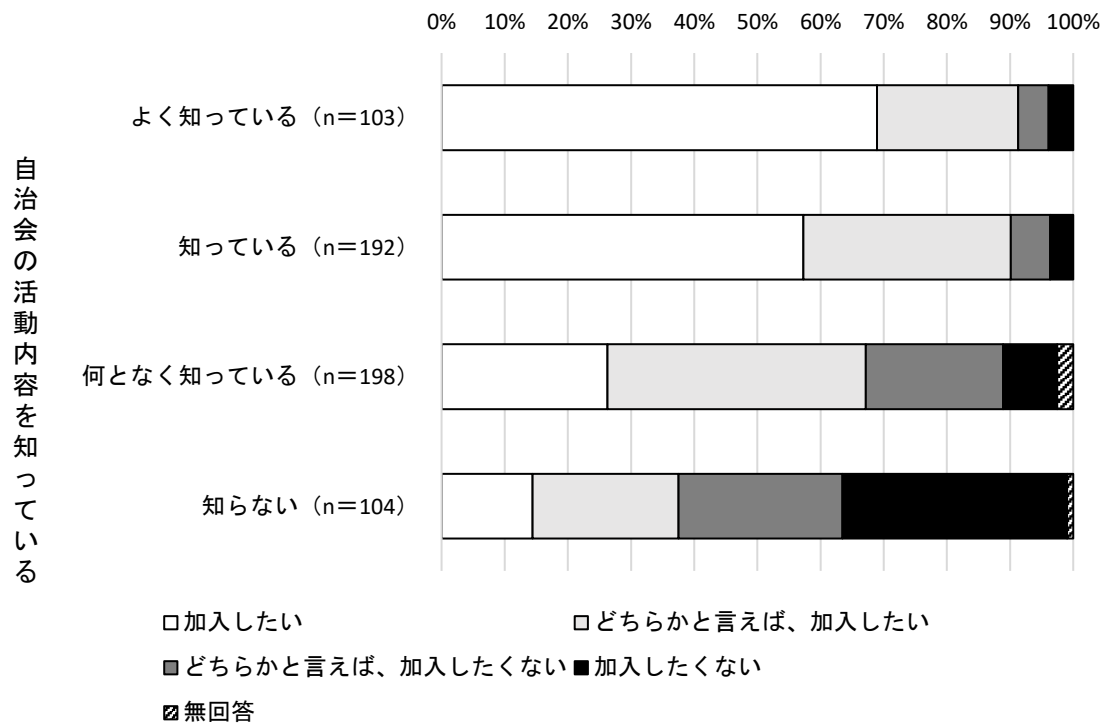


図 4-3-16 「自治会の活動内容を知っている」と行動意図の関係

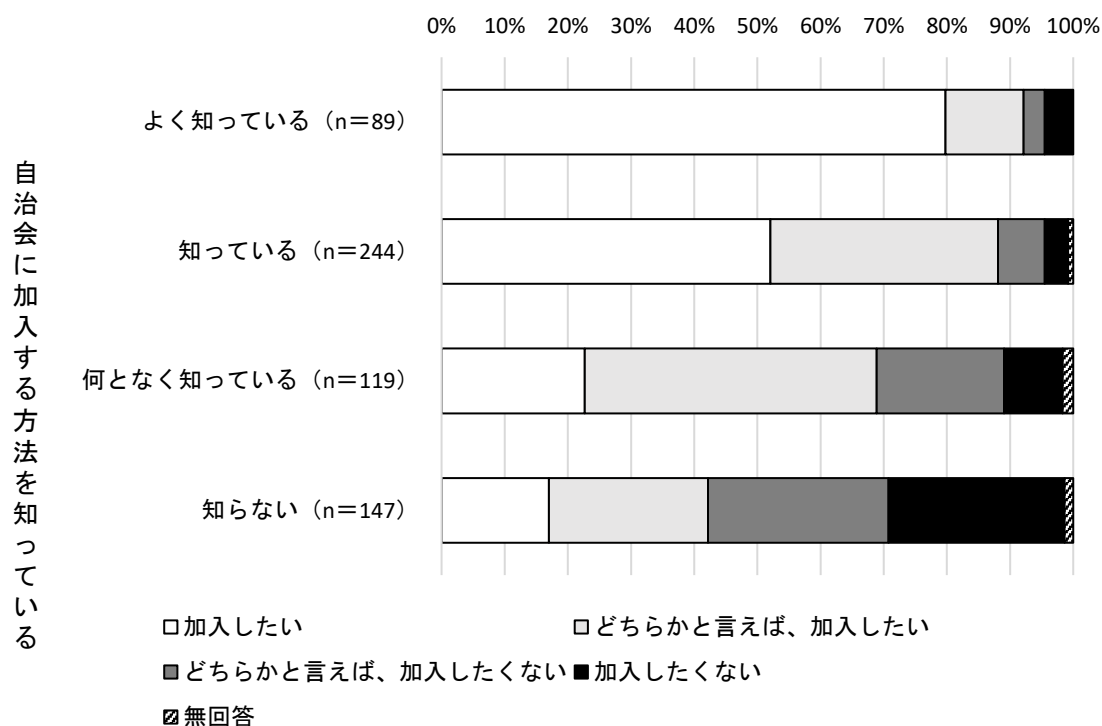


図 4-3-17 「自治会に加入する方法を知っている」と行動意図の関係

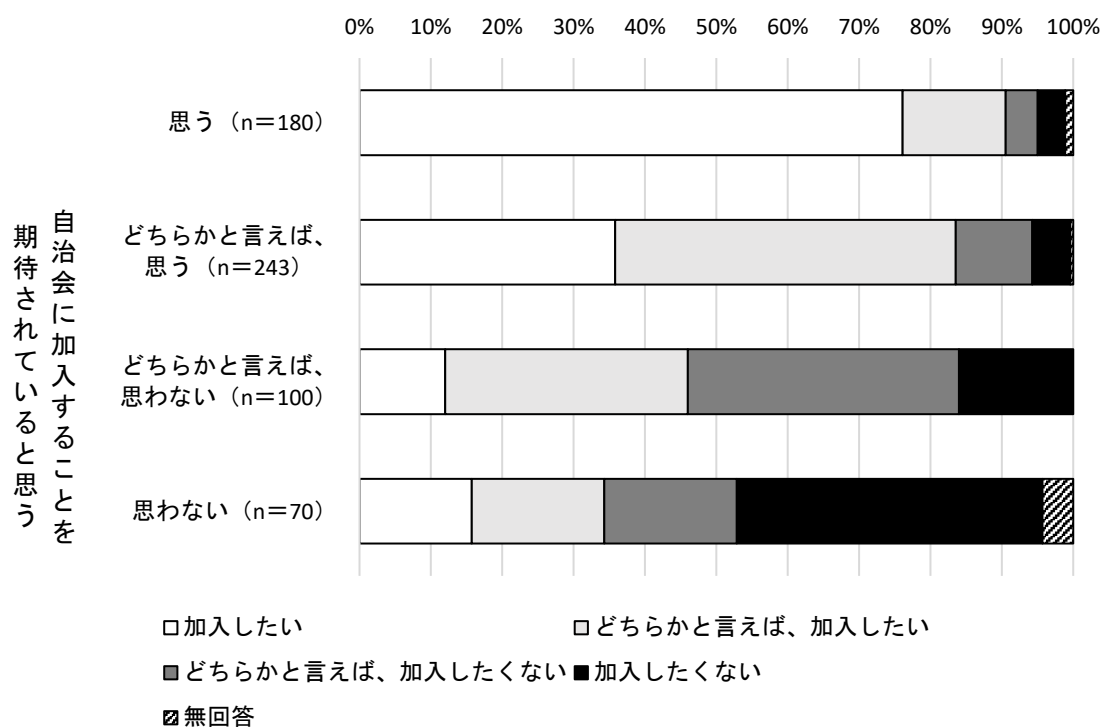


図 4-3-18 「自治会に加入することを期待されていると思う」と行動意図の関係

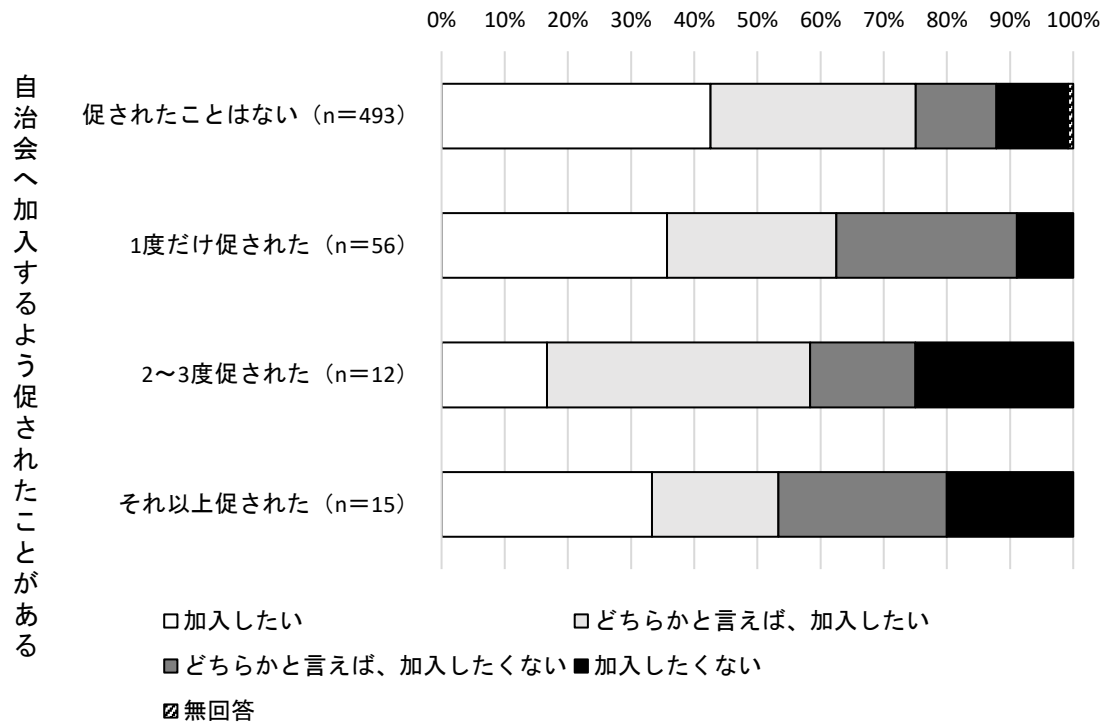


図 4-3-19 「自治会加入を促されたことがある」と行動意図の関係

第4節 自治会加入の「行動」の規定因

自治会加入の「行動意図」および「実行可能性・社会規範評価」と、「行動」との関係を検証するため、クロス集計を行った。

まず、「行動意図」に関する質問と「行動」に関する質問との間には、仮説通り、行動意図が強いほど行動を実行する、すなわち、自治会に加入したい人ほど、自治会に加入している人が多い、といった関係が見られた（図 4-4-1）。

次に、「実行可能性・社会規範評価」に関する質問と「行動」に関する質問の間にも、おおむね仮説通り、実行可能性評価が高いほど、また、社会規範評価が厳しいほど行動を実行する、すなわち、自治会の活動内容を知っている人ほど、また、自治会に加入することを期待されていると思っている人ほど、自治会に加入している人が多い、といった関係が見られた（図 4-4-2～図 4-4-4）。ただし、加入するよう促された経験については、促された回数と加入行動の間に明確な関係は見られなかった（図 4-4-5）。その理由としては、①加入するよう促されたことのある回答者が少ない、②ただ単に促す回数を増やせば良いのではなく、勧誘を通じて、社会規範評価を変えたり、便益・費用評価を変えて行動意図を変えたりする必要がある、といったことが考えられる。

以上の結果から、自治会加入の「行動意図」と「実行可能性・社会規範評価」が「行動」を規定すると言えるだろう。

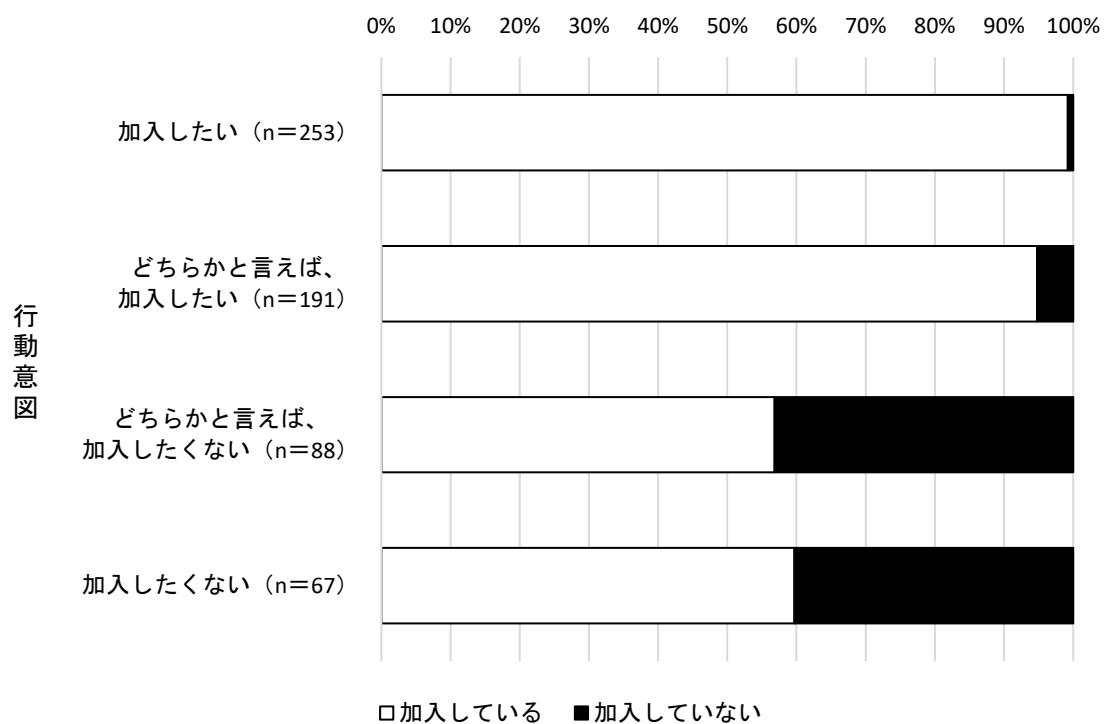


図 4-4-1 行動意図と行動の関係

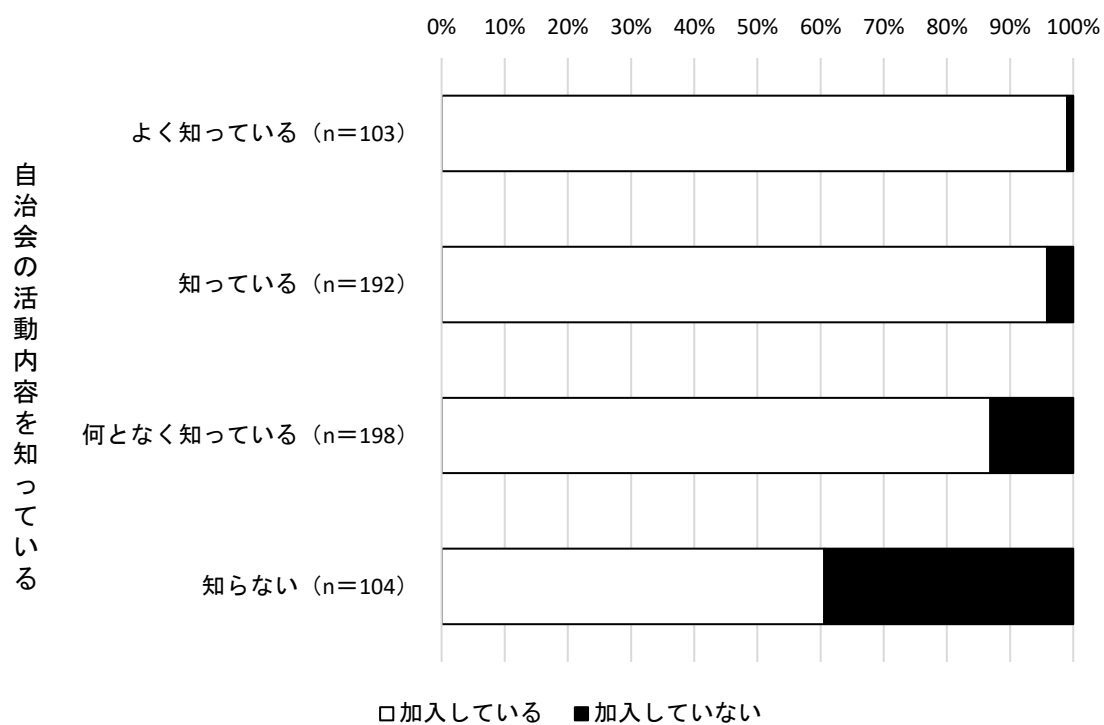


図 4-4-2 「自治会の活動内容を知っている」と行動の関係

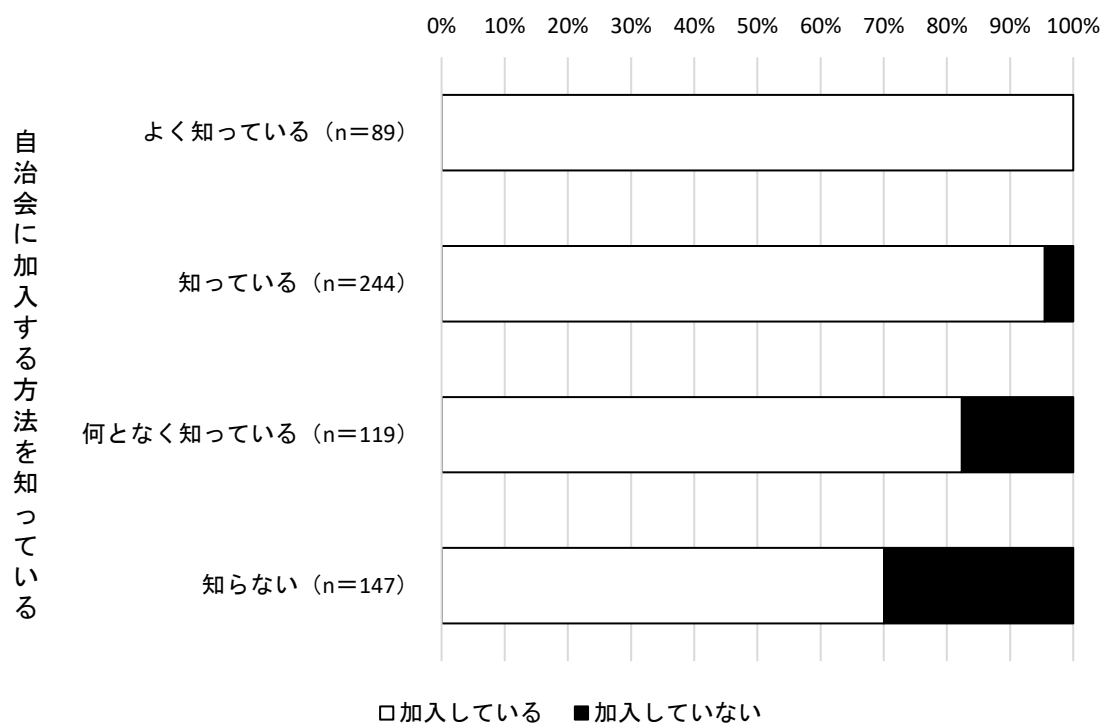


図 4-4-3 「自治会に加入する方法を知っている」と行動の関係

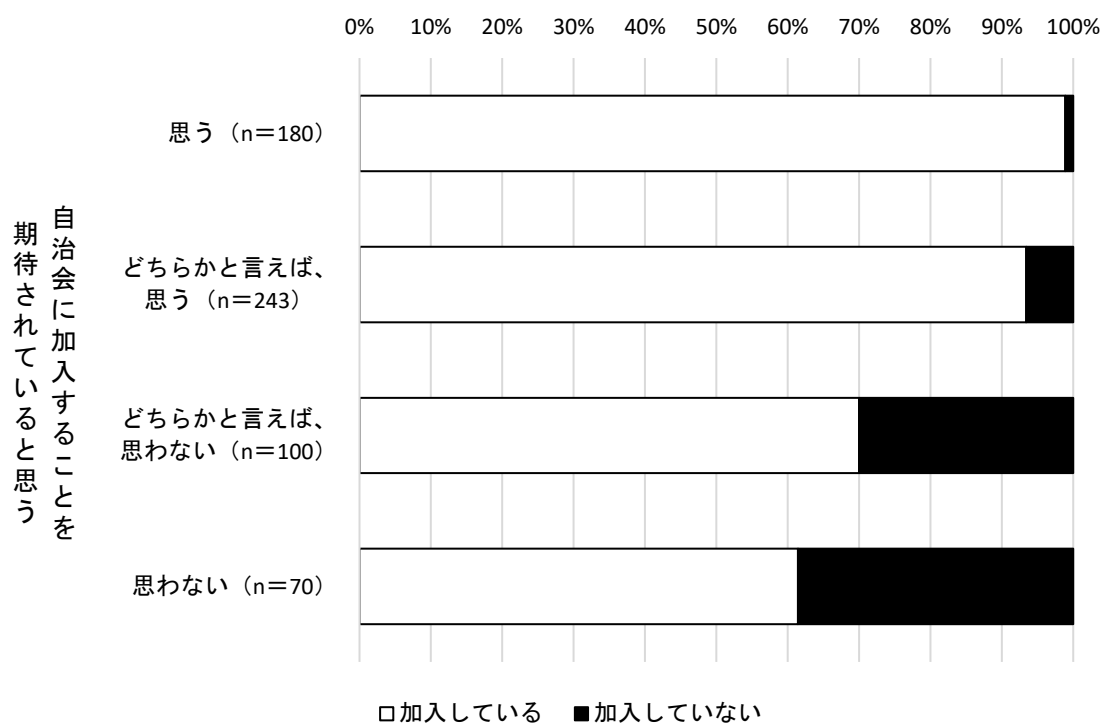


図 4-4-4 「自治会に加入することを期待されていると思う」と行動の関係

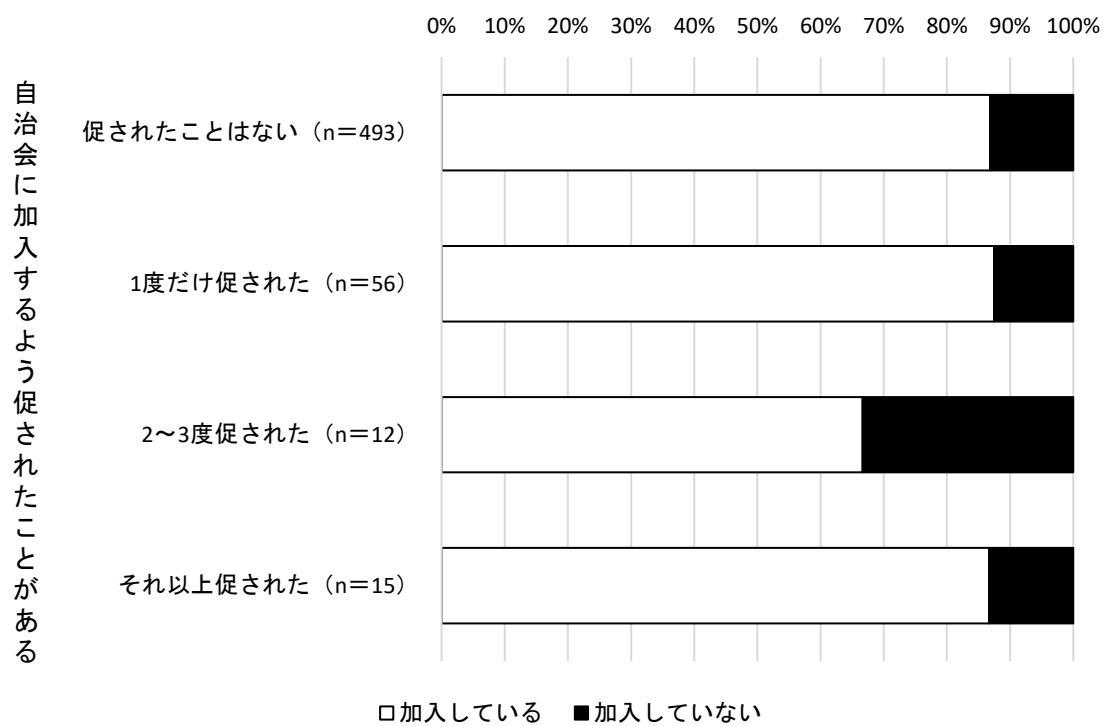


図 4-4-5 「自治会加入を促されたことがある」と行動の関係

第5節 自治会活動参加の「行動意図」の規定因

「地域を良くとの目標意図」および「地域活動の評価」と、自治会活動参加の「行動意図」との関係を検証するため、クロス集計を行った。

まず、「地域を良くとの目標意図」に関する質問と自治会活動参加の「行動意図」に関する質問との間には、仮説通り、目標意図が強いほど行動意図が強い、すなわち、住んでいる地域に関心のある人ほど、自治会活動に参加したい人が多い、といった関係が見られた（図 4-5-1～図 4-5-2）。

次に、「便益評価（他者とのかかわり）」および「便益評価（内発的動機づけ）」に関する質問と「行動意図」に関する質問との間にも、仮説通り、便益評価が大きいほど行動意図が強い、すなわち、自治会の活動に参加することで地域の役に立てたらうれしいと思っている人ほど、自治会活動に参加したい人が多い、といった関係が見られた（図 4-5-3～図 4-5-8）。なお、行動意図の強弱によって自治会に期待する役割は異なっており、特に、「住民同士のつながり」を期待する人の割合が大きく異なっていた（図 4-5-9）。

「費用評価」に関する質問と「行動意図」に関する質問との間にも、仮説通り、費用評価が小さいほど行動意図が強い、すなわち、自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思っていない人ほど、自治会活動に参加したい人が多い、といった関係が見られた（図 4-5-10～図 4-5-13）。

続いて、「実行可能性・社会規範評価」に関する質問と「行動意図」に関する質問との間にも、おおむね仮説通り、実行可能性評価が高いほど、また、社会規範評価が厳しいほど行動意図が強い、すなわち、自治会の活動内容を知っている人ほど、また、自治会活動に参加することを期待されていると思っている人ほど、自治会活動に参加したい人が多い、といった関係が見られた（図 4-5-14～図 4-5-17）。ただし、参加するよう促された経験については、促された回数と行動意図の間に明確な関係は見られなかった（図 4-5-18）。ただ単に促す回数を増やすだけでは、行動意図は変わらないと考えられる。

「実行困難性評価」に関する質問については、自治会の活動に参加するために家庭の仕事を家族に任せられると思っている人の方が、自治会活動に参加したい人が 10%ポイントほど多かったが、残りの 2 つの質問も踏まえると、「行動意図」との間に明確な関係性は見られなかった（図 4-5-19～図 4-5-21）。

以上の結果から、「地域を良くとの目標意図」と、自治会活動参加の「便益評価（他者とのかかわり）」、「便益評価（内発的動機づけ）」、「費用評価」、「実行可能性・社会規範評価」が「行動意図」を規定すると言えるだろう。

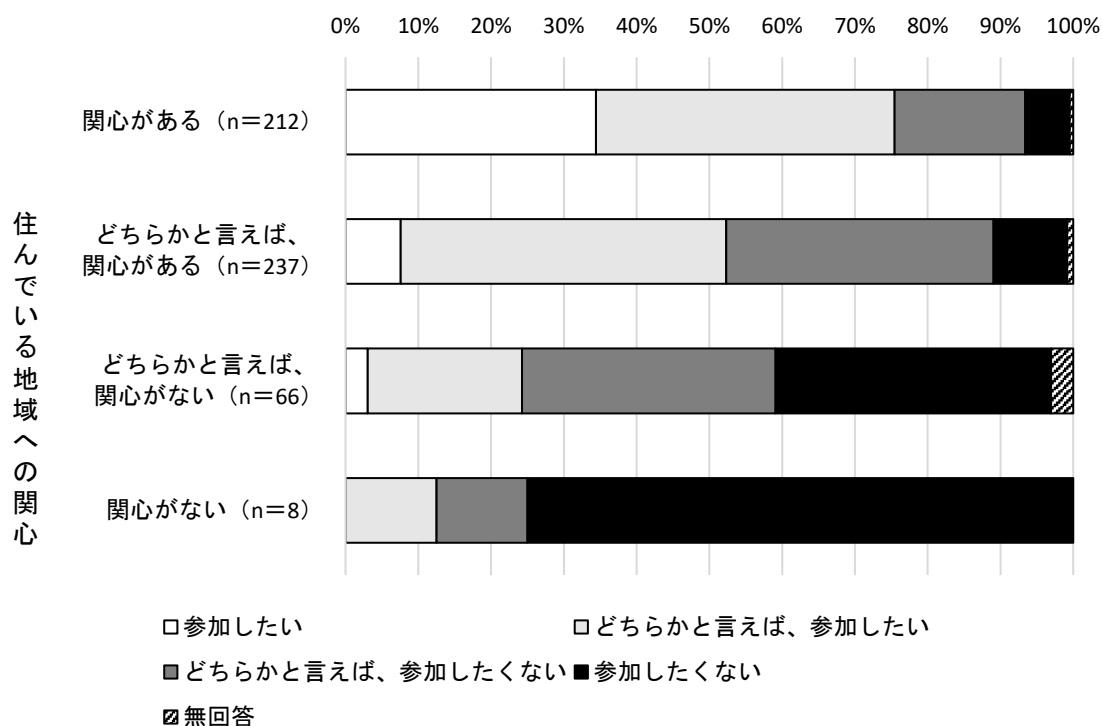


図 4-5-1 「地域への関心」と行動意図の関係

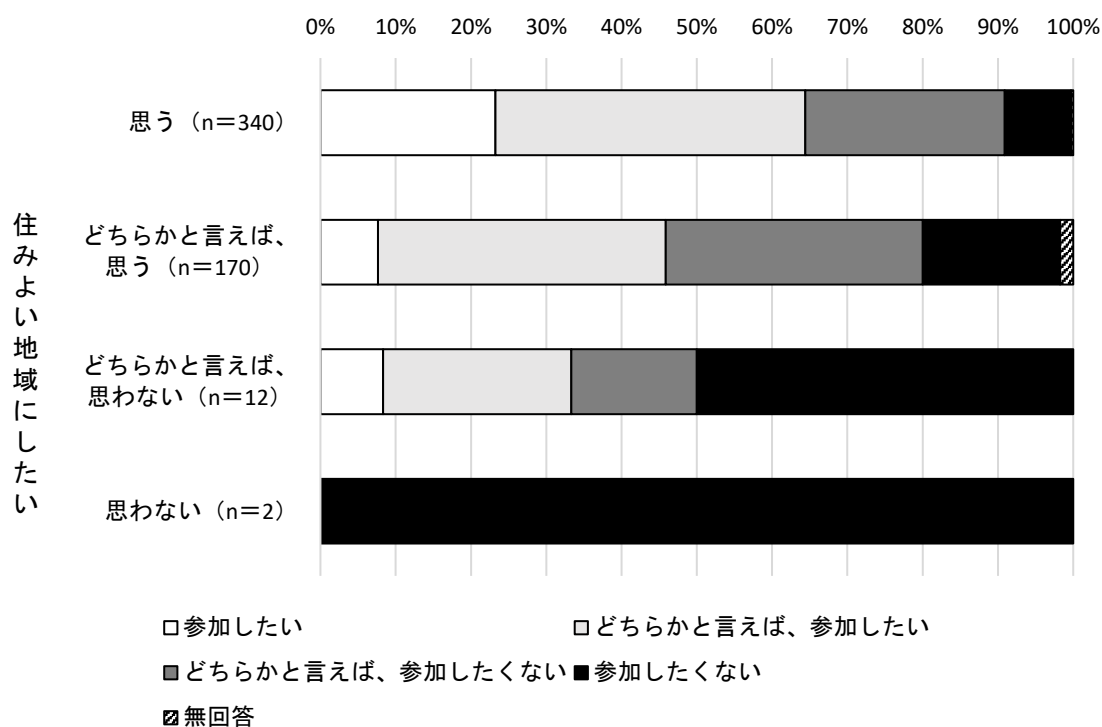


図 4-5-2 「住みよい地域にしたいと思う」と行動意図の関係

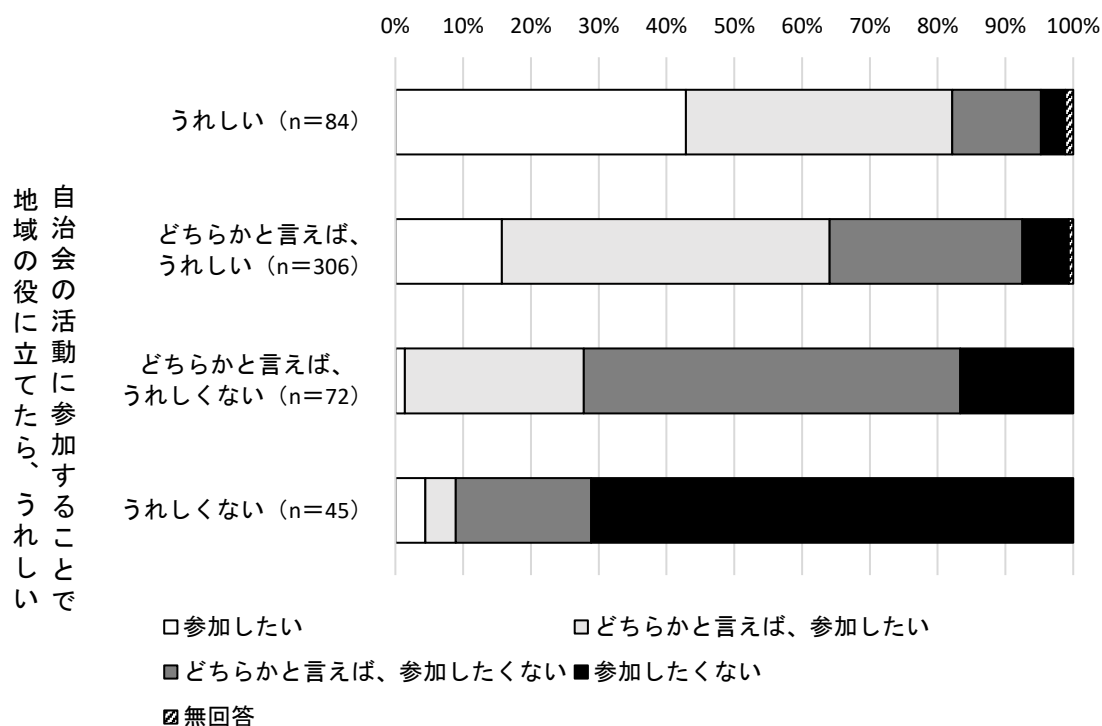


図 4-5-3 「地域の役に立てたら、うれしい」と行動意図の関係

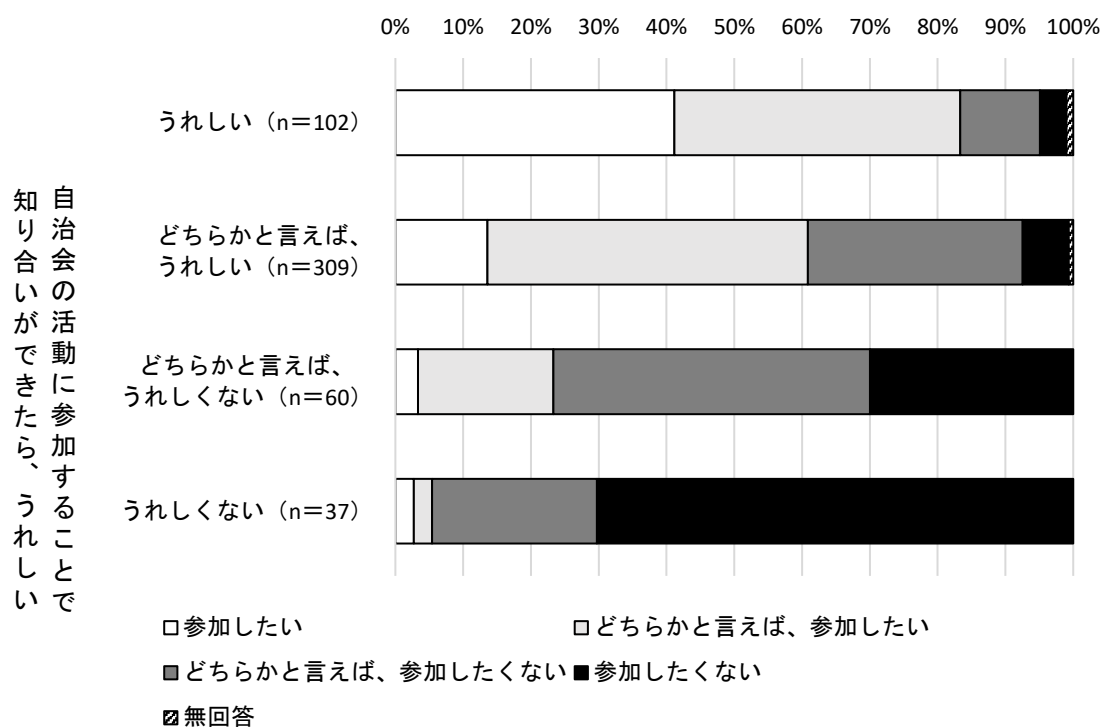


図 4-5-4 「知り合いができたなら、うれしい」と行動意図の関係

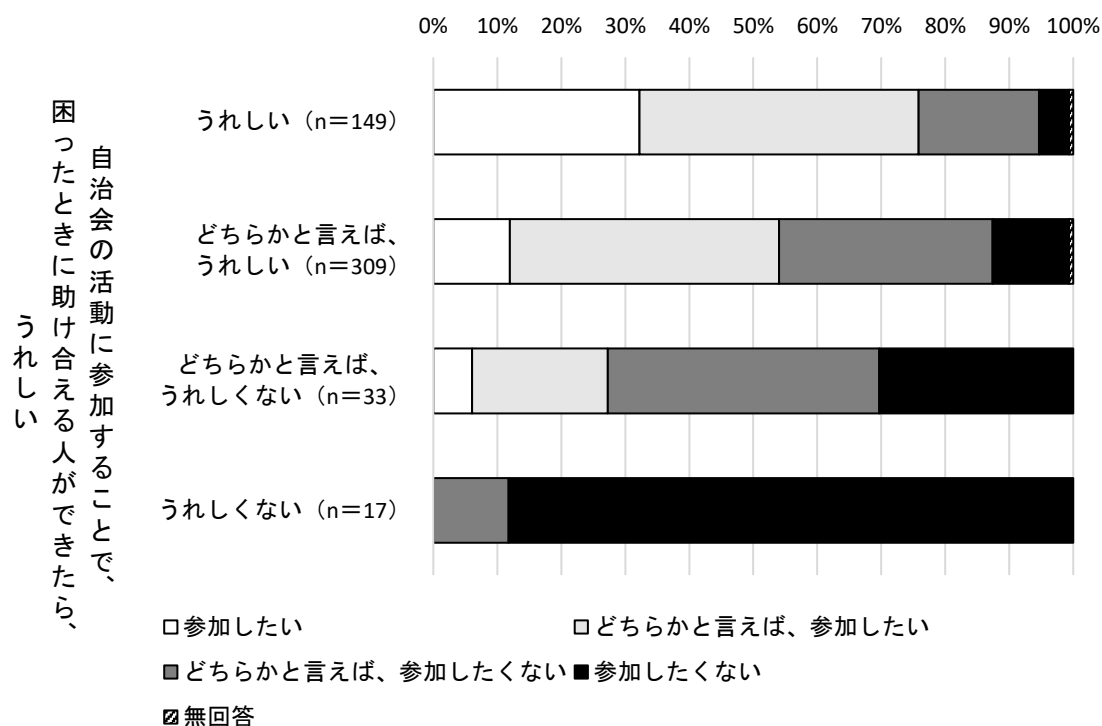


図 4-5-5 「困ったときに助け合える人ができたら、うれしい」と行動意図の関係

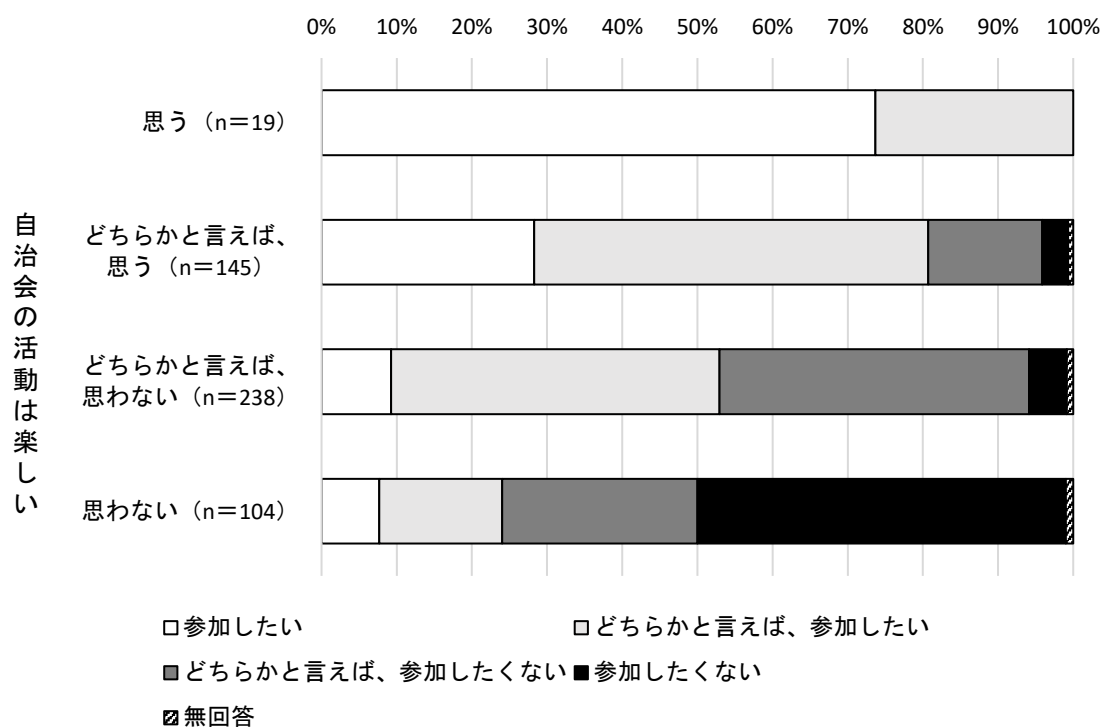


図 4-5-6 「自治会の活動は楽しいと思う」と行動意図の関係

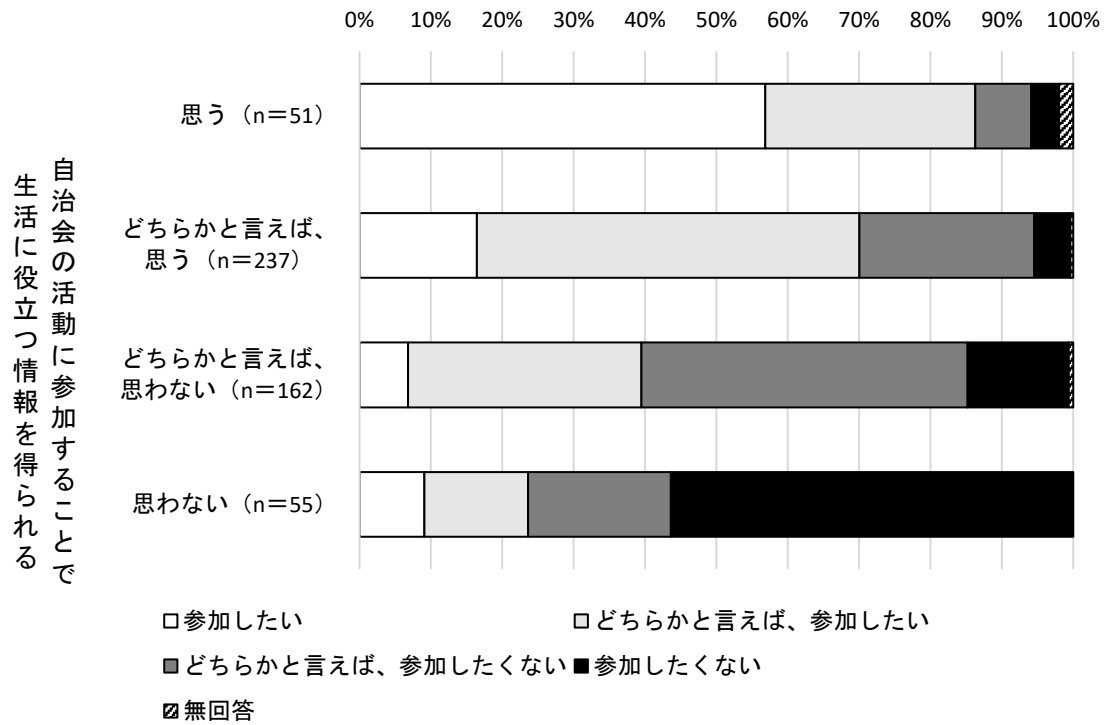


図 4-5-7 「生活に役立つ情報を得られると思う」と行動意図の関係

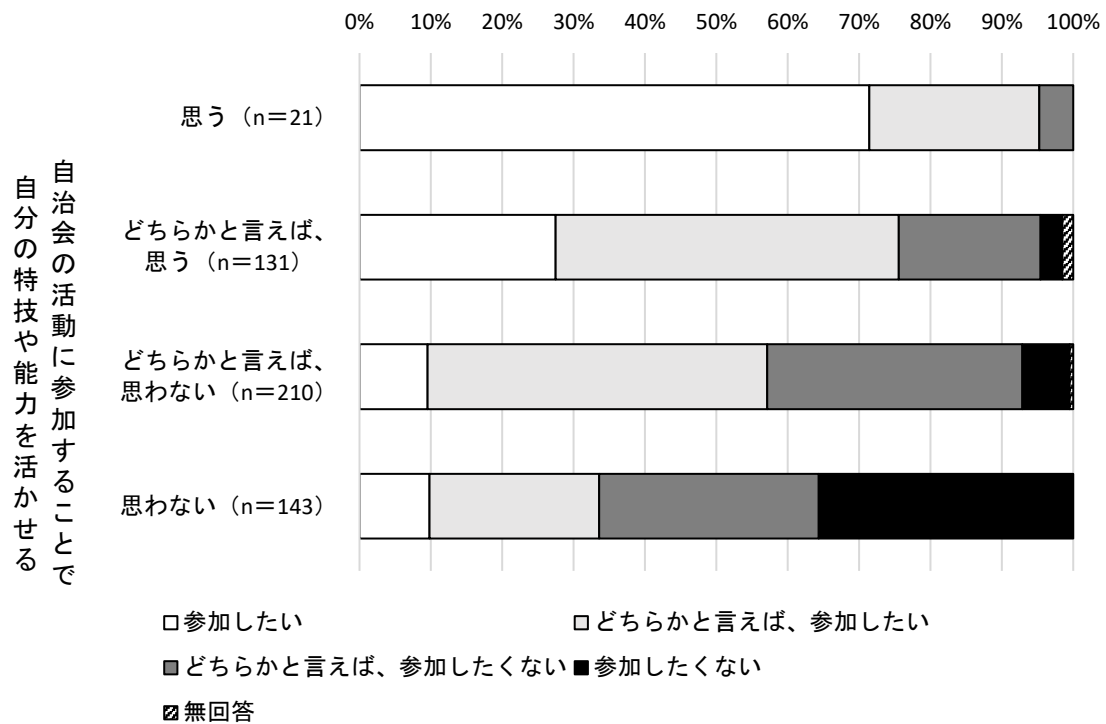


図 4-5-8 「自分の特技や能力を活かせると思う」と行動意図の関係

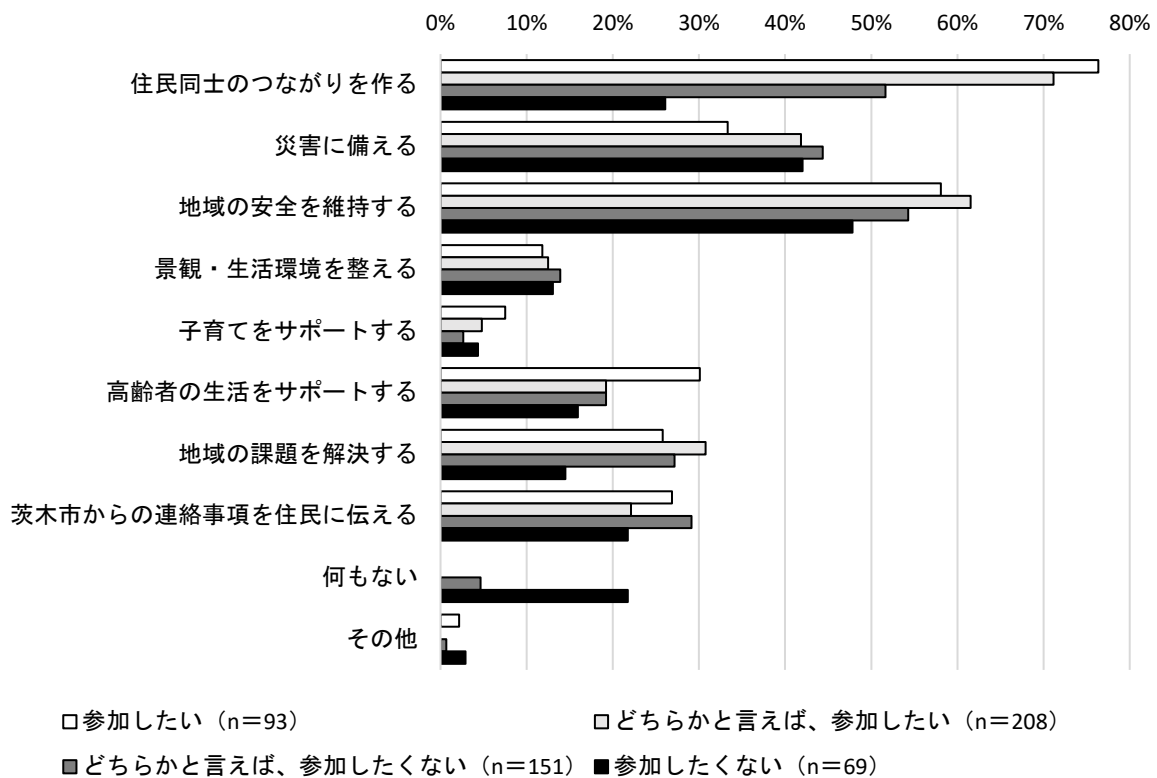


図 4-5-9 「自治会に期待する役割」と行動意図の関係

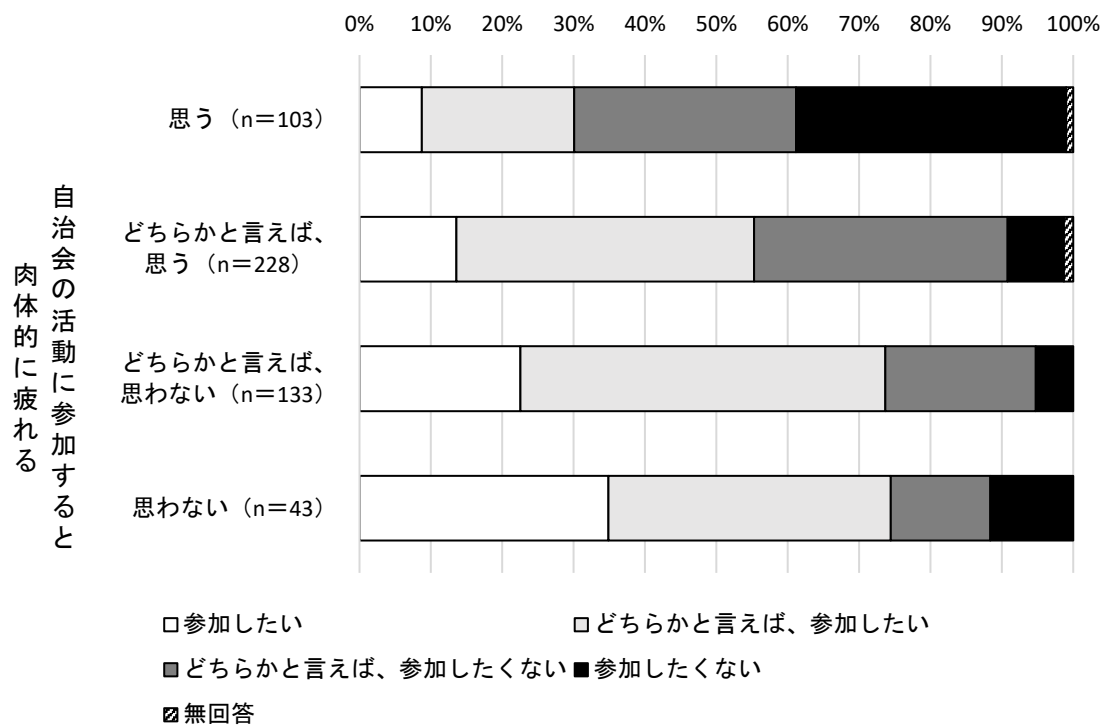
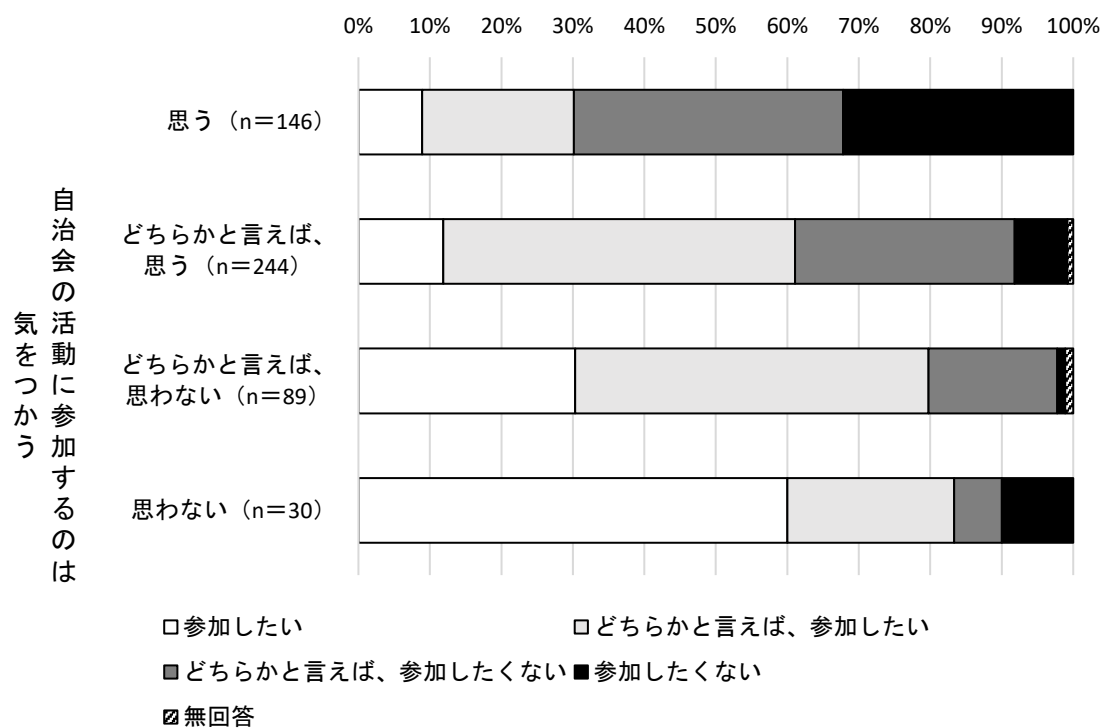


図 4-5-10 「肉体的に疲れる」と行動意図の関係



4-5-11 「気をつかう」と行動意図の関係

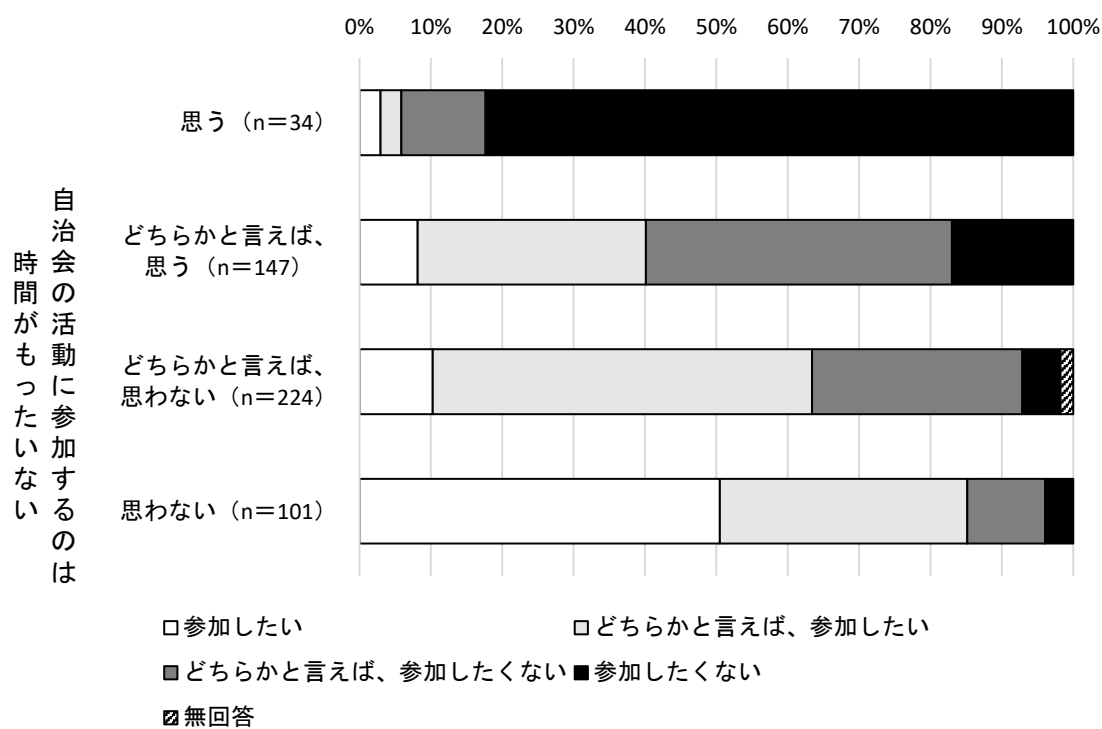


図 4-5-12 「時間がもったいない」と行動意図の関係

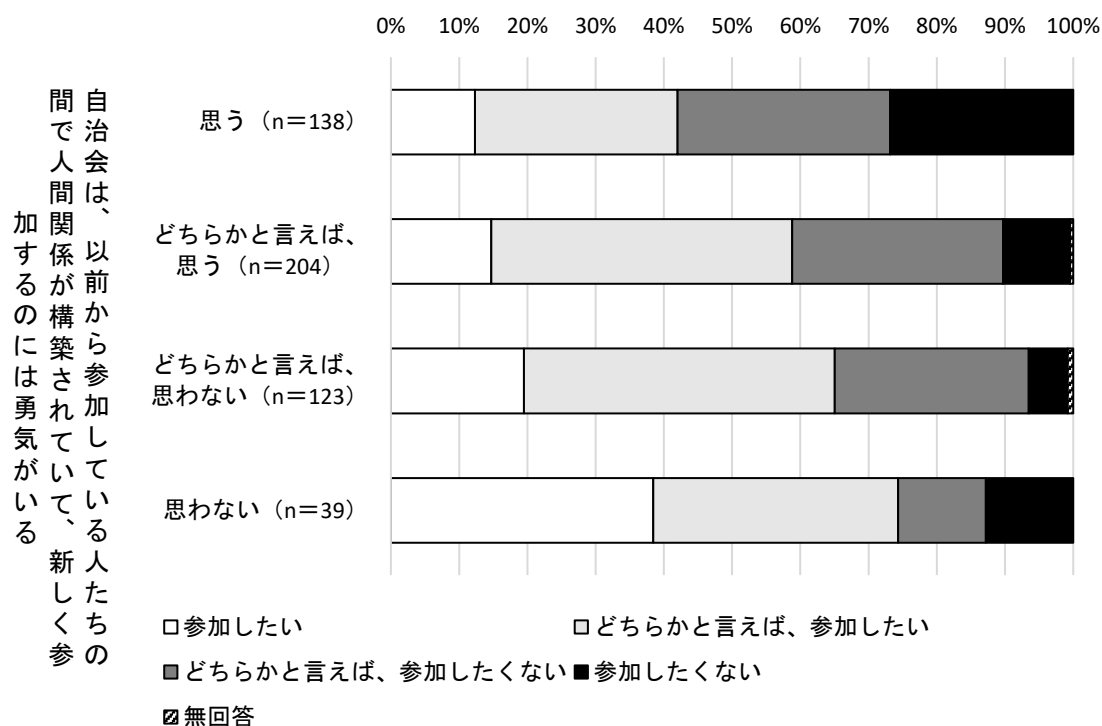


図 4-5-13 「新しく参加するのには勇気がいる」と行動意図の関係

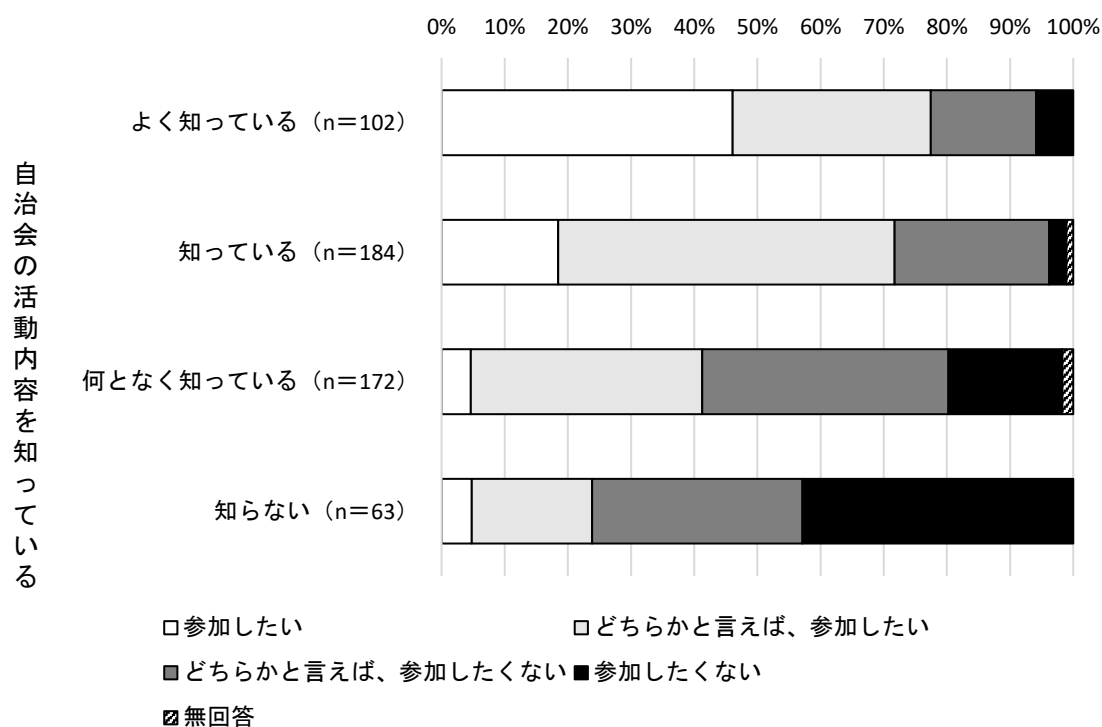


図 4-5-14 「自治会の活動内容を知っている」と行動意図の関係

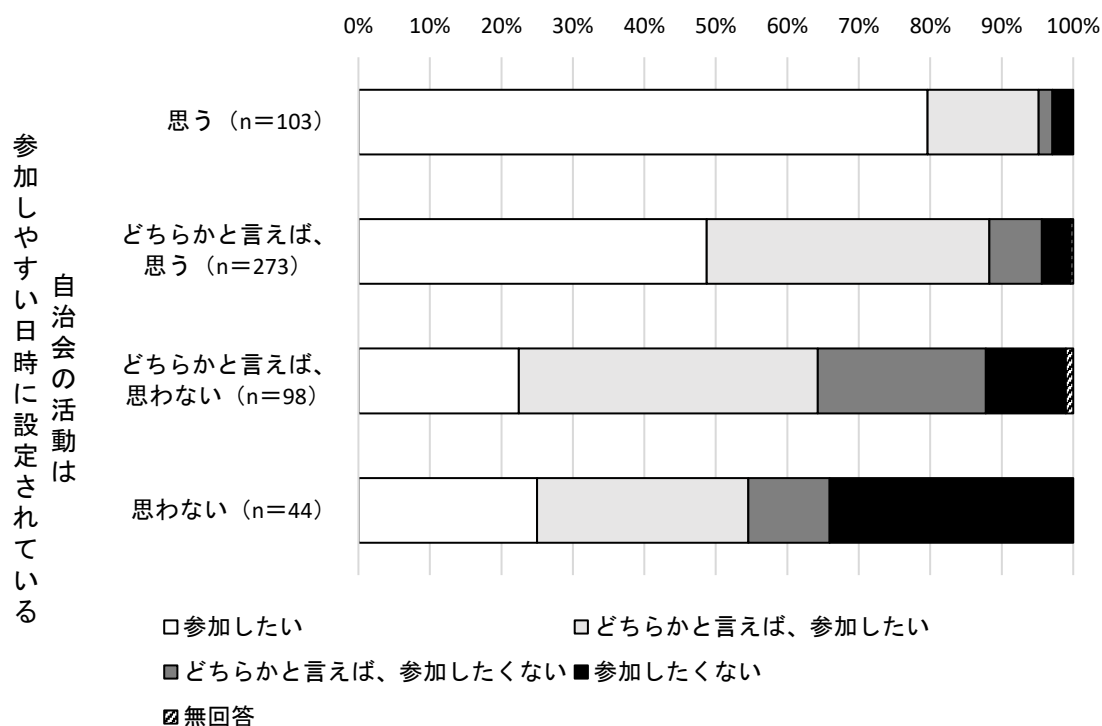


図 4-5-15 「参加しやすい日時に設定されている」と行動意図の関係

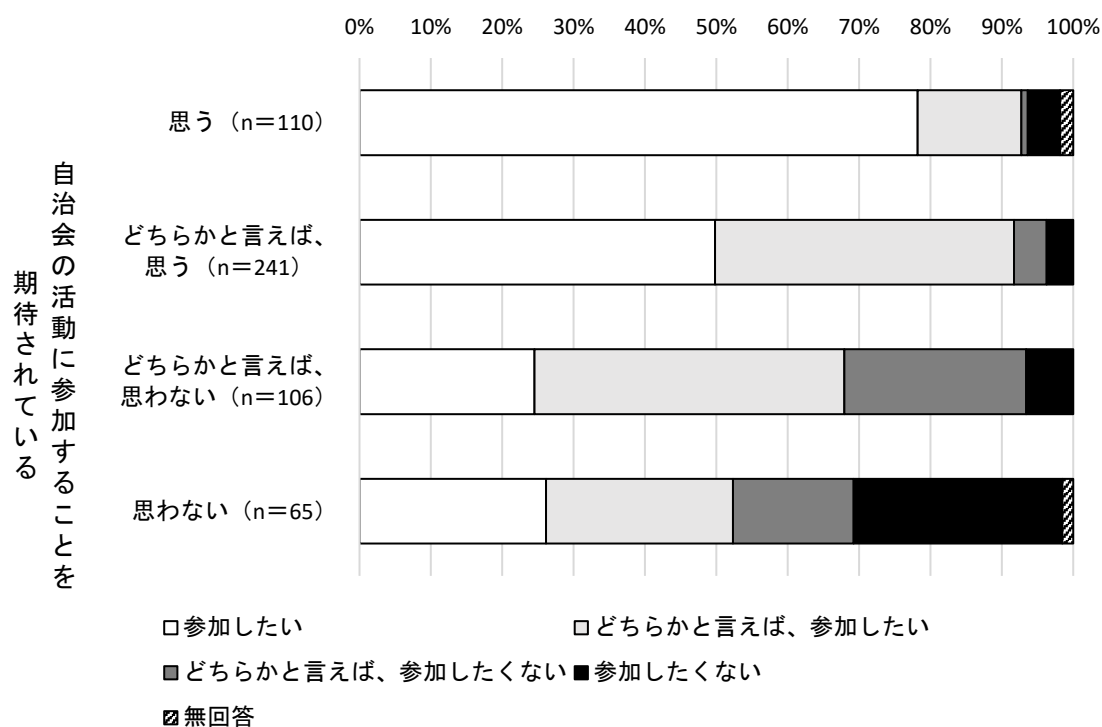


図 4-5-16 「参加することを期待されていると思う」と行動意図の関係

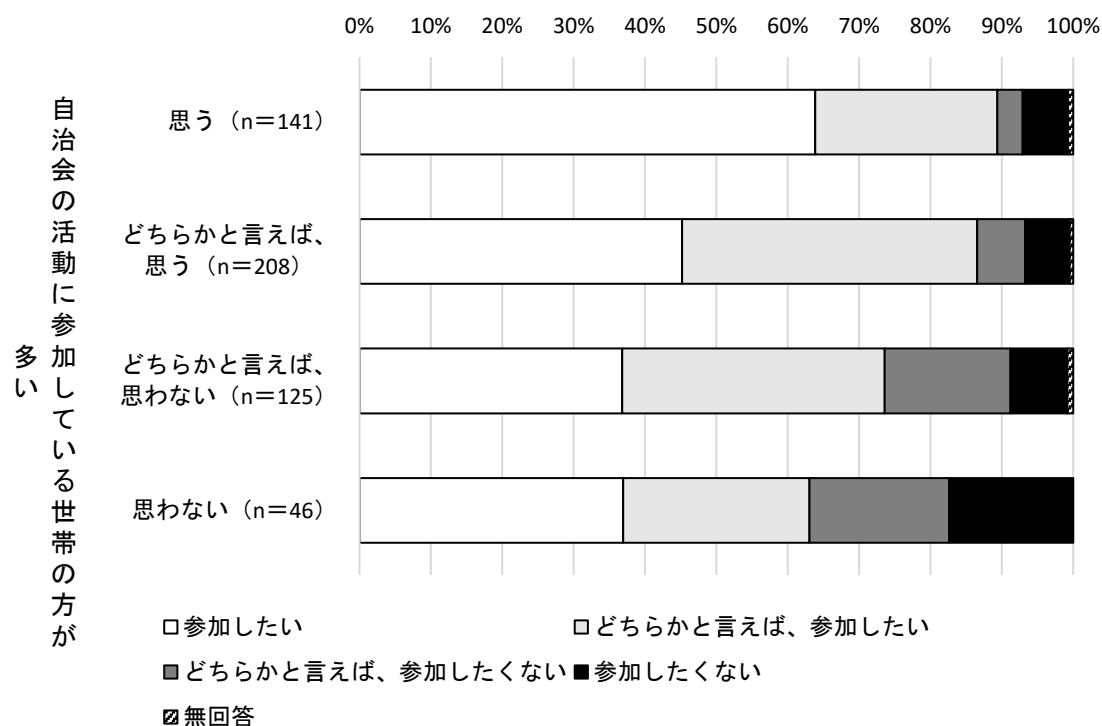


図 4-5-17 「参加している世帯の方が多いと思う」と行動意図の関係

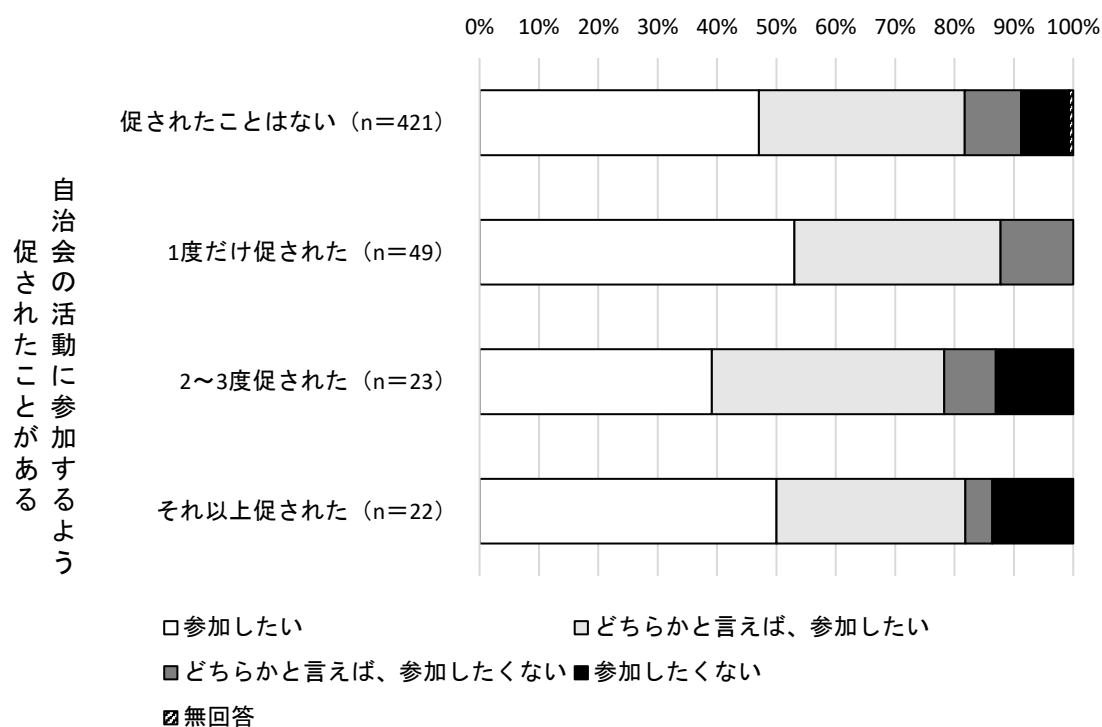


図 4-5-18 「自治会活動参加を促されたことがある」と行動意図の関係

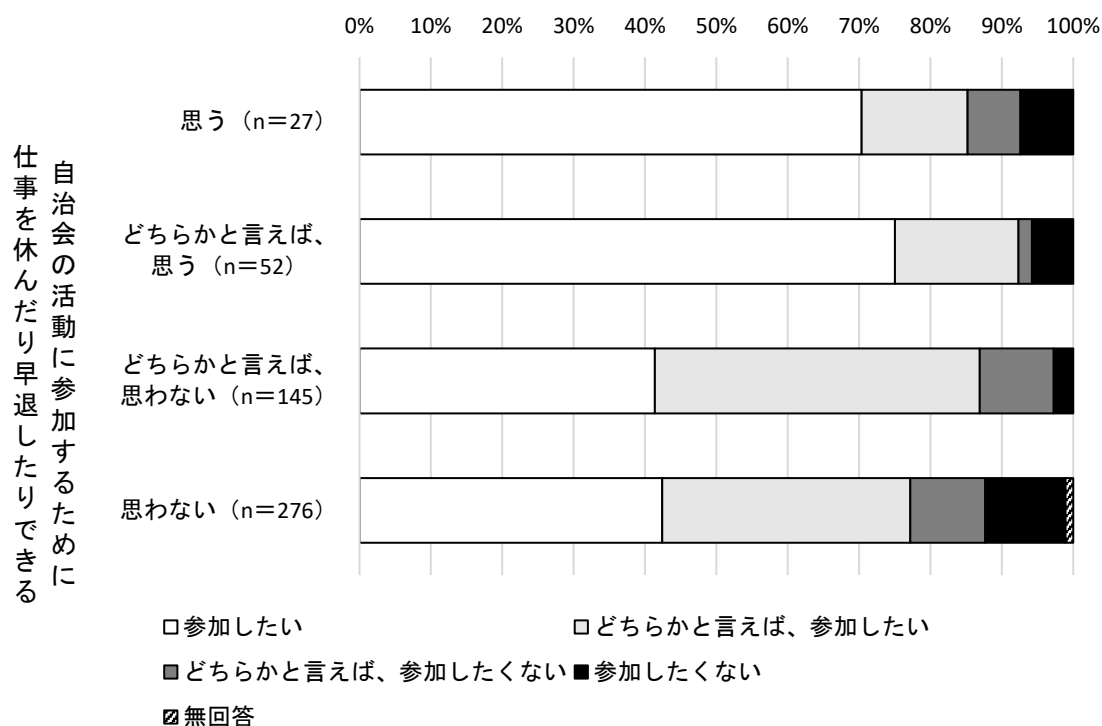


図 4-5-19 「仕事を休んだり早退したりできる」と行動意図の関係

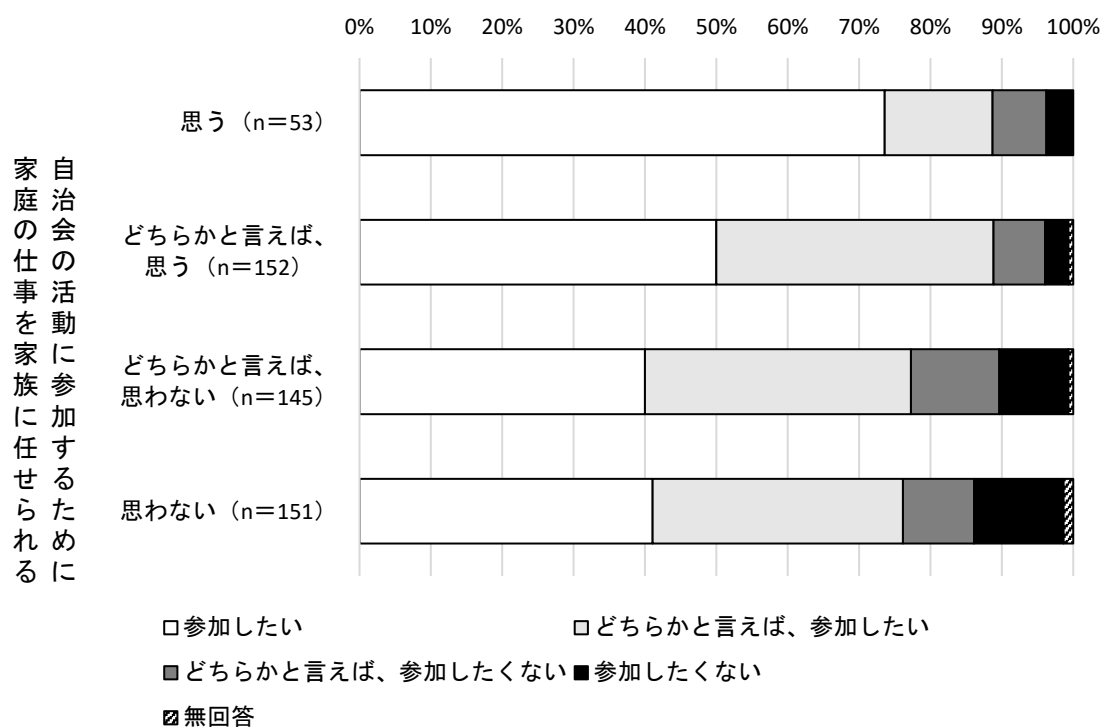


図 4-5-20 「家庭の仕事を家族に任せられる」と行動意図の関係

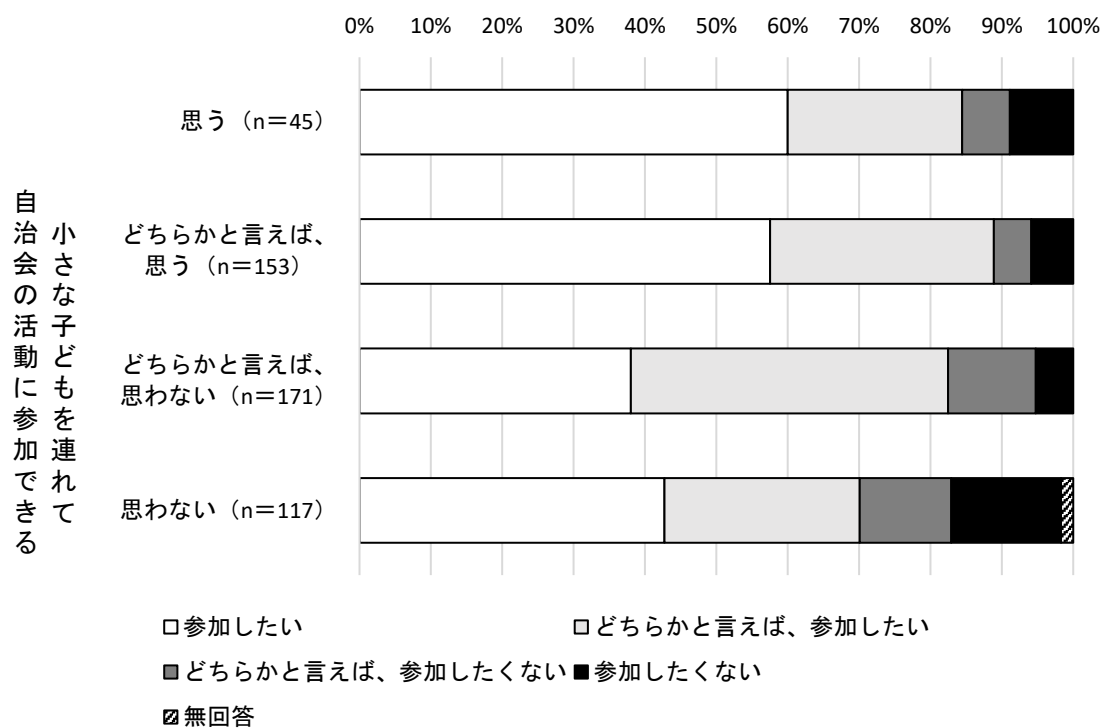


図 4-5-21 「小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できる」と行動意図の関係

第6節 自治会活動参加の「行動」の規定因

自治会活動参加の「行動意図」および「実行可能性・社会規範評価」と、「行動」との関係を検証するため、クロス集計を行った。

まず、「行動意図」に関する質問と「行動」に関する質問との間には、仮説通り、行動意図が強いほど行動を実行する、すなわち、自治会活動に参加したい人ほど、自治会活動に参加している人が多い、といった関係が見られた（図 4-6-1）。

次に、「実行可能性・社会規範評価」に関する質問と「行動」に関する質問の間にも、おおむね仮説通り、実行可能性評価が高いほど、また、社会規範評価が厳しいほど行動を実行する、すなわち、自治会の活動内容を知っている人ほど、また、自治会活動に参加することを期待されていると思っている人ほど、自治会活動に参加している人が多い、といった関係が見られた（図 4-6-2～図 4-6-5）。参加するよう促された経験についても、他の項目ほど明確な傾向は示されなかったが、「2～3 度促された」という回答者以外では、促された回数が多い人ほど、自治会活動に参加している人が多いことが確認された（図 4-6-6）。

「実行困難性評価」に関する質問と「行動」に関する質問の間にも、ある程度の関係性が見られた（図 4-6-7～図 4-6-9）。特に、小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できると思っている人ほど、自治会の活動に参加している人が多かった。ただし、未就学の子どもや孫と同居している回答者は、全体で 14 人（1.6%）しかいなかったことを考えると、この質問は、実行困難性に対する評価と言うより、自治会の雰囲気に対する評価かもしれない。

以上の結果から、自治会活動参加の「行動意図」と「実行可能性・社会規範評価」が「行動」を規定すると言えるが、「実行困難性評価」については検討の余地がある。

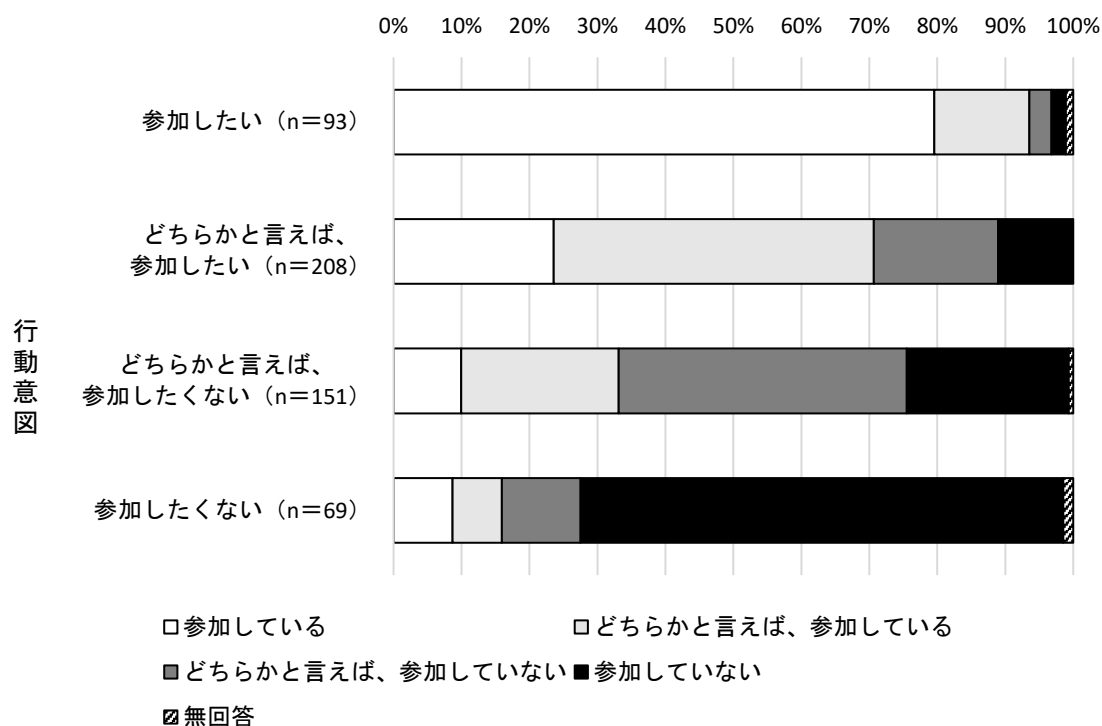


図 4-6-1 行動意図と行動の関係

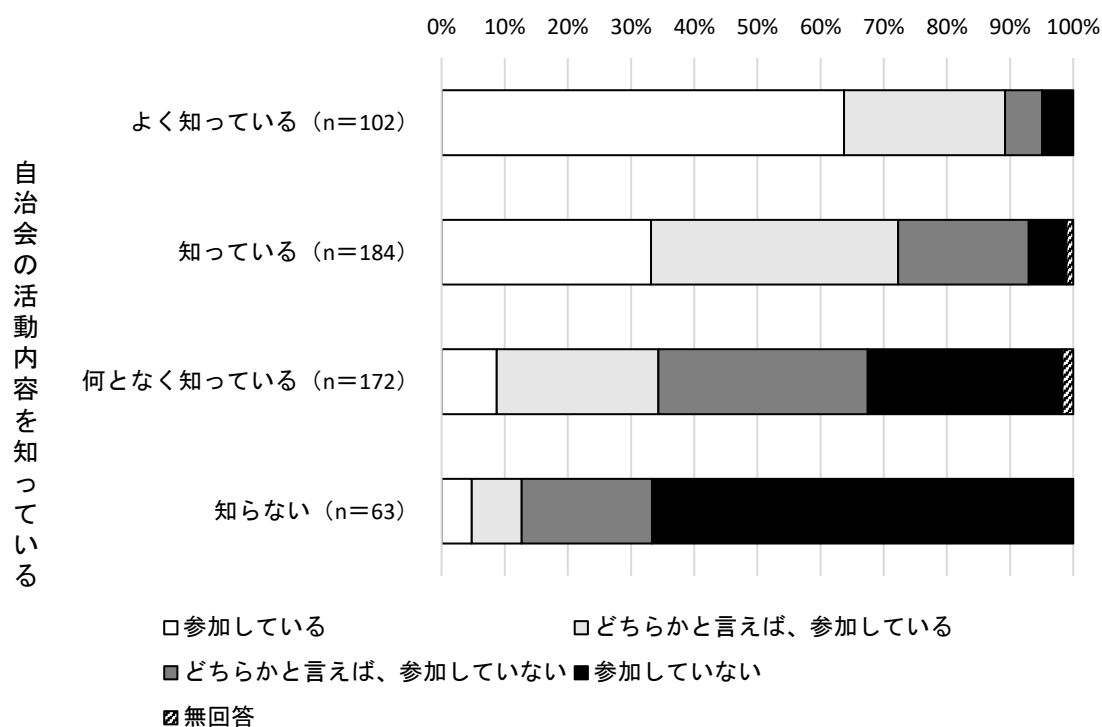


図 4-6-2 「自治会の活動内容を知っている」と行動の関係

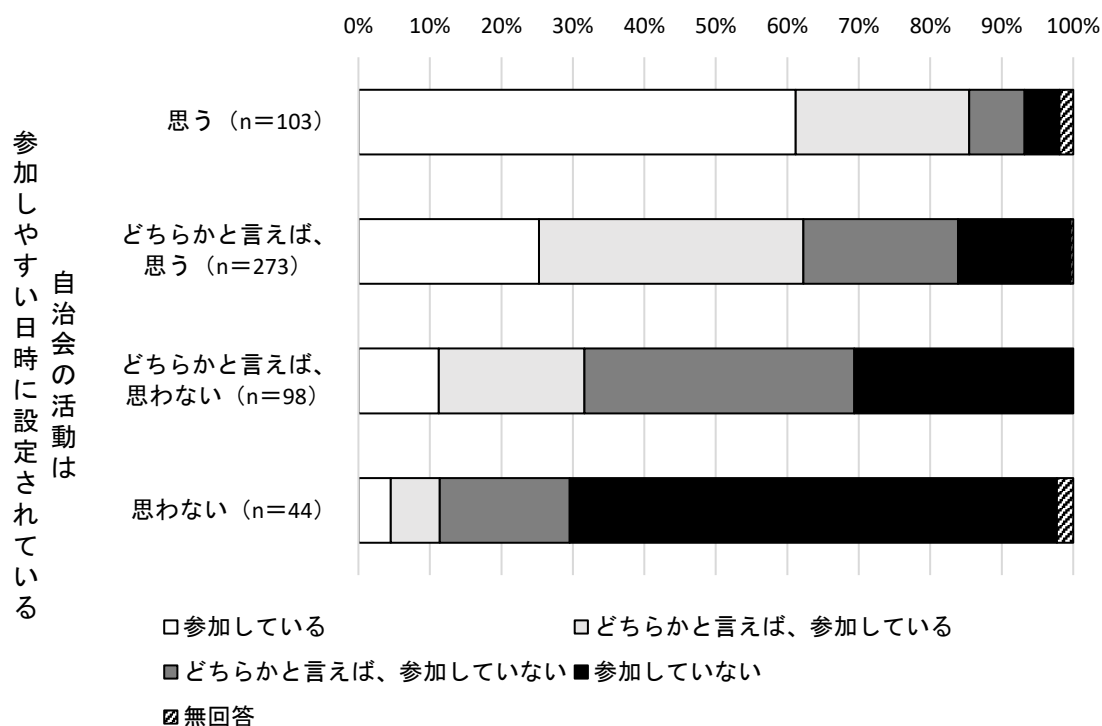


図 4-6-3 「参加しやすい日時に設定されている」と行動の関係

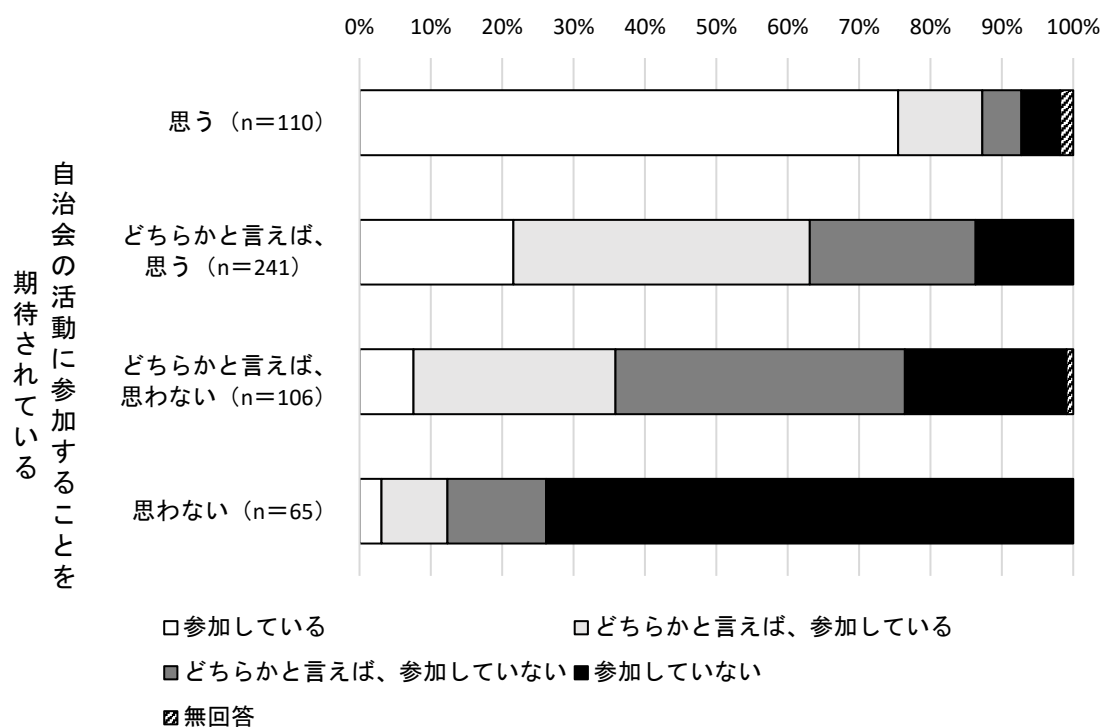


図 4-6-4 「参加することを期待されていると思う」と行動の関係

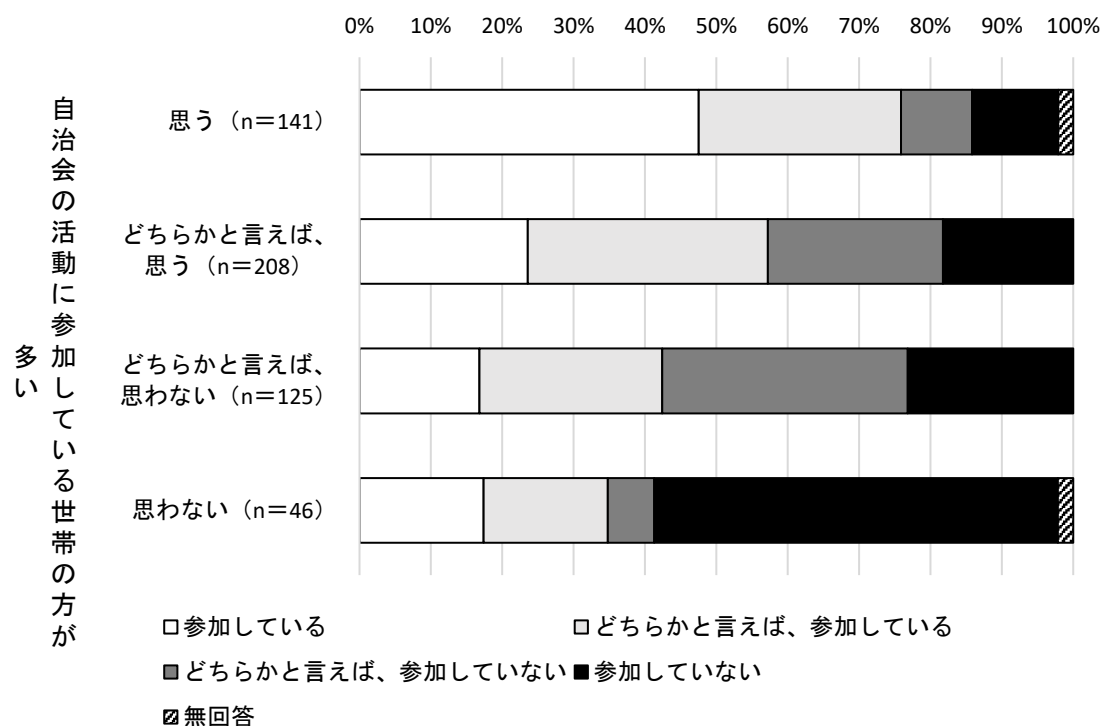


図 4-6-5 「参加している世帯の方が多いと思う」と行動の関係

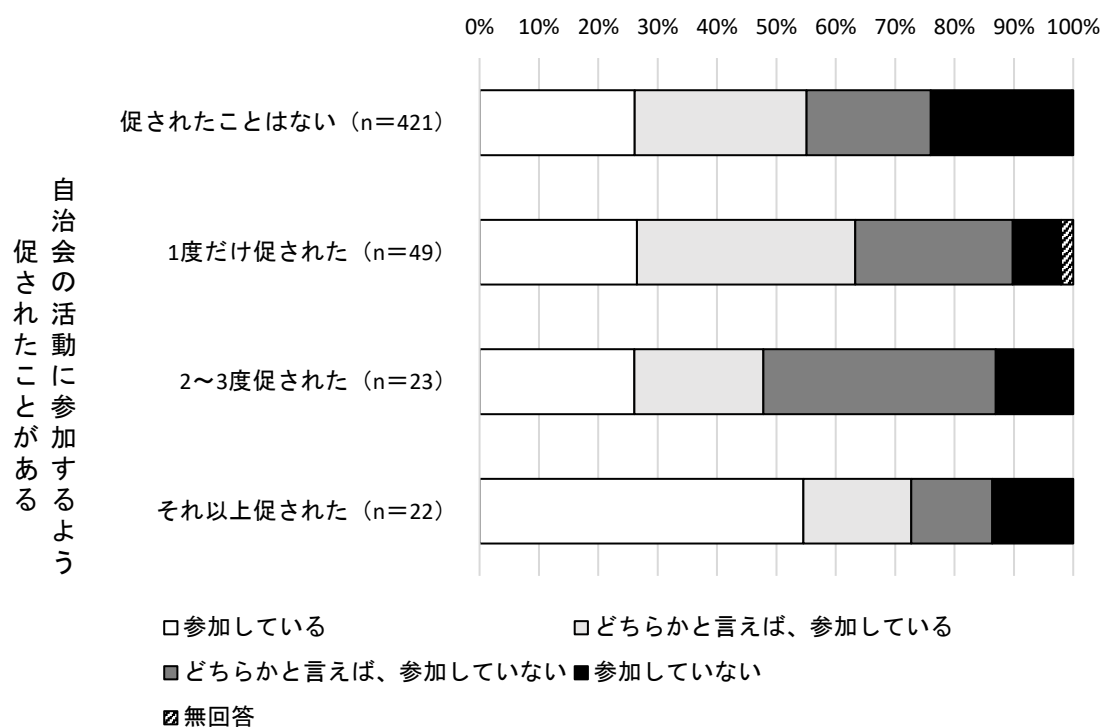


図 4-6-6 「自治会活動参加を促されたことがある」と行動の関係

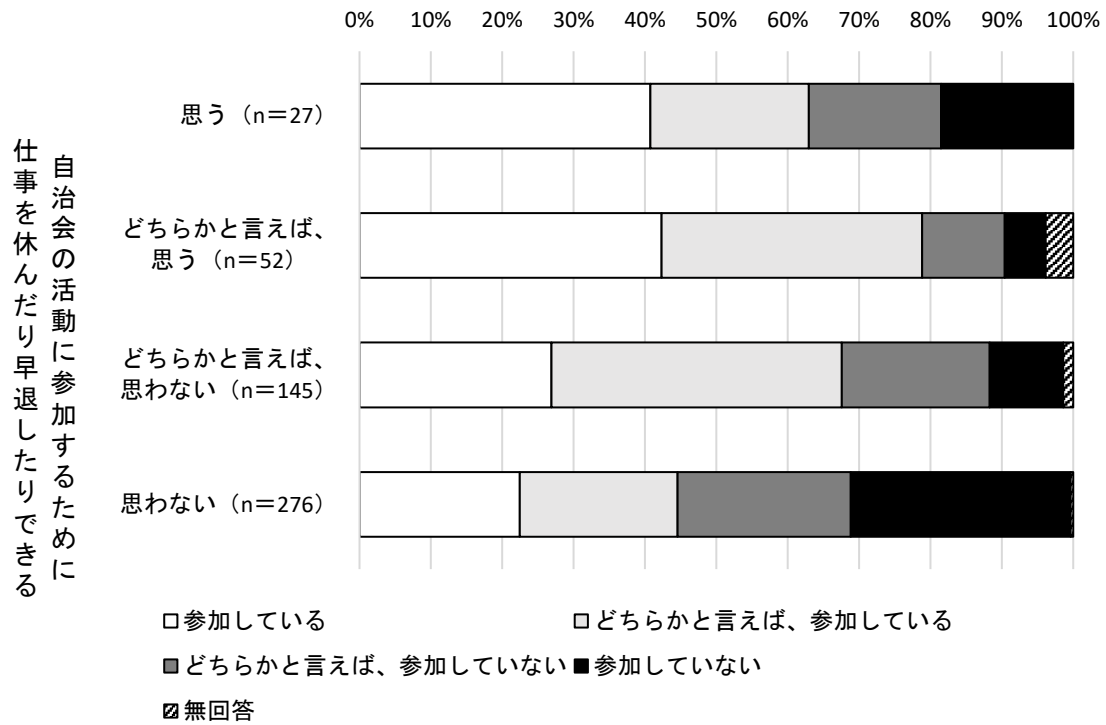


図 4-6-7 「仕事を休んだり早退したりできると思う」と行動の関係

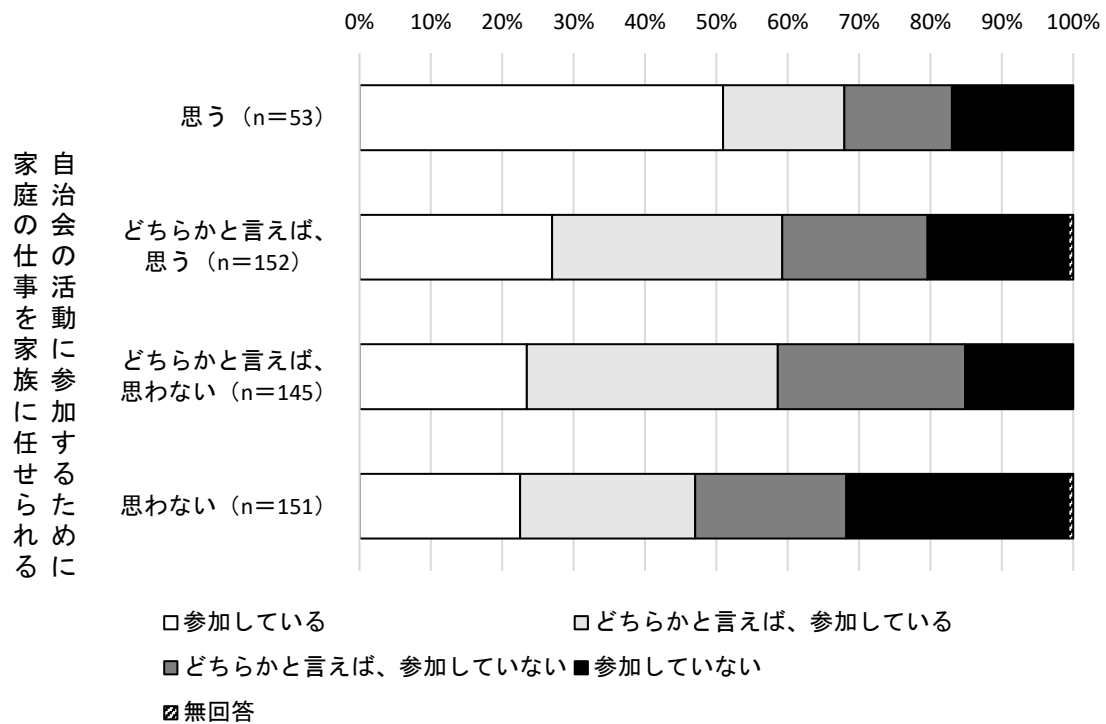


図 4-6-8 「仕事を休んだり早退したりできると思う」と行動の関係

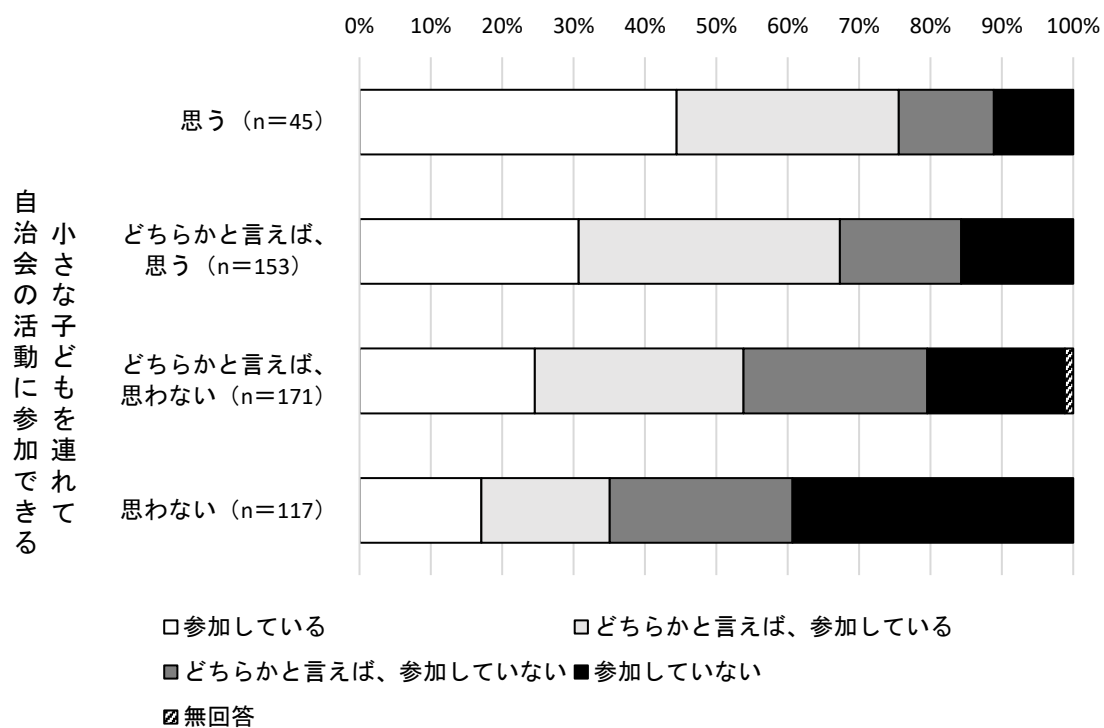


図 4-6-9 「小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できる」と行動の関係

第5章 考察

第4章の検証結果を踏まえ、第1章で提起した「地域活動と規定因との要因関連モデル」を、図5-1-1のように修正する。規定因の区分は、それほど大きな問題ではないと考えるので、変更しない。地域リスク認知が目標意図を規定することについては、十分な裏付けが得られなかったため、実線ではなく点線に変更する。また、目標意図が行動意図を介して行動に影響を与える結果、地域リスク認知に違いが生じる可能性が考えられたので、「行動」から「地域リスク認知」に向かう点線の矢印を追加する。

このモデルに従うと、自治会への加入・参加を促す策について、①実行可能性評価の改善、②便益・費用評価の改善、③社会規範評価の改善、④責任帰属認知の向上、⑤対

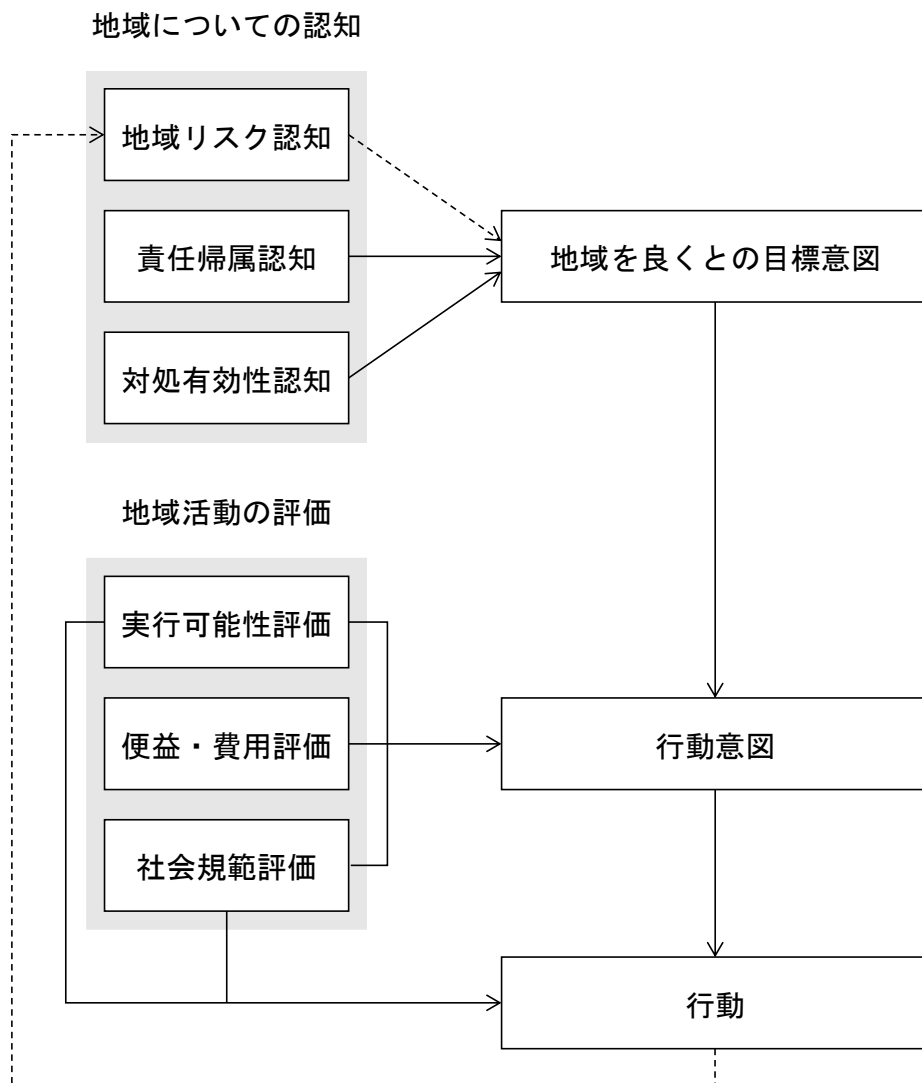


図5-1-1 地域活動と規定因との要因関連モデル（修正版）

処有効性認知の向上という 5 つの方向性が考えられる。

実行可能性評価の改善とは、自治会への加入・参加に必要な情報や機会の提供を積極的に行うことである。できるだけ多くの住民の都合に合わせて活動日時を設定することはもちろん、自治会に関する情報提供の仕方を見直すことも重要である。情報は、発信したからと言って、伝わるとは限らない。受け手にとって、興味・関心を引かれる情報提供になっているか、負担の大きい情報提供になっていないか、見直すことも必要である。例えば、イベント案内のチラシにイラストや写真を入れて目を引きやすくする、「誰でも参加できます」、「一人でもお気軽にご参加ください」などの文言を入れて参加の精神的なハードルを下げる、会場までの地図を入れてアクセスしやすくする、といった工夫が考えられる。

便益・費用評価の改善とは、自治会への加入・参加によるメリットを大きくし、デメリットを小さくすることである。加入手続きを簡素化する、自治会活動をもっと楽しいものにする、生活に役立つ情報の提供に力を入れる、個々人の特技や能力が発揮できるようにする、体力的・精神的・時間的な負担を小さくする、といった取り組みも重要だが、注目すべきは、加入意図がある人となない人、また、参加意図がある人となない人で、自治会に住民同士のつながりを期待するか否かが大きく異なることである。つまり、両者は、地域生活において求めているものが大きく異なる。しかし、加入意図や参加意図がない人でも 60～80%の人が、「自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができたら、うれしい」と思っている（図 5-1-2、図 5-1-3）。自治会は、“日常的に住民同士のつながりを作ることで、いざという時に助け合えるようにしましょう”という考えだが、住民の中には、“日常的に近所の人とかかわるのは嫌だ。けれども、いざという時は助け合いたい”と思っている人たちがいる。都合の良い考えだが、現代的とも言えるだろう。こうした中で自治会がとるべき道は、2 つ考えられる。1 つは、従来の考えにもとづき、“いざという時に助け合えるようにするためには、日常的に住民同士のつながりを作ることが必要です”と説得し、自治会への加入・参加を促すことである。もう 1 つは、住民の新たなニーズを受け入れ、日常にかかわらなくても、いざという時に助け合える仕組みや体制を作ることである。情報通信技術を活用すれば、何かしらの方法があるかもしれない。いずれにしても、自治会は何のためにあるのか、自治会だから出来る事は何なのか、自治会にしか出来ない事は何なのかを改めて考え、活動の選択と集中によって自治会の存在意義を明確にすることが、これからの人口減少社

会においては必要だろう。

社会規範評価の改善とは、自治会への加入・参加を周囲から期待されていると認識させることである。社会規範を活用して人々の行動を変えることは、ナッジ（nudge）の1種でもある。平たく言うと、ナッジとは、人間の意思決定のクセを踏まえ、選択の自由を確保しつつ、金銭的なインセンティブを用いることなく、人々の行動を変えることである [11]。社会規範評価が厳しいと行動意図が強くなる、行動を実行しやすくなるというのは、人間の意思決定のクセである。このクセを活用すれば、強制することも、金銭的な報酬を支払うこともなく、自治会に加入・参加する確率を高められるということである。社会規範を活用したナッジの例には、①ゴミの不法投棄が多い場所に、お地藏さんや鳥居を設置する、②災害時に避難を促す際、「すでにほとんどの人が避難しています」とアナウンスする、③ドナー登録を促す際、「すでにたくさんの人が臓器提供の意思表示をしています」というメッセージを伝える、などがある [11]。自治会への加入・参加ならば、「多くの人が加入しています」、「多くの人が参加しています」と言って促すことになる。また、その事が伝わりやすいよう、加入率や参加率を公表することや、多くの人が活動に参加している様子を見られるようにすることも考えられる。ただし、自治会への加入・参加は、あくまで任意であるため、加入・参加していない人が排除されていると感じることのないよう、配慮が必要である。

責任帰属認知の向上とは、「地域の問題の原因は自分にもある」、「地域の問題に対処する責任は自分にもある」と思わせることである。地域の問題は、いくつかの非意図的な原因が絡み合って発生している場合が多く、特定の誰かの、特定の行動が原因になっているわけではない。それゆえ、住民が地域の問題に対して責任を持たなければならないのか？と疑問を持つ人もいるだろう。しかし、一般的に、自治とは、自分たちのことを自分たちの責任において処理することとされている。また、災害に限れば、災害対策基本法の第七条で「住民等の責務」が定められており、「地方公共団体の住民は、基本理念にのっとり、食品、飲料水その他の生活必需物資の備蓄その他の自ら災害に備えるための手段を講ずるとともに、防災訓練その他の自発的な防災活動への参加、過去の災害から得られた教訓の伝承その他の取組により防災に寄与するように努めなければならない」と記されている。どうしたら責任感を持たせられるかは、日々の仕事や子育てでもよく直面する課題だが、まずは、地域の問題に対して住民にも責任があることを認識してもらう必要があるだろう。そのうえで、住民が果たさなければならない事を明確

にする、住民の意見を尊重する、決定権を住民に与えるといったことが重要である。

対処有効性認知の向上とは、地域の問題に対処する何かしらの有効な方法があると思わせることである。地域の問題改善の成功事例は、住民も含めて広く共有することが重要である。

おわりに

本研究では、態度と行動の不一致に関する社会心理学の理論にもとづいて住民アンケートを行い、地域活動への態度と行動の関係を明らかにすることを試みた。その結果、①地域活動を実行するまでの意思決定プロセスは、「地域を良くとの目標意図」の形成までと、「地域活動の行動意図」の形成までの2段階から成ること、②目標意図の形成には、地域の問題に関する責任帰属認知と対処有効性認知が関係していること、③行動意図の形成には、目標意図に加えて、地域活動に関する実行可能性評価、便益・費用評価、社会規範評価が関係していること、④実行可能性評価と社会規範評価は、行動の実行に直接関係しうること、が分かった。このことから、地域活動の実行を促すためには、地域活動に関する実行可能性評価、便益・費用評価、社会規範評価を改善するような働きかけ、また、地域の問題に関する責任帰属認知と対処有効性認知を向上させるような働きかけを行うことが効果的だと考えられた。

参考文献

- [1] 茨木市, 茨木市のまちづくりに関するアンケート報告書, <https://www.city.ibaraki.osaka.jp/material/files/group/13/matidukuriansanketo201903.pdf>, 2019 年, 2022 年 2 月 3 日閲覧
- [2] 内閣府経済社会システム, 平成 22 年度国民生活選好度調査結果, https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10361265/www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/h22/22senkou_03.pdf, 2011 年, 2022 年 2 月 4 日閲覧
- [3] 平成 23 年度国民生活選好度調査結果, https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10361265/www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/h23/23senkou_03.pdf, 2022 年 2 月 4 日閲覧
- [4] 内閣府, 社会意識に関する世論調査(平成 23 年 1 月調査) 3 調査票, https://survey.gov-online.go.jp/h22/h22-shakai/3_chosahyo.html, 2022 年 2 月 4 日閲覧
- [5] 環境省総合環境政策局環境計画課, 環境にやさしいライフスタイル実態調査報告書, https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/lifestyle/h2904_01/h28_full01.pdf, 2016 年, 2022 年 2 月 3 日
- [6] 広瀬幸雄, 環境配慮的行動の規定因について, 社会心理学研究, 第 10 巻第 1 号, 44-55, 1994 年
- [7] 野波寛・杉浦淳吉・大沼進・山川肇・広瀬幸雄. 資源リサイクル行動の意思決定における多様なメディアの役割—パス解析モデルを用いた検討—, 心理学研究, 第 68 巻第 4 号, 264-271, 1997 年
- [8] 山川肇・神下高弘・寺島泰, 有料化自治体における自家焼却行動の影響要因, 廃棄物学会論文集, Vol.3 No.1, 12-21, 2002 年
- [9] 大友章司・広瀬幸雄・大沼進・杉浦淳吉・依藤佳世・加藤博和, 環境に配慮した交通手段選択行動の規定因に関する研究—パーク・アンド・ライドの促進に向けた社会心理学的アプローチ—, 土木学会論文集, No. 772, 203-213, 2004 年
- [10] 大友章司, 4 章 環境配慮への態度と行動の不一致はなぜ起きるのか, 広瀬幸雄編, シリーズ 21 世紀の社会心理学 11 環境行動の社会心理学, 40-49, 北大路書房, 2008 年
- [11] 大竹文雄, 行動経済学の使い方, 岩波書店, 2019 年

卷末資料

地域コミュニティに関するアンケート調査

ご協力をお願い

日頃から、市民の皆様には、地域コミュニティの醸成と更なる発展に、ご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市では、地域コミュニティ基本指針に基づいて、市民の皆さまのご協力のもと、地域コミュニティの維持向上に取り組んでいるところです。そこで、地域コミュニティの現状を把握するとともに、地域コミュニティ活動（特に自治会活動）への率直なご意見をお伺いし、活動への参加を促す効果的な方策の検討に役立てたいと考えております。

アンケートは無記名で実施し、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、本調査は茨木市が学校法人追手門学院と共同で実施するものです。

令和 3 年 9 月

茨木市

【ご回答にあたって】

- この調査は、令和 3 年 7 月 28 日（水）時点で茨木市内在住の 18 歳以上の方の中から無作為に抽出した 2,000 人を対象として実施するものです。
- 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- 令和 3 年 9 月 30 日（木）までに、以下のどちらか一方の方法で、ご回答ください。
 - A. 同封の調査票で回答し、郵便で返送する ⇒ ご回答いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）
 - B. インターネットで回答する ⇒ 以下の QR コードを読み取っていただき、または、以下の URL を入力していただき、アンケートのページにアクセスしてください。



<https://questant.jp/q/54SOBJVF>

（お問い合わせ先）

茨木市 市民文化部 市民協働推進課 コミュニティ係

〒567-8505 茨木市駅前三丁目 8 番 13 号

電話：072-620-1604（直通） FAX：072-620-1715 電子メール：shiminkyoudou@city.ibaraki.lg.jp

地域コミュニティに関するアンケート調査 調査票

I. あなたがお住まいの地域（おおむね小学校区）について、お尋ねします

問 1 お住まいの地域に関心がありますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------------------|----------------------|----------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかと言えば
関心がある | 3. どちらかと言えば
関心がない | 4. 関心がない |
|----------|----------------------|----------------------|----------|

問 2 住みよい地域にしたいと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 3 住民同士のつながりについて、どのような印象をお持ちですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|-------------------|-------|
| 1. 弱い | 2. どちらかと言えば
弱い | 3. どちらかと言えば
強い | 4. 強い |
|-------|-------------------|-------------------|-------|

問 4 住民同士のつながりを強くする何かしらの方法があると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------------------|----------------------|----------|
| 1. あると思う | 2. どちらかと言えば
あると思う | 3. どちらかと言えば
ないと思う | 4. ないと思う |
|----------|----------------------|----------------------|----------|

問 5 住民同士のつながりが強くなるよう住民は努めなければならないと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 6 自治会や地域団体などの地域コミュニティ活動が活発だと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------------------|----------------------|----------|
| 1. 活発である | 2. どちらかと言えば
活発である | 3. どちらかと言えば
活発でない | 4. 活発でない |
|----------|----------------------|----------------------|----------|

問 7 地域コミュニティ活動を活発にする何かしらの方法があると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------------------|----------------------|----------|
| 1. あると思う | 2. どちらかと言えば
あると思う | 3. どちらかと言えば
ないと思う | 4. ないと思う |
|----------|----------------------|----------------------|----------|



問 8 地域コミュニティ活動が活発になるよう住民は努めなければならないと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 9 地域コミュニティ活動の担い手が不足していると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------------------|------------------------|------------|
| 1. 不足している | 2. どちらかと言えば
不足している | 3. どちらかと言えば
不足していない | 4. 不足していない |
|-----------|-----------------------|------------------------|------------|

問 10 地域コミュニティ活動の担い手を増やす何かしらの方法があると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------------------|----------------------|----------|
| 1. あると思う | 2. どちらかと言えば
あると思う | 3. どちらかと言えば
ないと思う | 4. ないと思う |
|----------|----------------------|----------------------|----------|

問 11 地域コミュニティ活動の担い手が増えるよう住民は努めなければならないと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 12 地域コミュニティ活動が果たす役割は、これからどうなると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 小さくなる | 4. わからない |
| 2. 特に変わらない | 5. その他 () |
| 3. 大きくなる | |

問 13 茨木市では地域コミュニティ活動の拠点として、小学校区に公民館もしくはコミュニティセンターを設置しています。公民館もしくはコミュニティセンターをどれくらい利用していますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 2週間に1回程度 | 7. 1年に1～2回程度 |
| 2. 2～3日に1回程度 | 5. 1か月に1回程度 | 8. 利用していない |
| 3. 1週間に1回程度 | 6. 2か月に1回程度 | 9. その他 () |



問 14 地域コミュニティ活動が、さらに活性化するためには、どのような事が必要だと思いますか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 多くの人が参加できる曜日・時間の設定 | 10. 市民への地域コミュニティの情報提供 |
| 2. 活動内容の積極的な広報 | 11. 諸団体が情報交換できるネットワークづくり |
| 3. 自治会、NPO など市民活動団体の活性化 | 12. 諸団体が参加する地域協議の場づくり |
| 4. 地域で関心の高い、新しい活動の実施 | 13. 地域の課題解決能力の向上 |
| 5. 地域住民の参加意識の啓発 | 14. 行政職員の地域コミュニティ活動への参加 |
| 6. 地域活動リーダーの養成 | 15. 地域の企業・事業所とのコミュニケーションづくり |
| 7. 気軽に住民があつまれる場所の充実 | 16. ICT の利活用 |
| 8. 自主財源の確保 | 17. その他 () |
| 9. 行政からの活動財政支援 | |

問 15 地域が抱える様々な課題を解決するため、地域住民と行政はどのような関係を保つことが望ましいと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 地域住民と行政が対等の立場でお互いに協力 | 5. 行政に要望し、行政が解決 |
| 2. 地域住民が主体となり、行政が支援 | 6. わからない |
| 3. 行政が主体となり、地域住民が協力 | 7. その他 () |
| 4. 地域住民で話し合い、地域住民が解決 | |

問 16 将来、お住まいの地域がどのようなまちになってほしいと思いますか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 安心して暮らせるまち | 8. 芸術・文化に富んだ心豊かなまち |
| 2. 保健医療・福祉が充実したまち | 9. 産業が振興し、労働環境が整ったまち |
| 3. 障がい者・高齢者を大切にするまち | 10. 商店街が整備され、賑わいあふれるまち |
| 4. 子どもの笑顔があふれるまち | 11. 伝統的な歴史行事を後世に伝えるまち |
| 5. ゴミのない清潔なまち | 12. 地震や風水害などの災害に強いまち |
| 6. 街並みが整備されたまち | 13. 情報通信網が整備されたまち |
| 7. 緑豊かで自然環境に恵まれたまち | 14. その他 () |

問 17 お住まいの地域において、まちの将来像を描き、それを実現していくための手順や方法などをまとめた「地域のまちづくり計画」があったら、地域づくりに効果的だと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 18 地域行事（ふるさとまつり、文化展、体育祭など）の開催目的を知っていますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 19 地域行事は地域活性化につながっていると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. つながっている | 2. つながっていない | 3. わからない |
|------------|-------------|----------|

問 20 あなたが地域行事に参加するきっかけとなるのは、どのような事ですか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 楽しい時間を過ごせる | 5. 参加方法が明示されている |
| 2. 近隣の住民がみんな参加している | 6. 地域活性化につながる |
| 3. 時間の都合がつく | 7. 何があっても参加しない |
| 4. 疲れない | 8. その他() |

問 21 地域の防災訓練は災害時の被害を小さくするために効果があると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 効果がある | 2. 効果がない | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

問 22 あなたが地域の防災訓練に参加するきっかけとなるのは、どのような事ですか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 防災グッズがもらえる | 7. 子どもを連れて参加できる |
| 2. 防災に関する情報が得られる | 8. 参加方法が明示されている |
| 3. 炊き出しがある | 9. 災害時の共助につながる |
| 4. 近隣の住民がみんな参加している | 10. 何があっても参加しない |
| 5. 時間の都合がつく | 11. その他() |
| 6. 疲れない | |

問 23 地域の防犯活動（登下校時の見守り、パトロールなど）は犯罪の発生を防ぐために効果があると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 効果がある | 2. 効果がない | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

問 24 あなたが地域の防犯活動に参加するきっかけとなるのは、どのような事ですか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 防犯グッズがもらえる | 7. 子どもを連れて参加できる |
| 2. 防犯に関する情報が得られる | 8. 参加方法が明示されている |
| 3. 地域の子どもたちと関われる | 9. 地域の安全・安心が維持される |
| 4. 近隣の住民がみんな参加している | 10. 何があっても参加しない |
| 5. 時間の都合がつく | 11. その他() |
| 6. 疲れない | |



問 25 地域の清掃活動は地域の美化につながっていると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. つながっている | 2. つながっていない | 3. わからない |
|------------|-------------|----------|

問 26 あなたが地域の清掃活動に参加するきっかけとなるのは、どのような事ですか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 参加賞がもらえる | 6. 参加方法が明示されている |
| 2. 近隣の住民がみんな参加している | 7. 地域がきれいになり、住みやすくなる |
| 3. 時間の都合がつく | 8. 何があっても参加しない |
| 4. 疲れない | 9. その他() |
| 5. 子どもを連れて参加できる | |

II. 自治会への加入・参加について、お尋ねします

問 27 自治会の活動内容を知っていますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|----------|--------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている | 3. 何となく知っている | 4. 知らない |
|------------|----------|--------------|---------|

問 28 自治会に加入する方法を知っていますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|----------|--------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている | 3. 何となく知っている | 4. 知らない |
|------------|----------|--------------|---------|

問 29 問 28 で「1. よく知っている」「2. 知っている」「3. 何となく知っている」に○をつけた方にお尋ねします。自治会の加入手続きは面倒だと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 面倒だと思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 面倒だと思わない |
| | 面倒だと思う | 面倒だと思わない | |

問 30 あなたがお住まいの地域では自治会に加入することを期待されていると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思わない |
| | 思う | 思わない | |

問 31 お住まいの地域の自治会加入率について、どのような印象をお持ちですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|-------|
| 1. 低い | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 高い |
| | 低い | 高い | |

問 32 自治会の加入率を高める何かしらの方法があると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|----------|
| 1. あると思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. ないと思う |
| | あると思う | ないと思う | |

問 33 自治会の加入率が高くなるよう住民は努めなければならないと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思わない |
| | 思う | 思わない | |

問 34 自治会へ加入するよう周囲から促されたことがありますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 促されたことは | 2. 1 度だけ促された | 3. 2～3 度促された | 4. それ以上促された |
| ない | | | |

問 35 あなたの世帯は自治会に加入していますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 加入している | → 問 36～43 へ進んでください |
| 2. 加入していない | → 問 44 へ進んでください |
| 3. 以前は加入していたが、脱会した | → 問 45 へ進んでください |
| 4. 自治会がない | → 問 46 へ進んでください |
| 5. その他 (|) |

★ 問 35 で「1. 加入している」に○をつけた方に、お尋ねします

問 36 自治会に加入する際、あなた自身は自治会に加入した方が良いと思っていましたか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 思っていた | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思っていなかった |
| | 思っていた | 思っていなかった | |

問 37 現在、あなた自身は自治会の活動に参加したいと思っていますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 思っている | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思っていない |
| | 思っている | 思っていない | |

問 38 あなた自身は自治会の活動に参加していますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|------------|
| 1. 参加している | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 参加していない |
| | 参加している | 参加していない | |

問 39 あなたがお住まいの地域では自治会の活動に参加することを期待されていると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思わない |
| | 思う | 思わない | |



問 40 あなたがお住まいの地域では自治会の活動に参加している世帯の方が多いと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思わない |
| | 思う | 思わない | |

問 41 自治会の活動に参加するよう周囲から促されたことがありますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 促されたことは
ない | 2. 1 度だけ促された | 3. 2～3 度促された | 4. それ以上促された |
|------------------|--------------|--------------|-------------|

問 42 自治会の回覧板を読みますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------------|---------|
| 1. じっくり読む | 2. 気になった所だけ読む | 3. 読まない |
|-----------|---------------|---------|

問 43 自治会の活動は参加しやすい日時に設定されていると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 思わない |
| | 思う | 思わない | |

★ 問 35 で「2. 加入していない」に○をつけた方に、お尋ねします

問 44 自治会に加入したいと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|------------|
| 1. 加入したい | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 加入したくない |
| | 加入したい | 加入したくない | |

★ 問 35 で「3. 以前は加入していたが、脱会した」に○をつけた方に、お尋ねします

問 45 差し支えなければ、脱会された理由を教えてください。

★ 問 35 で「4. 自治会がない」に○をつけた方に、お尋ねします

問 46 もし自治会が設立されたら、加入したいですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|------------|
| 1. 加入したい | 2. どちらかと言えば | 3. どちらかと言えば | 4. 加入したくない |
| | 加入したい | 加入したくない | |

III. 自治会の活動に対する、あなたのお考えをお尋ねします（自治会に加入していない方や自治会の活動に参加していない方は、自治会に対するあなたのイメージでお答えください）

問 47 自治会の活動は楽しいと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 48 自治会の活動に参加することで生活に役立つ情報を得られると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 49 自治会の活動に参加することで自分の特技や能力を活かせると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 50 自治会の活動に参加することで地域の役に立てたら、うれしいですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|
| 1. うれしい | 2. どちらかと言えば
うれしい | 3. どちらかと言えば
うれしくない | 4. うれしくない |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|

問 51 自治会の活動に参加することで知り合いができたなら、うれしいですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|
| 1. うれしい | 2. どちらかと言えば
うれしい | 3. どちらかと言えば
うれしくない | 4. うれしくない |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|

問 52 自治会の活動に参加することで、困ったときに助け合える人ができたなら、うれしいですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|
| 1. うれしい | 2. どちらかと言えば
うれしい | 3. どちらかと言えば
うれしくない | 4. うれしくない |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|

問 53 自治会の活動に参加すると肉体的に疲れると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|



問 54 自治会の活動に参加するのは気をつかうと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 55 自治会の活動に参加するのは時間をもったいないと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 56 自治会費を払うのはもったいないと思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 57 自治会の活動に参加するために仕事を休んだり早退したりできると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 58 自治会の活動に参加するために家庭の仕事を家族に任せられると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 59 小さな子どもを連れて自治会の活動に参加できると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 60 自治会は、以前から参加している人たちの間で人間関係が構築されていて、新しく参加するのには勇気がいると思いますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば
思う | 3. どちらかと言えば
思わない | 4. 思わない |
|-------|-------------------|---------------------|---------|

問 61 あなたが自治会に期待する役割は何ですか？あてはまる番号 3 つ以内に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 住民同士のつながりを作る | 6. 高齢者の生活をサポートする |
| 2. 災害に備える | 7. 地域の課題を解決する |
| 3. 地域の安全を維持する | 8. 茨木市からの連絡事項を住民に伝える |
| 4. 景観・生活環境を整える | 9. 何もない |
| 5. 子育てをサポートする | 10. その他 () |

IV. あなた自身のことを、お尋ねします

問 62 性別を教えてください。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(性別については、統計的に男女の比率を得るために、ご回答をお願いしています)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問 63 年齢を教えてください。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 19 歳以下 | 3. 30～39 歳 | 5. 50～59 歳 | 7. 70 歳以上 |
| 2. 20～29 歳 | 4. 40～49 歳 | 6. 60～69 歳 | |

問 64 お住まいの小学校区を教えてください。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 茨木小学校区 | 10. 清溪小学校区 | 19. 天王小学校区 | 28. 白川小学校区 |
| 2. 春日小学校区 | 11. 忍頂寺小学校区 | 20. 葦原小学校区 | 29. 東奈良小学校区 |
| 3. 春日丘小学校区 | 12. 大池小学校区 | 21. 郡小学校区 | 30. 西小学校区 |
| 4. 三島小学校区 | 13. 豊川小学校区 | 22. 庄栄小学校区 | 31. 西河原小学校区 |
| 5. 中条小学校区 | 14. 中津小学校区 | 23. 沢池小学校区 | 32. 彩都西小学校区 |
| 6. 玉櫛小学校区 | 15. 東小学校区 | 24. 畑田小学校区 | 33. わからない |
| 7. 安威小学校区 | 16. 水尾小学校区 | 25. 山手台小学校区 | |
| 8. 玉島小学校区 | 17. 郡山小学校区 | 26. 耳原小学校区 | |
| 9. 福井小学校区 | 18. 太田小学校区 | 27. 穂積小学校区 | |

問 65 屋外にある自治会の掲示板を読みますか？あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 立ち止まって読む | 4. 掲示板があるかどうか、知らない |
| 2. 通り過ぎながら読む | 5. 掲示板がない |
| 3. 読まない | |

問 66 お住まいの地域独自の情報誌を読みますか？あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. じっくり読む | 4. 情報誌があるかどうか、知らない |
| 2. 気になった所だけ読む | 5. 情報誌がない |
| 3. 読まない | |

問 67 お住まいの地域のホームページを見ますか？あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. あてもなく見ることがある | 4. ホームページがあるかどうか、知らない |
| 2. 知りたい事があれば見る | 5. ホームページがない |
| 3. 見ない | |

問 68 現在どのような住宅にお住まいですか？あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|-------------|---------|---|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 3. 賃貸（一戸建て） | 5. その他（ | ） |
| 2. 持ち家（集合住宅） | 4. 賃貸（集合住宅） | | |

問 69 現在のお住まいに居住されて何年になりますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 1 年未満 | 3. 5～10 年未満 | 5. 20～30 年未満 |
| 2. 1～5 年未満 | 4. 10～20 年未満 | 6. 30 年以上 |

問 70 現在お住まいの地域を離れる予定がありますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------------|
| 1. ある | 2. 現時点では、ない |
|-------|-------------|

問 71 現在あなたを含めて何人でお住まいですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 1 人 → 問 75 へ進んでください | 4. 4 人 |
| 2. 2 人 | 5. 5 人 |
| 3. 3 人 | 6. 6 人以上 |

問 72 同居されている方はどなたですか？あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. 配偶者（妻または夫） | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 子ども → 問 73 へ進んでください | 6. 親・義親 |
| 3. 子どもの配偶者 | 7. その他（ ） |
| 4. 孫 → 問 74 へ進んでください | |

問 73 問 72 で「2. 子ども」に○をつけた方に、お尋ねします。一番年下のお子さんについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 未就学児である | 4. すでに就職している |
| 2. 小学生・中学生である | 5. その他（ ） |
| 3. 高校生・専門学校生・大学生である | |

問 74 問 72 で「4. 孫」に○をつけた方に、お尋ねします。一番年下のお孫さんについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 未就学児である | 4. すでに就職している |
| 2. 小学生・中学生である | 5. その他（ ） |
| 3. 高校生・専門学校生・大学生である | |

問 75 あなたのご職業を教えてください。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 会社員 | 6. 個人事業主（自営業・自由業） |
| 2. 公務員 | 7. 学生 |
| 3. 団体職員 | 8. 無職 |
| 4. パート・アルバイト | 9. その他（ ） |
| 5. 会社経営者 | |

裏面にも、質問があります。

問 76 問 75 で「1. 会社員」「2. 公務員」「3. 団体職員」「4. パート・アルバイト」「5. 会社経営者」「6. 個人事業主（自営業・自由業）」「7. 学生」に○をつけた方に、お尋ねします。通勤・通学はどちらですか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 茨木市内
2. 大阪市内
3. 茨木市・大阪市以外の大坂府下
4. 京都府
5. 兵庫県
6. その他（ ）

問 77 問 75 で「1. 会社員」「2. 公務員」「3. 団体職員」「4. パート・アルバイト」「5. 会社経営者」「6. 個人事業主（自営業・自由業）」に○をつけた方に、お尋ねします。勤務形態について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 1週間の勤務日は4日以下であることが多い | 7. 夜間勤務がある |
| 2. 1週間の勤務日は5日であることが多い | 8. 新型コロナウイルスを機に、1週間の半分未満が在宅勤務になった |
| 3. 1週間の勤務日は6日であることが多い | 9. 新型コロナウイルスを機に、1週間の半分以上が在宅勤務になった |
| 4. 1週間の勤務日は7日であることが多い | |
| 5. 休みは土日であることが多い | |
| 6. 休みは平日であることが多い | |

問 78 地域コミュニティ活動や自治会について、ご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

この調査票は同封の返信用封筒に入れて、最寄りの郵便ポストに投函してください。

(ご投函は、令和3年9月30日(木)までお願い致します。切手は不要です)



令和3年度 地域コミュニティに関する現状分析の実施事業（茨木市受託研究） 報告書

追手門学院大学経済学部 講師 長谷川 路子